

## 第三章 考察とまとめ

### 第1節 検出した遺構と遺物

中世は生活面が5面検出され、それぞれに建造物が確認された。面の地業は第1面、第2面はかなり泥岩を多用してしっかりとした面を構築している。確認用の深堀の結果を合わせると少なくともあと2面の生活面が存在していることは事実であるが、中世地山は確認できなかった。

#### 1期（第1面）

第1面での検出遺構は少なくとも3期の切り合いがある。耕作土や現代の掘りこみ、特に近代遺構によって東半分は削平されてしまっており、確認されたピット数に比して建物址を推定することはできていない。礎板はほとんど残存していなかった。遺物の出土量はさほど多くはないが、中世遺物が出土している。1期はおおむね14世紀後半と考えられる。

#### 2期（第2面）

第2面も近代遺構により東半分は削平されてしまっている。ピット、土坑は少なく、凝灰質砂岩石列が主体となる建造物である。ピットには底部に礎板を有するものがわずかにあるが、建物の推定は困難である。石列もおそらく破壊されて完全な状態では残存しておらず、遺構の性格をつかみ難いが、東側に破碎泥岩を緊密に敷き詰めた地業が存在しており、南側では大型の土坑が集中していることから、石列によって場の区画がなされていることが明らかである。構成土からは多数の白かわらけが出土しており、本地点周辺は比較的検出例が多い地域であり、同様の傾向が見られる点が興味深い。2期はおおよそ14世紀前半と考えられる。

#### 3期（第3面）

第3面は東半分は近代遺構によって上部が削平されている可能性があるが、調査区全体で中世の遺構が確認されている。南北を走る溝は狭く浅く、南北軸は第2面の凝灰質砂岩にほぼ等しい。建造物の基本軸が変化していないことが分かる。溝は火災をうけて側板が炭化しているが、そのほかに明確な火災の痕跡は認められてなかった。礎板は柱穴底部、地業面上に数多く検出されており、柱穴数も多いが、やはり建築址は推定は困難である。溝の西側には大型の泥岩塊を敷き詰めた地業面が存在しているが、いかなる目的によるものかは不明である。溝を埋めた後にその直上に柱穴が掘りこまれており、この時期にも建物の頻繁な建て替えが想定される。3期はおおむね13世紀後半～14世紀初頭と考えられる。

#### 4期（第4面）

第4面は調査区全域にわたって中世の遺構が確認された。東側からは柱穴底部や地業面上に多数礎板が確認されたが、建築址の推定は難しい。東側は建物が繰り返し建築されたエリアで、西側は土坑が集中しており、東西で土地利用に差があると思われる。南東には板壁建物らしき建築址が検出されたが、詳細は不明である。4期はおおよそ13世紀後半と考えられる。

## 5期（第5面）

第5面は面としてほとんど捉えられておらず、建築址の推定などは不明である。4期とあまり時期差はないと推定される。

第6面、第7面ともにトレンチでの確認であり、遺構、遺物についてはほとんど不明である。第7面は13世紀後半以前。

近隣の調査事例と比較すると、御成町171番1外地点（図1-4）では大規模な建築址や道路跡が検出されており、扇ガ谷1丁目74番9地点（図1-18）では東西方向の道路跡、扇ガ谷1丁目74番8・10地点（図1-19）では東西方向の凝灰質砂岩による石列が発見されている。道路や建物の軸をみると、ややずれはあるものの、主軸はほぼ共通している。本調査地点で検出された溝や石列もほとんど同様の主軸方向であり、この一帯の道路構築とそれによる区画は同一の基準軸によって構築されている可能性が高い。調査地点数や調査面積がさほど豊富ではないので一概には言えないが、その基準は現在の今小路を超えて広がっており、また今小路に沿ったり直行する形ではなされていない。今小路については未検出であるため当時の道と現在の道が同一方向かどうかは不明であるが、同一方向であるとすれば、大通りの軸を無視して屋敷地の区画が設定されていることになる。また若宮大路に沿ったものでもない。この一帯の主軸は御成小学校地点（図1-7、8）と類似するもののややずれが大きく、南側一帯とも異なることになる。周囲の丘陵にはやぐらが多数残存しており、地形的には中世から大幅に改変は受けていないと思われるが、それらとの有意な関係も現在のところ見出し難い。この一帯は多くの御家人が集住する武家地であり、御成町171番1外地点は安達氏の宿所の可能性が指摘されている。本調査地点はそうした武家地の中の一隅であることを示唆するものであるが、全体像の解明は今後の資料増加によって検証していく必要がある。

## 第2節 近代遺構の年代、出土遺物

近代遺構は全体の規模は明らかではないが、検出された部分に限定しても大型で深さもあり、長方形に近い幾何学形の大型土坑である。遺構1の北壁で検出した木材については構造物の1つかと思われるが、特出する加工痕などもなく、どのような機能を果たしていたのかは不明である。南側で検出した松杭は調査深度では抜き出すことができないほど深く打ち込まれており、建物の基礎であって土坑とは別のものである可能性もある。構築時期はこれらの構造物から近世にまでさかのぼる可能性もあるが、主たる出土遺物は近代のものである。

出土遺物について、年代を推定できるものについて検証し、遺構の構築年代を検討する。

### 紀年資料

紀年を持つものは1銭銅貨である。明治19（1886）年の龍一銭と明治34（1901）年の稲一銭がそれぞれ1枚出土している。赤十字記念章は日露戦争の戦傷病者の救護担当者に授与された徽章で、明治38（1905）年以降のものとなる。

### 陶磁器

統制陶器はみられず、少なくとも第二次大戦以前と言える。最も古くさかのぼるのは景德鎮製の鉢で江戸初期に相当するが、1点のみ突出して古く伝世品か骨董品と考えられる。近世磁器は17世紀末から

幕末に相当する肥前産が数点、また近世の陶器片がわずかに出土しているが、いずれも小破片であり主体をなすものではない。磁器は型紙摺絵、銅版転写、吹墨、イッチンの技法がみられるがゴム印判は明確ではない。型紙は比率的に少なく、銅版転写が卓越している。碗は丸碗がほとんどなく、ほぼ平碗である。

なお、徳利では日本の高山について記載した例(図60-357)が出土しているが、それには「新高山」が含まれている。玉山を新高山と改称したのは明治30年である。他に大石酒店の徳利があるが(図61-363～366)、住所が藤沢大坂町となっており、この表記は明治42年以前に使用されたものである。大船軒のうるか容器(図74-52)は明治39年に申請がなされており、この時期以降に販売されたものである。

出土磁器の様相については東京都の菅谷遺跡D1廃棄坑や雑司ヶ谷V遺跡に類似しており、ほぼ同じ製品も見受けられる。菅谷遺跡D1は明治28～33年、雑司ヶ谷V遺跡4区3号遺構は明治末から大正年間と推定されている。また大正5年に廃業した静岡県はいせう陶器店遺跡と類似する資料もある。本遺跡の出土磁器についても明治後半から大正年間に属するものが大半と考えられる。

陶器について色川醸造は江戸時代より明治まで続くため、瓶の年代そのものは限定できない。日本硬質陶器は明治39年以降の製造である。

土器について角焜炉は愛知県高浜市一帯で製造されたものであるが、角コンロ製造名産組合の名称は明治23～43年に使用されたものであり、製作時期はこの期間に限定される。

### ガラス製品

上限が限定できる資料を取り上げると、底部に「R&CO 40」のエンボスを持つビール瓶はReed & Companyの輸出用ビールで、このタイプのロゴは1892～1902年に製造されたと推定されている。そのほか化粧品瓶、薬瓶などについて、にきび取り美顔水は明治18年以降、横田精々薬館は明治19年以降、帝国インキは明治24年以降、柴崎牛乳店は明治24年の開業、健能丸は明治29年以降、大学目薬は明治32年以降でこの称号は明治40年～大正10年まで使用されたものである。御園白粉は明治36年以降、乳白色化粧水レート、丸善センチュリーインキは明治38年以降、大学白粉、味の素は明治40年以降、丸善新角インキは明治45年以降、レート水白粉、ロート目薬は明治42年以降、白色美顔水は大正2年以降、機械栓の清酒瓶は大正年間である。また雪印牛乳は昭和2年、サントリーオールドは昭和25年以降であるが、いずれも遺構1の出土品とは言えないため除外できよう。

### タイル

複数のタイルが出土しているが、確認されている背面のマークは3種類であり、日本タイル工業、川村組、佐藤化粧煉瓦工業のものである。日本タイル工業は昭和21年以降、川村組は昭和初期、佐藤化粧煉瓦工場は大正5年～昭和戦前までのようである。出土状況が確実に把握できるのは遺構3のタイルで日本タイル工業のものであり、遺構1、2とは時期を異にすると考えられる。

調査時の制限より全ての遺物の出土状況を記録しているわけではないが、遺構1の出土遺物は基本的には下層に集中して見つかり一括廃棄である。遺物の多くは比較的完形に近いものが多く、小破片でしかない近世遺物は混入品か一部伝世品と思われる。年代は明治19年が最古であり、明治20年代後半から40年代が主体的で大正時代のものも含まれる。大正時代では年を推定できるものが少ないが一定数含まれていると考えられる。遺構の上限は少なくとも大正2年までは引き上げることができ、下限については断定しづらいが、大正年間に収まると推定される。

### 鎌倉に関連する遺物

磁器祝杯、ガラス瓶、貧乏徳利などに当時鎌倉にあった店舗名が確認できる例がある。現在まで営業

している店舗は長谷の柴崎牛乳店(明治22年創業)、岡本の大船軒(明治31年創業)。雪ノ下三河屋本店(八幡前みかわや酒店)である。ほかに「かど正」は鶴岡八幡宮の三の鳥居前の角にあった角正旅館。「松岡」は雪ノ下、若宮大路沿いにあった料亭で関東大震災で焼失。「舩富」は長谷にあった酒屋。「八幡前陶器販賣鎌倉八幡前」とあるのは吉田庄次郎の店舗か。「八幡前糺屋」は米酒荒物麴屋、「きそば東屋」は雪ノ下にあった東屋かと思われる。「鎌倉寿し喜屋八幡前」、「かまくら角倉」については詳細不明。新井醫院は大町にあった可能性がある。

## 墨書について

近代の墨書資料は17点ほど出土しているが、全体が判読できるものは2点(図128-1、2)であり、人名が書かれているが大半が判断不能(図128-3)のものが1点である。書かれた人名について整理しておく。

まず図128-1の内容を再度掲載しておく。

「相(州)鎌倉町扇ヶ谷観音山脇

本多家御別荘ニテ

本多正憲殿 志太郡廣幡村水守

菊川晋一」

上下に1点ずつ穿孔があり、付け札的なものと想定される。

観音山は本調査地点のすぐ北にある小高い丘陵であり、近代にはこの頂上に望夫岩という岩があって名所の1つとなっており、現在ではその名残はないが隣接して茶屋が設けられていたようである。

本多正憲の略歴を記す。安房長尾藩第2代知藩事で、正重系本多家10代。嘉永2(1849)年6月21日に大身旗本・菅沼正貞(駿河田中藩主・本多正意の次男)の長男として生まれる。明治3(1870)年に叙任し、同年12月14日、叔父で養父の正納の隠居により、その後を継いで知藩事となった。明治4(1871)年7月、廃藩置県で免官され、同年9月に東京へ移っている。明治17(1884)年に華族令で子爵に叙せられる。明治23(1890)年7月、帝国議会開設に伴い貴族院子爵議員に選出され、明治30(1897)年7月まで在任。大正15(1926)年7月に隠居し、婿養子で元肥前平戸藩主松浦詮の六男の正復に家督を譲った。昭和12(1937)年5月に89歳で卒。

本多正憲がいつから鎌倉に別荘を構えたかは不明だが、明治45年刊行の『現在の鎌倉』には記載があり、また『鎌倉震災誌』には本多邸は破損とある。『鶴岡八幡宮年表』大正8(1919)年9月16日に「神幸祭を執行す、本多正憲子爵・土井利与子爵・小笠原清道等の尽力により流鏝馬神事を鎌倉時代の旧儀に復して執行す」とあり、文化財保護的な活動にもかかわっていたようである。関東大震災の罹災者救済金の寄付者にも名があり、鎌倉同人会の名簿にも名が見られる。

本多邸は『現在の鎌倉』には「扇ヶ谷180」とある。表記は地番かと思われるが、土地宝等や旧公図などで確認すると、寿福寺の総門に入って右手のあたりになる。現状正確な位置の確認を取れていないが、その位置が正しいとしても「観音山脇」であることに大きな矛盾はないと思われる。

もう1人の人名について、志太郡廣幡村水守は現静岡県藤枝市水守である。大正2(1913)年の『静岡県志太郡広幡村誌』に、江戸時代の駿河田中藩において藩境を示すために建てた「従是西田中領」勝示石が明治の廃藩置県にともない撤去されたが、明治33年頃に菊川晋一宅にあることが確認されたという記述が確認できる。史蹟保存会による東側の勝示石の説明文には、「田中城主本多正憲が家臣の書家、藪崎彦八郎に命じて書かせたもの」とあり、西側の勝示石も同様のもの推測される。しかし西側勝示石の説明文では弘化年中の幕府の布令によって建てられたとあるので、正憲ではなく父正意の統治時によるものと思われる。その真偽はさておき、本多正憲と菊川晋一の繋がりは駿河田中藩の勝示石が背景に

あったものと思われ、それに関連して菊川晋一が扇ヶ谷の本多邸を訪問して墨書を記したものと考えられる。

しかし住所表記から本調査地点が本多正憲別邸であった可能性は低い。

図128-2も同様に再度掲載しておく。

「相洲鎌倉扇ヶ谷

斯波忠三郎

行き」

この記述は簡明で、荷札であろう。斯波忠三郎についても略歴を記す。1872年生まれで明治から昭和時代前期の工学者である。東京帝国大学教授となり、ヨーロッパに留学。帰国後、川崎造船技師、海軍大学校教授となり、わが国最初の海底電線敷設船の設計にあたった。のち貴族院議員、航空研究所所長。昭和9(1934)年10月3日死去。

父親の斯波蕃(1843-1907)は加賀藩士津田正矩の長男。初名は津田正邦。1861年に家老津田内蔵助正行の養嗣子となり、藩主前田慶寧の側近、1865年に家老となる。1868年の北越戦争には家士106名を率いて出兵、会津若松城陥落後に藩へ凱旋。1869年に金沢藩少参事、権大参事。1900年には、戊辰戦争の功により男爵位。1907年に鎌倉の別邸にて病没。忠三郎は蕃の長男である。

斯波蕃別邸はやはり『現在の鎌倉』に扇ヶ谷297とある。忠三郎は父親の別荘を引き継いだか、少なくとも父親が亡くなるまでは鎌倉に別邸があったと考えられる。正確な位置が確定困難であるが、地番から判断すると窟堂付近ではないかと推定される。したがって斯波別邸も本調査地点にあった可能性は低い。

### 第3節 本調査地点の土地所有者と遺構の性格

本調査地点の所有者がどのような人物であるかについて、決定的な証拠は現在未確認である。出土遺物から、時期は明治後半～大正期を主体としており、明確に昭和期と判断できるものがないこと、大量の出土品があり、その埋没状況などをみても一時に大量廃棄したと考えられ、またおそらく一世帯以上のものが含まれている可能性が高いこと、墨書の内容も直接本地点と関係せず、複数の人物の木札が含まれていることから、住宅で出たゴミを廃棄したというよりもさらに大掛かりなものだと考えられる。時期的なことから判断すれば、関東大震災時の後始末で一度に廃棄した性格のものである可能性が高い。震災で出た近隣のゴミを集めて捨てたとすれば、やや離れた地点の別荘に関わるものが含まれていることの説明にもなる。

近代の鎌倉が海水浴場の開設や横須賀線の開通に伴い、東京近郊の別荘地として発展したことはよく知られている。それらの形成過程などについては個別研究が現在推し進められているようである。本調査地点の扇ヶ谷一帯も多くの別荘が存在していたことは『現在の鎌倉』に多数別荘が掲載されていることから明白で、著名なものとしては本地点西北の無量寺谷にあり、敷地の一部が現鎌倉歴史文化交流館となっている岩崎小弥太郎や、現在も大正時代の洋館が残る古我邸(旧荘清次郎邸)などがある。岩崎邸、荘清次郎邸ともに大正5年に建造されたものでやや新参である。なお岩崎邸は門のみ成蹊大学の一角に移転され、現在も残っている。扇ヶ谷に別荘を持っていたのは海軍関係が非常に多く、銀行関係の人物も多い。本調査地点に近在していたと思われるものは土浦の会社員大鹽一正、海軍主計大監の鶴田重式の別荘である。上述の本多邸、斯波邸はやや北側の離れた箇所にあったと考えざるを得ない。

旧土地台帳によると本調査地点一帯を明治期後半に所有していたのは初代神奈川県知事である沖守固である。沖守固は鎌倉の別荘地発展にも影響があり、また鎌倉保勝会を設立するなど史跡保存についても力を尽くしている。沖は大正元(1912)年10月に鎌倉で亡くなっている(横浜貿易新報大正元年10月8日付)。翌大正2年には所有していた土地は分筆され、一部は岩崎小弥太、荘清次郎の所有となる。沖の屋敷は印鑑に記された住所などから扇ヶ谷84にあったことが分かるが、これは現古我邸にあたる。江戸時代末までは興禅寺があった谷戸と推測され、その後明治28(1895)年に沖の所有地となっている。したがって本調査地は沖の所有地ではあったが、別荘本邸のあった箇所ではなかったと考えられる。

該地の詳細な地図はこの時期は確認できていないが、明治15年の迅速図を見ると周辺には建物が記されておらず、道路も調査地点の北側の道が描かれるのみである。大正8年および昭和2年の鎌倉同人会による地図では道路は南側も描かれており、現状と大差なくなっている。調査地点の西側、現在無くなってしまったが鎌倉市景観重要建築物であった高野邸のあたりまで広大な壁に囲まれた屋敷が描かれており、確定はしていないが柳家本店の外池五郎三郎の屋敷の可能性もある。この屋敷の西隣で、南北道路が交差する角にある指月庵には外池五郎三郎が三菱の岩崎から土地を入手したといういわれを記した看板が掲げられている。

地図では調査地点はこの大屋敷の東の外側に該当し、大正8年では空白地帯となっているが、昭和2年にはほぼ接する形でやや大きな家屋が描かれている。その位置や規模については現在の地図ほどではないであろうが、大正8年の地図は軍人である中田時懋によるもので、ある程度正確と思われる。土地台帳では大正14年頃は田畑となっており、震災後に一時宅地ではなかったようであり、その点も同人会地図と比較的一致する。したがってこうした資料と近代遺構からの出土遺物を照らし合わせると、やはりこの遺構は関東大震災の際に構築された可能性が最も高いと考えられる。土地はその後調査地点の所有者である人物の宅地となったのであろう。

#### 第4節 鎌倉焼資料

近現代の鎌倉における地域的な窯業は個人的なものばかりで、鎌倉焼、名越焼、住友無為庵、北大路魯山人の星岡窯などが存在していた。鎌倉焼についてはさほど詳細な記録がないが、確認できたものをまとめておく。

長谷で鎌倉焼を製作していたのは加藤景勝太兵衛である。『日本陶窯史 瀬戸系統編巻二』に系譜とともに業績が掲載されている。それによると、景勝は愛知県瀬戸市の赤津窯正高の系譜に連なり、良慶、春正、春慶と号していたという。天保11(1840)年赤津生まれ。安政2(1855)年に窯を継ぎ、国主御前に孝子の置物を造る。明治14(1881)年に東京に移り、江戸川製陶所の工場長に就任。浅草の五重塔に五百羅漢を製作している。そののち根岸で陶業を営み、明治25(1892)年に鎌倉に移っている。明治31(1898)年に皇太子(大正天皇)が鎌倉に来訪した折に陶業を披露している。明治42(1909)年に鎌倉にて69歳で卒。

五百羅漢については1886年4月15日付の郵便報知新聞に「四月十四日より、東京浅草公園内にて、陶器製の五百羅漢の見世物」の記事に「…此五百羅漢製造は今戸なる小野義真氏の創意に出でて、去る十六日八月中芝増上寺の什物なる五百羅漢の画像を借受けて、其真を写し取り、尾州及び伊万里等より土を取寄せ、金張の名工加藤太衛なる者を雇ひ、向島の八洲園に於て之を製造せしめ、其粉色の如きは丸谷より職工を雇ふて装飾せしめ、三年の久しきを経て漸く落成するに至れり。像の高さは凡そ二尺よ

り三尺までにて、其顔容衣紋等皆古画に則とりしものなれば、精妙いふばかりなし。聞く、一体の費用、平均十円なりといふ」とある。

『としよりのはなし』には、鎌倉焼は加藤次郎吉の父親によるもので、長谷郵便局の反対前通りに店舗があり、明治30年頃より京都から土を取り寄せて瀬戸物を焼き、三猿の自在鉤のようなものや抹茶茶碗などを焼いていたという。通りに面した縁台の上で作品を乾燥していたそうであり、明治39年か40年頃に辞めてしまったという。その後は他所で焼いていたものをならべていたのか、大正までまだ瀬戸物がならんでいたらしい。

『近世・近代の茶陶窯場名工名鑑』には、明治29年に星野天知の勧めで長谷に開窯し、茶器、置物などを作り鎌倉焼と称した。景勝は生来無欲で清雅を楽しむ気風が強く日常生活は貧困を極めた、とある。子息については関東大震災で行方不明になったとする。

景勝と交流のあった星野天知の日記には長谷大仏通りの加藤春慶翁を訪ねるくだりがある。そこでは浅草の五百羅漢について触れられているほか、加藤景勝が横浜工芸展覧会に天龍寺浮牡丹青磁華瓶を出展し一等を獲得したと述べられている。なお景勝を長谷に招いたのは横瀬文彦と記されている。

『現在の鎌倉』の営業一覧には長谷の陶器商として加藤喜助の名がある。これが景勝の子息か。

以上整理すると、瀬戸出身の陶工加藤景勝太兵衛が1892年に52歳で鎌倉に移り、横瀬文彦の招きで1896年頃に長谷で開窯し、亡くなる数年前まで鎌倉焼と名付けた焼き物の製作を行っていたようである。したがって製作年代は1896～1906年頃の約10年間に限定されよう。景勝が亡くなり製作自体は行われなくなったのちも子息が陶器の販売を行っており、関東大震災前までは店舗として存在していた可能性がある。

今回掲載した鎌倉焼資料は長谷郵便局付近で出土したものであり、鎌倉焼の店舗にほど近い箇所からの出土であると考えられる。なお、焼成窯については不明だが、大通り沿いに窯を設営することは想定しづらいので、付近の丘陵近くに構築していたのではないかと推定される。

資料には、湯呑、茶碗(杯)、皿、徳利、急須、土瓶、水差し、蓮華などの生活用具のほか、武士、大仏、大黒、観音、着物を着た女性などの人形、獅子、熊、狐、ウサギ、ニワトリ、鴨、鳩、蟹などの鳥獣類の像やそれをあしらった器、瓦や印鑑、勾玉などの土産物的な製品など多様な製品が含まれている。また鶴岡八幡宮やおそらく建長寺に関わる製品も見られることから寺社の記念品なども製作していたようである。抹茶茶碗については『茶陶窯場名工名鑑』に1点写真が掲載されており、赤楽梅絵茶碗と記載されている。歪みのある口縁の茶碗で、顔料で梅の絵を描いたもので、色調は不明である。試掘資料でも茶碗は出土しているが、同様の形態のものは含まれていない。

胎土は非常に緻密で粘性の高い粘土を使用し、細かな長石粒が混入している。記録に見られるように、京都や瀬戸など外部より取り寄せた粘土であると考えられる。胎土の焼成後の色調は淡灰色を呈し還元状態での焼成であるが、やや焼けムラが目立つものもある。釉薬は乳白色が基本で、全体に施していないものの多く、釉薬がかかっていないものも多数みられる。ほかに人形や鳥獣像の型が多数含まれており、製作にはロクロ、粘土紐、型作りを器種によって使い分けている。器類の器表は指ナデで凹凸をつけているものが多い。

出土状況については詳細な状況が不明であるが、型や無釉の器など商品ではないものが多数含まれていること、窯は別の箇所にあると推定されることもあり、物原ではなく店舗のそばに捨てられたゴミ穴ではないかと推測される。製品ではない型が含まれていることもあり、製作をやめた明治末年に廃棄したか、あるいは関東大震災時にまとめて廃棄された可能性も考えられよう。

本調査地点で出土した三猿像は自在鉤ではなく置物であるが、胎土や造りから鎌倉焼の可能性が高い。長谷の資料にはほとんどに「鎌倉」「かまくら」の押印があり、いくつかのバリエーションが確認できる。この三猿にはその押印がないが、他にも押印がみられない製品もあり、必ずしもすべてに押印を施していたわけではないようである。

鎌倉焼は小規模かつ短期間のものであり、長く鎌倉に伝統を持つものでもないが、これらの製品は近代の鎌倉における地域産業の実態を示す物的資料として非常に特徴的である。

## おわりに

調査面積は限られており、調査地点の様相を詳細にとらえることは困難であるが、4期にわたる生活面より、13世紀後半から14世紀後半にいたるまで、複数期にわたって破碎泥岩による地業の造成を行っていた様子が確認できた。14世紀以降については水田耕作などによって削られており、近世には興禅寺の門前にあたる地域ではあるが、その時期については不明瞭だが耕作地であったのかもしれない。建物址については明確な規模や構造を捉えることができなかつたが、掘立柱による建物群が主体となる時期と、凝灰質砂岩の石列を伴う建物が主体となる時期があり、小規模な溝による区画も一時期にしかみられず、場の機能が頻繁に移り変わっていることが判明した。本調査地点において検出された柱穴は底面に礎板が依存するピット、土坑ともに比較的浅く、短期間における遺構の切り合いも多いため、やや簡易な掘立柱建物の建て替えが繰り返されたと考えられる。溝や石列の軸は、厳密にはややぶれがあるかもしれないが、本調査地点の周辺における調査で確認された道路、溝、石列、建物の軸とほぼ同一であり、南方の御成小学校地点の軸とは異なる。この一帯の区画原理はほぼ共通していたと考えられる。当時の今小路そのものは周辺においては検出例がないが、本調査地点の南北軸は現在の今小路には平行しておらず、主要道路との関係は今後の調査事例の蓄積によって検討すべき課題であろう。

## 引用・参考文献

- 愛知県2012『愛知県史 別編窯業3 中世・近世常滑系』  
蘆田伊人編1958『大日本地誌大系21 新編鎌倉志 鎌倉攬勝考』雄山閣  
蘆田伊人編1998『大日本地誌大系22 新編相模国風土記稿』雄山閣  
大橋良平編1912『現在の鎌倉』通友社  
奥山伸治「鎌倉の別荘地形形成過程における沖守国の動向について」『鎌倉』118  
小野賢一郎編1928『日本陶窯史 瀬戸系統編巻二』陶器全集刊行会  
鎌倉市教育委員会1971『鎌倉市文化財資料第7集 としよりのはなし』鎌倉市教育委員会  
鎌倉市教育委員会1993『鎌倉の古絵図 2』鎌倉市教育委員会・鎌倉国宝館  
鎌倉町編1930『鎌倉震災誌』鎌倉町  
神谷良信2009『だるま窯の頃の瓦屋と刈谷の瓦屋』  
菊川英政2008『今小路西遺跡 (No.201) 発掘調査報告書』齊藤建設  
黒田和哉2011『近世・近代の茶陶窯場名工名鑑』淡交社  
斉木秀雄2010「御成・甘縄と今小路」『かまくら考古』17  
桜井準也2006『ガラス瓶の考古学』六一書房  
島本千也1993『鎌倉別荘物語：明治・大正期のリゾート都市』  
宗臺秀明2005「中世鎌倉の土器・陶磁器」『全国シンポジウム 中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～資料集』  
鶴岡八幡宮1996『鶴岡八幡宮年表』八木書店



- 鳥取県立博物館1999『資料調査報告書 第二十六集-旧鳥取藩士・男爵 沖守固資料-』
- 浪川幹夫2001「明治二十年代表士による土地所有(上)」『鎌倉』93
- 浪川幹夫2002「明治二十年代表士による土地所有(下)」『鎌倉』94
- 藤枝市史編さん専門委員会編2000『静岡県志太郡広幡村誌』藤枝市教育委員会
- 藤澤良祐2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院
- 星野天知著・日本近代文学館編1999『文学者の日記4 星野天知』博文館新社
- 松吉大樹2016「中世都市鎌倉の宿所について-文献と考古の事例から-」『かまくら考古』29

表3 中世出土遺物集計表

面	かわらけ							船載陶磁器							
	糸切大	糸切中	糸切小	糸小内折	手捏ね大	手捏ね中	手捏ね小	白	青磁	青磁碗	白磁	青白磁	緑釉	黄釉	褐釉
1面合計	431	0	253	0	1	0	1	2	9	5	0	1	0	0	0
2面合計	1239	0	277	0	0	0	0	10	7	3	8	5	0	0	3
3面合計	2284	0	670	6	0	0	0	10	15	2	6	13	0	0	2
4面合計	3106	5	1060	16	2	0	3	2	21	8	6	27	0	0	1

面	国産品														土製品					石製品						
	瀬戸	瀬戸入子	瀬戸碗	瀬戸皿	瀬戸鉢	瀬戸壺	常滑甕	常滑壺	片口Ⅰ類	片口Ⅱ類	渥美甕	渥美壺	備前	東播	山茶碗北	山茶碗南	瓦	瓦器	火鉢	輪	その他	硯	砥石	滑石	滑石鍋	その他
1面合計	11	2	2	4	2	3	95	5	6	4	1	0	0	0	0	0	5	1	2	3	0	2	1	2	0	1
2面合計	5	2	0	2	1	1	69	2	12	17	3	0	0	0	0	1	3	0	15	3	1	1	4	0	1	8
3面合計	11	1	0	0	0	1	96	6	30	7	6	0	0	1	0	5	3	1	44	0	5	1	1	5	4	3
4面合計	32	1	0	0	0	2	130	6	39	1	5	2	0	0	1	12	4	0	27	0	6	2	6	1	1	3

面	金属製品					骨角	木製品					自然遺物			
	釘	銭	鉄滓	その他	加工品		漆器碗	漆器皿	部材	加工品	骨	貝	種	炭化物	
1面合計	2	3	0	1	0	0	0	10	13	4	1	0	0		
2面合計	10	1	2	0	0	0	0	4	3	60	0	0	1		
3面合計	5	7	0	0	1	2	0	1	22	32	4	3	7		
4面合計	1	6	0	3	3	9	1	43	125	26	8	9	23		



		不明					1							1	2	
	人間	歯							1						1	
	ニワトリ	尺骨												4	4	
		上腕骨												4	4	
		大腿骨												2	2	
		橈骨												1	1	
	ニワトリ?	脛足根骨												3	3	
	ノウサギ	脛骨							1						1	
		不明										1			1	
	ブタ?	橈骨												1	1	
	マナヅル?	上腕骨							1						1	
	不明(イヌ?)	不明				1									1	
	不明(ウマ?)	不明							1		1				2	
	不明(骨)	肋骨				2			1						3	
		鎖骨?				2									2	
		上腕骨?				1									1	
		橈骨?				1									1	
		肋骨?		1		1			1						3	
		肩甲骨?							3						3	
		不明	2		7	7	12		14	5				1	48	
	骨片							8片		1片					0	
漁骨	マダイ	前上顎骨(右)					1								1	
		主鰓蓋骨(右)								2					2	
	マダイ?	前鰓蓋骨(右)								1					1	
	不明	擬鎖骨												1	1	
その他	炭								1	4	1				6	
	炭化米塊									1					1	
	木片								1片	1片					0	
	種子								2	7	1	2			12	
合計			2	2	9	11	32	0	31	38	2	56	3	1	240	427

写真図版	出土地点
30-1	4面遺構外
30-2	3面遺物集中1
30-3	3面遺物集中1
30-4	2面遺構外
30-5	3面遺構 173
30-6	2面遺構 58
30-7	2面構成土
30-8	2面構成土
30-9	4面遺構 210
30-10	4面遺構外
30-11	4面遺構外
30-12	1面構成土
30-13	4面遺構 217
30-14	3面遺構 205
30-15	4面遺構 236
30-16	2面構成土
30-17	2面遺構外
30-18	1面構成土
30-19	3面遺物集中1
30-20	2面構成土
30-21	4面遺構 210
30-22	2面構成土
30-23	4面遺構外
30-24	2面構成土
30-25	2面構成土
30-26	2面構成土
30-27	2面構成土
30-28	4面遺構 279
30-29	4面遺構 292
30-30	5面遺構 300
30-31	2面構成土
30-32	4面遺構 232
30-33	深堀トレンチ

写真図版	出土地点
30-34	4面遺構外
30-35	4面遺構 298 付近
30-36	4面遺構 250
30-37	4面遺構 256
30-38	近代遺構 1
30-39	近代遺構 1
30-40	近代遺構 1
30-41	近代遺構 1
30-42	近代遺構 1
30-43	近代遺構 1
30-44	近代遺構 1
30-45	近代遺構 1
30-46	近代遺構 1
30-47	近代遺構 1
30-48	近代遺構 1
30-49	近代遺構 1
30-50	近代遺構 1
30-51	近代遺構 1
30-52	近代遺構 1
30-53	近代遺構 1
30-54	近代遺構 1
30-55	近代遺構 1
30-56	近代遺構 1
30-57	近代遺構 1
30-58	近代遺構 1
30-59	近代遺構 1
30-60	近代遺構 1
30-61	近代遺構 1
30-62	近代遺構 1
30-63	近代遺構 1
30-64	近代遺構 1
30-65	近代遺構 1
30-66	近代遺構 1



表5 近代遺構出土磁器観察表 (単位: cm)

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料: 釉色調: 胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度	
				口径	底径	器高								
34-1	遺構1	碗	型紙摺絵	12.4	4	6.3		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 草花・鳥文様				完形	
34-2	遺構1	碗	型紙摺絵	11.6	4	5.5		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 環珞文、外面: 獸・ 木文様		肥前		ほぼ完 形	
34-3	遺構1	碗	型紙摺絵	10.8	3.8	5.3		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 環珞文、外面: 文 様不明		不明		1/2	
34-4	遺構1	碗	型紙摺絵	11.8	4	4.6		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 環珞文 外面: み じん唐草				1/2	
34-5	遺構1	碗	型紙摺絵	11.8	3.8	4.5		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 草花・蝶・みじん 唐草 外面: 松・扇・唐 草		肥前		1/2	
34-6	遺構1	碗	銅版転写	10.6	3.8	5.3		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 雷文・牡丹・獅子、 外面: 雷文牡丹・獅子	牡丹獅子	肥前?		1/3	
34-7	遺構1	碗	銅版転写	12	4.2	4.8		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 草花文		肥前?		ほぼ完 形	
34-8	遺構1	碗	銅版転写	11.6	4.2	4.9		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 環珞文、外面: 菊・ 雷文		肥前?		完形	
34-9	遺構1	碗	銅版転写	11.2	3.9	4.7		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 草文、唐草		肥前?	明治後半	完形	
34-10	遺構1	碗	銅版転写	10.8	-	5.2		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 圏線、外面: 山・ 龍		肥前?	明治	ほぼ完 形	
34-11	遺構1	碗	銅版転写	10.8	3.4	5.7		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 六歌仙				1/2	
34-12	遺構1	碗	銅版転写	12.2	4	5.1		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 龍	高台銘「貫上園製」	瀬戸美濃?	明治~大正	ほぼ完 形	
34-13	遺構1	碗	銅版転写	11.6	3.4	4.9		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 草木・雀		肥前?		完形	
34-14	遺構1	碗	銅版転写	10.6	3.8	4.6		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 鳳凰・花		肥前?	明治後半	完形	
34-15	遺構1	碗	銅版転写	11.8	4.2	5.0		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 梅花		肥前?		3/4	
35-16	遺構1	碗	銅版転写	9.6	3.6	4.1		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 竹・梅		肥前		完形	
35-17	遺構1	碗	銅版転写	4.4	3.5	4.7		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 龍				ほぼ完 形	
35-18	遺構2	碗	銅版転写	11.0	4.0	4.4		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 龍				1/2	
35-19	遺構1	碗	銅版転写	10.6	3.2	4.4		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 菊・桐	高台銘「春旭」			ほぼ完 形	
35-20	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	11.4	4.0	4.5		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 花鳥文	高台銘「清陶園製」			ほぼ完 形	
35-21	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	10.3	3.7	4.7		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 梅・欄	高台銘「春旭」			ほぼ完 形	
35-22	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	10.1	3.5	4.6		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 梅・欄	高台銘「春旭」			ほぼ完 形	
35-23	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	9.9	3.9	4.0		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内外面: 鶴1羽	高台銘「角銘」			完形	
35-24	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	11.5	4.6	4.8		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 草花文	高台銘「清玉園製」			1/3	
35-25	遺構1	碗	銅版転写	11.6	3.8	5.2		緑・桃色: 透明釉: 白色粘質土	外面: 植物文				1/2	
35-26	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	11.8	4.5	5.0		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	内面: 人物、外面: 不明	高台銘「深山園製」			1/2	
35-27	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	11.8	3.7	4.7		酸化コバルト・黄 褐色: 透明釉: 白 色粘質土	外面: 菊				ほぼ完 形	
35-28	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	10.9	3.9	4.9		酸化コバルト・緑: 透明釉: 白色粘質 土	外面: 草花文				ほぼ完 形	
35-29	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	10.8	3.9	4.3		酸化コバルト・緑・ 黄褐色: 透明釉: 白色粘質土	外面: 菊花				完形	
35-30	遺構1	碗	銅版転写・ ダミ	10.6	3.6	4.5		酸化コバルト・緑・ 黄褐色: 透明釉: 白色粘質土	外面: 菊花				完形	
35-31	遺構1	碗	銅版転写	10.9	3.3	4.8		酸化コバルト・茶 褐色: 透明釉: 白 色粘質土	外面: 草花文				ほぼ完 形	
35-32	遺構1	碗	銅版転写	9.8	3.5	4.2		酸化コバルト: 透 明釉: 白色粘質土	外面: 松竹梅、男女像	胴部外面: 銘「甲○?○? 且」と角銘				ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
35-33	遺構 1	碗	銅版転写・吹墨	9.9	4.0	5.0		酸化コバルト、緑、透明釉：白色粘質土	外面：花				1/2
35-34	遺構 1	碗	銅版転写	9.8	4.9	4.4		酸化コバルト：淡緑釉：白色粘質土	内外面：松文（コバルト）	高台銘（判読不明）			ほぼ完形
35-35	遺構 1	碗	銅版転写・タミ	10.4	3.7	4.5		酸化コバルト、緑、透明釉：白色粘質土	外面：雷文・草花				ほぼ完形
36-36	遺構 1	碗	手描き	12.2	4.6	5.9		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：草木文				ほぼ完形
36-37	遺構 1	碗	手描き	11.2	3.8	5.1		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内外面：梅、高台内外に圏線				ほぼ完形
36-38	遺構 1	碗	手描き	11.2	3.8	5.3		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：鳥・草				1/2
36-39	遺構 1	碗	手描き	10.4	3.4	4.3		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：草文				ほぼ完形
36-40	遺構 1	碗	手描き	10.4	3.6	4.7		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：不明	高台銘「白峰園製」			1/2
36-41	遺構 1	碗	手描き	10.4	3.8	4.2		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：人物像 口唇部・高台内外に圏線				1/2
36-42	遺構 1	碗	手描き・吹墨	10.4	3.4	4.5		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：雪舟山人の文字	高台銘「柏山」			1/2
36-43	遺構 1	碗	手描き	11.6	4.2	5.1		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	外面：不明	高台銘「柏山■■■」			ほぼ完形
36-44	遺構 1	碗	手描き	11.2	3.6	5.2		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	内外面：草花 高台内に圏線、高台外面：波状文	高台銘「真■■園製」			ほぼ完形
36-45	遺構 1	碗	手描き	9.4	3.6	4.5		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：草花文	高台銘「松■」			完形
36-46	遺構 1	碗	手描き	10.6	3.4	4.4		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：植物文	高台銘「柏山」			完形
36-47	遺構 1	碗	手描き	11.8	5.2	6.1		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内面：見込みに草花、外面：松・草花、高台外面：圏線				1/2
36-48	遺構 1	碗	手描き	10.2	3.6	4.5		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	外面：雷文、松竹梅 高台内外面：圏線	角銘			ほぼ完形
36-49	遺構 1	碗	手描き	10.5	3.8	4.7		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	外面：雷文、松竹梅 高台内外面：圏線	角銘			完形
36-50	遺構 1	碗	手描き	10.4	3.8	4.7		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	外面：雷文、松竹梅 高台内外面：圏線	角銘			完形
36-51	遺構 1	碗	手描き	10.4	3.6	4.7		酸化コバルト、淡紅色：透明釉：白色粘質土	外面：雷文、松竹梅 高台内外面：圏線	角銘			1/2
36-52	遺構 1	碗	手描き	10.9	3.7	5.0		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：鳳凰、花	高台銘「■■■軒製」			3/4
36-53	遺構 1	碗	手描き	9.9	4.0	5.0		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：草花 高台内外面：圏線	高台銘「専保園製」			2/3
36-54	遺構 1	碗	手描き	11.2	3.8	5.1		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：龍 高台：八角形	高台銘「秀迭」			1/3
37-55	遺構 1	碗	手描き	11.8	-	-		酸化コバルト：淡青釉：白色粘質土	外面：三角幾何文				1/3
37-56	遺構 1	碗	手描き・吹墨	(12.8)	-	-		黒色：淡青釉：白色粘質土	外面：鶴・松文				1/6
37-57	遺構 1	碗	手描き・イッチン	(11.0)	-	-		酸化コバルト：淡青釉：白色粘質土	外面：羽根 高台内外面：圏線				1/2
37-58	遺構 1	碗	手描き・イッチン	14.5	3.9	5.0		酸化コバルト、淡紅色：淡青釉：白色粘質土	外面：羽根、花 高台内外面：圏線				1/2
37-59	遺構 1	碗	イッチン	11.4	4.2	5.0		酸化コバルト、黒色：透明釉：白色粘質土	口唇部内外面：黒色釉縁どり 外面胴部下半：面取り 外面：楓	高台銘「原平精製」			ほぼ完形
37-60	遺構 2	碗		11.4	4.6	5.1		褐色釉：透明釉：白色粘質土	外面胴部下半：面取り				1/2
37-61	遺構 1	碗	手描き・イッチン	10.8	4.6	3.8		酸化コバルト、茶褐色：透明釉：白色粘質土	外面胴部下半：面取り 外面：花卉 高台内外面：圏線				完形
37-62	遺構 1	碗	手描き	10.8	3.8	4.9		酸化コバルト、茶褐色：透明釉：白色粘質土	外面：三本格子	高台銘「春爵精製」			完形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
37-63	遺構 1	碗	手描き	10	4.6	4.6		酸化コバルト：褐色、透明釉：白色粘質土	内面：炭				ほぼ完形
37-64	遺構 1	碗	手描き	9.8	4.6	4.7		酸化コバルト：褐色、透明釉：白色粘質土	内面：炭				ほぼ完形
37-65	遺構 1	碗	手描き	10	4.2	4.5		酸化コバルト：褐色、透明釉：白色粘質土	内面：炭				ほぼ完形
37-66	遺構 1	碗	手描き	10	4.4	4.4		酸化コバルト：褐色、透明釉：白色粘質土	内面：炭				ほぼ完形
37-67	遺構 1	子供茶碗	色絵	8.3	2.3	3.8		多色：透明釉：白色粘質土	内面：文字？、圏線 外面：植物文 高台畳付露胎				完形
37-68	遺構 1	子供茶碗	手描き	8.9	4.4	4.6		褐色：透明釉：白色粘質土	内外面：植物文				1/2
37-69	遺構 1	子供茶碗	手描き	8.4	4.8	4.6		褐色：透明釉：白色粘質土	内外面：植物文				完形
37-70	遺構 1	子供茶碗	手描き	8.3	3.8	4.0		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内外面：多重圏線 蛇の目高台				ほぼ完形
37-71	遺構 1	子供茶碗	色絵	(10.5)	-	-		多色：透明釉：白色粘質土	外面：草花		瀬戸美濃？		1/5
37-72	遺構 1	子供茶碗	色絵	8.7	3.2	3.9		多色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：桜花文 高台畳付露胎	胴部外面：金彩銘「肥」			ほぼ完形
38-73	遺構 1	子供茶碗	色絵	8.8	3.2	4.0		多色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：桜花文 高台畳付露胎	胴部外面：金彩銘「肥」			3/4
38-74	遺構 1	子供茶碗	色絵	8.6	3.0	4.1		多色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：桜花文 高台畳付露胎	胴部外面：金彩銘「肥」			完形
38-75	遺構 1	子供茶碗	色絵	(8.7)	-	-		多色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：桜花文 高台畳付露胎				1/3
38-76	遺構 1	子供茶碗	銅版転写・色絵	9.4	3.0	4.7		多色：透明釉：白色粘質土	外面：人形・宝箱・馬・ダンゴ・達磨 高台畳付露胎				完形
38-77	遺構 1	子供茶碗	銅版転写・色絵	(9.5)	3.3	4.4		多色：透明釉：白色粘質土	外面：人形・宝箱・馬・ダンゴ・達磨 高台畳付露胎		瀬戸美濃		1/3
38-78	遺構 1	子供茶碗	銅版転写・色絵	(9.5)	-	-		多色：透明釉：白色粘質土	外面：楽器		瀬戸美濃		口縁部片
38-79	遺構 1	子供茶碗	銅版転写	(9.2)	(3.0)	4.2		赤・緑：透明釉：白色粘質土	外面：人物文 高台畳付露胎		瀬戸美濃？		1/5
38-80	遺構 3	子供茶碗	手描き	9.5	3.6	4.7		酸化コバルト・赤：透明釉：白色粘質土	外面：格子状 高台畳付露胎		関西か瀬戸・美濃	明治以降	完形
38-81	遺構 1	子供茶碗	色絵	(9.6)	(3.5)	4.4		赤・緑・黄色：透明釉：白色粘質土	外面：梅花文		肥前系	明治～大正	2/3
38-82	遺構 1	子供茶碗	色絵	(9.5)	(4.4)	3.9		赤・緑：透明釉：白色粘質土	内面：圏線 外面：紅葉文		肥前系	明治～大正	1/3
38-83	遺構 1	子供茶碗	色絵	8.4	3.0	4.4		金彩・青・白：緑釉：白色粘質土	外面：菊と流星文様 高台畳付露胎 鋳込み成形ではない		瀬戸・美濃？	明治～大正	ほぼ完形
38-84	遺構 1	器蓋	銅版転写・ダミ	10.2		2.7	ツمامミ径 3.8	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内面：環珞文 外面：菊花文	高台銘「眞峰園製」	瀬戸美濃	明治後半～大正	完形
38-85	遺構 1	器蓋	銅版転写・ダミ	10		2.4	ツمامミ径 3.8	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：松竹梅	高台銘「千■園製」			ほぼ完形
38-86	遺構 1	器蓋	銅版転写	11.6		2.7	ツمامミ径 4.6	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：馬		肥前		1/3
38-87	遺構 1	器蓋	銅版転写	10.0		3.0	ツمامミ径 4.1	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：アザミと雀	角銘	肥前？	明治～大正	ほぼ完形
38-88	遺構 1	器蓋	銅版転写	(10.0)		(2.8)	ツمامミ径 (4.0)	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：楽器と植物	高台銘「■■■」	瀬戸		1/2
38-89	遺構 1	器蓋	銅版転写	7.8		2.8	ツمامミ径 3.6	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：楽器と植物	高台銘「■■■」	瀬戸		ほぼ完形
38-90	遺構 1	器蓋	手描き・吹墨	10.3		2.7	ツمامミ径 3.8	酸化コバルト・暗褐色・桃色：透明釉：白色粘質土	外面：富士・松原 摘み・圏線	高台銘「暗■■■」			ほぼ完形
39-91	遺構 1	器蓋	手描き(染付)	9		2.4	ツمامミ径 4.8	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：草花文 摘み：圏線		肥前か関西	明治～大正	ほぼ完形
39-92	遺構 1	器蓋	銅版転写？	10.3		2.4	ツمامミ径 3.8	酸化コバルト・薄紅色：透明釉：白色粘質土	内外面：桜・波	高台銘「瀬美精製」	瀬戸	明治～大正	2/3



図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高	ツمام径						
39-93	遺構 1	器蓋	手描き	10		2.9	ツمام径 4.2	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：龍・唐草・花 内面：鋸歯文		肥前	幕末～明治 頃 19世紀後 半	1/3
39-94	遺構 1	器蓋	手描き	8.8		2.6	ツمام径 3.6	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	外面：植物文 摘み：圓 線		瀬戸	明治～大正	1/2
39-95	遺構 1	器蓋	手描き	8.2		2.3	ツمام径 3.7	酸化コバルト・黒 色：透明釉：白色 粘質土	外面：植物文		肥前	明治～大正	ほぼ完 形
39-96	遺構 1	器蓋	手描き・ イッチン	9.1		2.3	ツمام径 3.6	酸化コバルト・黄 褐色：透明釉：白 色粘質土	外面：菊花 摘み：圓線、 幾何学文	高台銘「■陶軒製」	瀬戸	明治～大正	ほぼ完 形
39-97	遺構 1	器蓋	手描き・ イッチン	-		-	ツمام径 (3.4)	酸化コバルト・緑： 透明釉：白色粘質 土	外面：草花文	高台銘「千峰園製」?	瀬戸 or 関西		1/3
39-98	遺構 1	器蓋	手描き	-		-	ツمام径 (3.4)	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	外面：菊文 摘み：圓線	高台銘「■花■製」?	瀬戸	明治～大正	1/5
39-99	遺構 1	器蓋	手描き	9.6		2.8	ツمام径 3.7	黄褐色：透明釉： 白色粘質土	外面：雨龍文、寶龍		肥前?	明治～大正	2/3
39-100	遺構 1	器蓋	色絵	(10.2)		2.6	ツمام径 (3.6)	多色：透明釉：白 色粘質土	外面：鶴・松 摘み内部 金彩			明治頃	ほぼ完 形
39-101	遺構 1	器蓋	色絵	(7.7)		2	ツمام径 3.6	多色：透明釉：白 色粘質土	外面：花		瀬戸 or 関西	明治～大正	2/3
40-102	遺構 1	小坏	銅版転写	7.9	3.2	4		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：菊 蛇の目高台				完形
40-103	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	3.6	5		黒色：透明釉：白 色粘質土	外面：情景 外面・高台 内外：圓線	高台銘「大日本富山製」			完形
40-104	遺構 1	小坏	銅版転写	(7.8)	(3.6)	(4.8)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：鳳凰・唐草文、植 物	高台銘「泰山」			3/4
40-105	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	3.8	4.4		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	外面：草花文				完形
40-106	遺構 1	小坏	銅版転写	(7.8)	(3.8)	4.3		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	外面：草花文				1/2
40-107	遺構 1	小坏	銅版転写・ 手描き	8.2	3.8	4.6		酸化コバルト・緑 色：透明釉：白色 粘質土	外面：花・蝶文	高台銘「喜山」			完形
40-108	遺構 1	小坏	銅版転写	(7.8)	(4.0)	4.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：草花文	高台銘有			1/2
40-109	遺構 1	小坏	銅版転写	(7.8)	(4.0)	(4.6)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：菊か? 高台内外 面：圓線	高台銘「■舎」			ほぼ完 形
40-110	遺構 1	小坏	銅版転写・ 手描き	7.7	3.8	4.9		酸化コバルト・緑 色：透明釉：白色 粘質土	外面：山	高台銘「■■■■北山製」			1/2
40-111	遺構 1	小坏	銅版転写・ タミ	(7.8)	(4.3)	4.5		酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	外面：植物文 高台外面： 圓線	胴部：銘「秀山」、「水野」			2/3
40-112	遺構 1	小坏	銅版転写・ タミ	(7.8)	(3.9)	4.7		酸化コバルト・緑 色：透明釉：白色 粘質土	外面：鳥・山 高台内外： 圓線	胴部「泉石生」、「泉石」、 「神■」 高台銘「秀山」?			2/3
40-113	遺構 1	小坏	銅版転写	(7.6)	(3.2)	4.3		酸化コバルト・黒 色：透明釉：白色 粘質土	外面：山・家 高台内外： 圓線	高台銘「大日本友吉製」			1/2
40-114	遺構 1	小坏	手描き	8.3	2.7	4.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：植物文				1/3
40-115	遺構 1	小坏	銅版転写	6.6	3.2	4.6		緑：透明釉：白色 粘質土	外面：海・帆船				2/3
40-116	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	3.4	4.2		緑：透明釉：白色 粘質土	外面：唐草・草花文 高 台外面：圓線				1/2
40-117	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	3.8	4.0		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：草花文・獅子・雲 高台外面：圓線				ほぼ完 形
40-118	遺構 1	小坏	銅版転写	8.0	3.8	4.0		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：松竹梅・鳥 高台 外面：圓線				ほぼ完 形
40-119	遺構 1	小坏	銅版転写	7.6	3.8	4.1		黄褐色：透明釉： 白色粘質土	外面：松竹梅 内外面： 圓線	胴部銘「福録寿」			完形
40-120	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	3.4	4.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：不明 高台外面： 圓線 蛇の目高台				1/3
40-121	遺構 1	小坏	銅版転写・ 手描き	7.8	3.6	4		酸化コバルト・緑： 透明釉：白色粘質 土	外面：草花文 高台外面： 圓線				ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
40-122	遺構 1	小坏	銅版転写	7.6	3.8	4.6		酸化コバルト薄紅色：透明釉：白色粘質土	外面：蝶・植物 高台内外：圏線				1/2
40-123	遺構 1	小坏	銅版転写	7.8	4	4.5		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：無文 蛇の目高台	内底銘「錦屋」			完形
40-124	遺構 1	小坏	手描き	10.8	4.8	5.4		黒色：透明釉：白色粘質土	外面：不明				1/3
40-125	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.8	4.3		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：圏線 口縁部外面に帯状の文様 高台内外：圏線	高台銘「古春花精製」			ほぼ完形
40-126	遺構 1	小坏	手描き	8.4	3.3	4.1		藍色：淡緑色釉：白色粘質土	外面：蓮弁文				完形
40-127	遺構 1	小坏	手描き	8.2	3.4	4.7		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	外面：草花文				完形
41-128	遺構 1	小坏	手描き	8.2	2.4	3.2		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内外面：草				1/2
41-129	遺構 1	小坏	手描き・ダミ	8.4	3.8	5.0		酸化コバルト・緑・黄色・薄紅色：透明釉：白色粘質土	外面：牡丹文				ほぼ完形
41-130	遺構 1	小坏	手描き	7.9	4.0	4.2		藍色：クロム：白色粘質土	外面：植物文 高台内：圏線				完形
41-131	遺構 1	小坏	手描き	6.1	3.4	3.4		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	口縁部内側削ぎ 外面：植物文				ほぼ完形
41-132	遺構 1	小坏	吹墨	(7.8)	3.8	4.1		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	口縁部内外面：吹墨 外面：鋸歯文 蛇の目高台				ほぼ完形
41-133	遺構 1	小坏	吹墨	7.0	4.3	3.5		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面一部吹墨				2/3
41-134	遺構 1	小坏	手描き	7.4	4.2	5.6		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：幾何学文 高台内外面：圏線	高台銘「三銀■」			1/2
41-135	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.6	4.7		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-136	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.2	4.5		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-137	遺構 1	小坏	手描き	8.5	3.4	4.1		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				完形
41-138	遺構 1	小坏	手描き	8.4	3.4	4.3		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-139	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.4	4.2		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				完形
41-140	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.2	4.5		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-141	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.4	4.4		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-142	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.6	4.2		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-143	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.4	4.3		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				2/3
41-144	遺構 1	小坏	手描き	8.8	3.6	4.5		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-145	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.2	4.0		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				1/3
41-146	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.2	4.3		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-147	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.2	4.2		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				ほぼ完形
41-148	遺構 1	小坏	手描き	7.8	4.0	4.3		藍色：淡青釉：白色粘質土	外面：植物文 蛇の目高台				1/4
41-149	遺構 1	小坏	手描き	7.8	-	(3.8)		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	口唇部、茶褐色で着色 内面：不明 外面：人物文・風景				口縁部小片
41-150	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.4	4.8		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	内外面：植物文				完形
41-151	遺構 1	小坏	手描き	8.6	3.6	4.5		酸化コバルト：クロム：白色粘質土	外面：燕				完形
41-152	遺構 1	小坏		8.4	3.2	4.0		クロム：白色粘質土	外面：鑄削り 蛇の目高台				2/3
41-153	遺構 1	小坏		8.0	3.0	4.5		クロム：白色粘質土	外面：とびカンナ 削り出し高台				完形
41-154	遺構 1	小坏		7.8	3.0	4.1		クロム：白色粘質土	外面：とびカンナ 削り出し高台				ほぼ完形
41-155	遺構 1	小坏		8.2	3.2	4.0		灰黄色：白色粘質土	外面：とびカンナ 削り出し高台				ほぼ完形
41-156	遺構 1	小坏		8.2	3.5	4.0		クロム：白色粘質土	外面：とびカンナ 削り出し高台				完形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法／文様／その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
42-157	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	5.8	3.3	6.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：網目文				完形
42-158	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	4.8	3.6	6.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：龍・雲 高台外面： 雷文 高台内面：圏線	高台銘「壽」			完形
42-159	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	5.9	4.0	7.2		淡紅色：透明釉： 白色粘質土	外面：雷文など 高台外 面：草花文	高台銘「錦山精製」			ほぼ完 形
42-160	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	5.6	3.4	5.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	口唇部に茶褐色の着色 外面：竹・劍頭文 高台 部内外面：圏線	胴部銘「鶴子亭 松堂山 人 角銘」			3/4
42-161	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	5.9	3.6	6.9		酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：風景・人物 外面： 青海波・人物 高台外面： 渦卷文	高台銘「■■■■■」			ほぼ完 形
42-162	遺構1	筒形湯呑	銅版転写	5.8	3.6	6.6		酸化コバルト・淡 紅色：透明釉：白 色粘質土	外面：梅				ほぼ完 形
42-163	遺構1	筒形湯呑	銅版転写・ タミ	(5.4)	(3.4)	6.1		金彩・多色：透明 釉：白色粘質土	外面：小判文・紐 高台 外面：圏線				2/3
42-164	遺構1	筒形湯呑	銅版転写・ タミ	6.6	4.0	7.3		緑・淡赤紫色：透 明釉：白色粘質土	外面：菊花文				ほぼ完 形
42-165	遺構1	筒形湯呑	手描き・ タミ・吹 墨	(7.6)	(4.4)	8.0		灰・緑・薄紅色： 透明釉：白色粘質 土	外面：松・鶴文	高台銘「月山」			ほぼ完 形
42-166	遺構1	筒形湯呑	手描き	6.8	4.4	7.6		藍色・黒・薄紫・ 黄灰色：透明釉： 白色粘質土	外面：草花文	高台内「柏山」			ほぼ完 形
42-167	遺構3	筒形湯呑	手描き	6.2	3.6	6.6		酸化コバルト・薄 紅色（釉裏紅）： 透明釉：白色粘質 土	内面：人物・風景画 外 面：牡丹・木目 高台外 面：蓮弁	高台銘「東陽軒平八製」	瀬戸・肥前	明治～大正	完形
42-168	遺構1	筒形湯呑	手描き	(6.4)	(3.8)	(6.3)		酸化コバルト・淡 紅・緑色：透明釉： 白色粘質土	外面：柿文	高台内面、文字か？			2/3
42-169	遺構1	筒形湯呑	手描き	(6.1)	4.3	7.3		酸化コバルト・薄 紅・緑色：透明釉： 白色粘質土	外面：柿	高台内面、文字か？			3/4
42-170	遺構1	筒形湯呑	手描き	(5.2)	(3.5)	6.0		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：植物文	高台銘「香山」			ほぼ完 形
42-171	遺構1	筒形湯呑	手描き	5.3	3.6	6.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：植物文	高台銘「香山」			ほぼ完 形
42-172	遺構1	筒形湯呑	手描き	(5.0)	(3.3)	5.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：植物文	高台銘「香山」			1/2
42-173	遺構1	筒形湯呑	手描き	(5.9)	(3.4)	5.6		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：松文 高台外部： 不明文様	高台銘「四老」			2/3
42-174	遺構1	筒形湯呑	色絵	(6.7)	(4.4)	(8.0)		多色・金彩：透明 釉：白色粘質土	外面：花・蝶文・渦卷文 高台外部：金彩				1/2
42-175	遺構1	筒形湯呑	色絵	(6.8)	(4.0)	(7.8)		多色：透明釉：白 色粘質土	外面：草花文				ほぼ完 形
42-176	遺構1	器種不明	型押し	(7.8)	-	-		透明釉：白色粘質 土	口縁部雷文の型押し				口縁部 小片
42-177	遺構1	湯呑	手描き	6.8				酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：口縁部に酸化コ バルトの圏線				1/4
42-178	遺構1	端反湯呑	無文	-	-	-		灰色不透明釉薬： 灰色粘質土	内面：貫入				口縁部 小片
42-179	遺構1	湯呑か	無文	-	3.0	(2.7)		淡灰緑色不透明 釉：灰色粘質土	高台部～底部：露胎				底部片
43-181	遺構1	盃	手描き	6.7	2.5	2.8		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	高台外面：文様	高台銘：角銘見込み銘「鎌 倉（赤字）かど正（金字）」			ほぼ完 形
43-182	遺構1	盃	手描き	6.7	2.8	2.7		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	高台外面：文様	高台銘：角銘見込み銘「鎌 倉（赤字）かど正（金字）」			ほぼ完 形
43-183	遺構1	盃	手描き	6.9	2.5	2.7		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	内底部：扇子と文字 口 唇部金色 高台外面： 波形文様	見込み銘「八幡前（赤字） みかわや 酒店（金字）」			2/3
43-184	遺構3	盃	手描き	8.2	3.1	3.3		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	内底部：扇子と文字	高台銘：角銘 見込み銘「八幡前（赤字） 靴屋（金字）」			ほぼ完 形
43-185	遺構1	盃	手描き	6.8	2.3	2.5		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	内底部：扇子と文字 口 唇部金色 高台外面： 波形文様	高台銘：角銘 見込み銘「鎌倉 寿し 喜屋 八幡前（金字）」			ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
43-186	遺構 1	盃	手描き	6.8	2.3	2.7		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	内面：文字と文様（松 か？） 口唇部：金色わ ずかに残る 高台外面： 波正文様	高台銘：角銘 見込み銘「寿司（金字） かまくら（朱色）」			1/2
43-187	遺構 1	盃	手描き	6.5	2.4	2.6		酸化コバルト・金 彩・緑色：透明釉： 白色粘質土	内面：松葉（緑色） 口 唇部：金色 高台外面： 波正文様	高台銘：角銘 見込み銘：角銘、かまく ら（金字） 鎌倉雪ノ下八幡前松岡			2/3
43-188	遺構 1	盃	手描き	-	2.4	(1.3)		酸化コバルト・金 彩・緑色：透明釉： 白色粘質土	内面：松葉（緑色） 口 唇部：金色 高台外面： 波正文様	高台銘：角銘 見込み銘：角銘、かまく ら（金字） 鎌倉雪ノ下八幡前松岡			底部小 片
43-189	遺構 1	盃	手描き	-	2.6	(2.7)		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	見込み：文字 高台外 面：波正文様	高台銘：角銘 見込み銘：「かまくら 角 倉」			1/3
43-190	遺構 1	盃	手描き	6.8	2.8	2.6		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	見込み：文字と陶器 高台外面：波正文様	高台銘：角銘 見込み銘：「八幡前（朱色） 陶器販売（金色）」			1/1
43-191	遺構 1	盃	手描き	6.7	2.7	2.6		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	見込み：文字 高台外面： 波正文様	高台銘：角銘見込み銘： 「き蕎麦 東屋（金字）」			ほぼ完 形
43-192	遺構 1	盃	手描き	6.8	2.7	2.8		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	見込み：文字 口唇部： 金色	見込み銘：「かまくら 東？（金字）」			1/4
43-193	遺構 1	盃	手描き	7.0	1.0	2.9		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	見込み：文字と桜 高台 外面：波正文様	見込み銘：萩原			1/5
44-194	遺構 1	盃	手描き	6.6	2.8	2.4		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	内面：文字と絵	見込み銘：「■■■■ ■■ ■■■（金色）」			1/3
44-195	遺構 1	盃	手描き	6.8	2.7	2.6		酸化コバルト・金 彩・朱色：透明釉： 白色粘質土	内面：文字と不明文様 高台外面：波正文様	高台銘：角銘 見込み銘：「■■■（金字）」			2/3
44-196	遺構 1	軍杯	手描き	8.2	3.3	3.3		酸化コバルト・金 彩・緑色：透明釉： 白色粘質土	内面：文字と文様（旭日 旗・日本国旗・桐の花）	高台銘：「錦」 見込み銘：「記念 ■■■」			ほぼ完 形
44-197	遺構 1	軍杯	手描き	(8.2)	-	(2.5)		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	内面：文字と文様（旭日 旗）	内面：「明治四（金色）」「陸 （金色）」			口縁部 片
44-198	遺構 1	盃	手描き	8.6	3	3.4		橙色・褐色：透明 釉：白色粘質土	内外面：不明文様				1/2
44-199	遺構 1	盃	色絵	8.4	2.8	3.2		酸化コバルト・金 彩・朱・緑色：透 明釉：白色粘質土	外面：鳳凰と雲				ほぼ完 形
44-200	遺構 1	盃	手描き	-	2.4	(1.3)		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	内底面：文字と文様 高 台外面：波正文様	高台銘：「角銘」			底部極 小片
44-201	遺構 1	盃	手描き	7.0	2.4	2.8		酸化コバルト・金 彩：透明釉：白色 粘質土	高台外面：波正文様				ほぼ完 形
44-202	遺構 1	盃	吹墨	6.8	2.5	2.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	口縁部内外に吹墨				ほぼ完 形
44-203	遺構 1	盃	手描き・ 吹墨	7.2	2.6	2.7		酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：花				1/3
44-204	遺構 1	盃	手描き	3.5	2.6	3.7		酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：不明文様				1/4
44-205	遺構 1	盃	手描き	7	2.4	2.7		酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物文様（秋海棠 か）				2/3
44-206	遺構 1	盃	色絵	6.8	2.6	2.6		多色・金彩：透明 釉：白色粘質土	口縁部：輪花 口唇部： 金彩 内面：風景				2/3
44-207	遺構 1	盃		6.6	3.0	3.1		透明釉：白色粘質 土	内外面：無文				ほぼ完 形
44-208	遺構 1	盃	手描き	5.4	2.4	3.3		金彩：透明釉：白 色粘質土	外面：右回りの三つ巴文				2/3
44-209	遺構 1	盃	手描き	5.0	2.3	3.0		金彩：透明釉：白 色粘質土	外面：文様不明				1/2
44-210	遺構 1	盃	手描き	5.2	2.4	3.4		金彩：透明釉：白 色粘質土	外面：左回りの三つ巴文 内面：紅のような赤色 付着物				完形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法／文様／その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
44-211	遺構 1	盃		(3.4)	-	(3.0)		透明釉：白色粘質土	内外面：無文				1/5
44-212	遺構 1	盃		4.0	3.0	4.8		透明釉：白色粘質土	内外面：無文				ほぼ完 形
44-213	遺構 1	盃	手描き	3.6	2.4	3.8		透明釉：白色粘質土	外面：丸に葛				完形
44-214	遺構 1	盃		3.8	2.7	4.0		透明釉：白色粘質土	内外面：無文				3/4
44-215	遺構 1	盃		4.2	2.9	3.9		透明釉：白色粘質土	内外面：無文				ほぼ完 形
45-216	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.8	6.3	2.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：みじん唐草・人物・ 植物				ほぼ完 形
45-217	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.6	6	2.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：みじん唐草・鳥・ 植物・人物・文字				ほぼ完 形
45-218	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.4	6.3	1.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：草花・人物・文字				1/2
45-219	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.4	6.6	1.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：草花・人物・文字				1/4
45-220	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.8	6.8	1.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：花				ほぼ完 形
45-221	遺構 1	皿	型紙摺絵	10.8	6.4	2		緑色：透明釉：白 色粘質土	内面：花				ほぼ完 形
45-222	遺構 1	皿	型紙摺絵	22	10.2	3.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：青海波・波・ウサギ・ 月・花 外面：草花 蛇 の目高台				2/3
45-223	遺構 1	皿	銅版転写	長径 16.2 短径 13.0	6.4	2.6		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物・鳥 外面： 圏線				ほぼ完 形
45-224	遺構 1	皿	銅版転写	14.3	8.3	3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：アヤメ・菊・唐草 洋風文様 口唇部：圏線 高台内外面：圏線				1/2
45-225	遺構 1	皿	銅版転写	12.4	7.2	2.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：亀・青海波・松竹 梅				完形
45-226	遺構 1	皿	銅版転写	12.5	7	2.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：花・青海波・鳥・竹・ 菊・扇・タコ唐草				ほぼ完 形
46-227	遺構 1	皿	銅版転写	10.4	6.4	1.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：寿文・植物				ほぼ完 形
46-228	遺構 1	皿	銅版転写	10.4	6.5	2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：網目と金魚 外面： 圏線・不明文様 高台内 外面：圏線				2/3
46-229	遺構 1	皿	銅版転写	11	6	1.6		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	口縁部輪花 内外面：牡 丹・竹・梅・青海波・斜 格子	高台銘：「■■■園製」			1/2
46-230	遺構 1	皿	銅版転写・ タミ	10.4	5.6	1.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：圏線 内面：人物・ 風景植物				1/2
46-231	遺構 1	皿	銅版転写・ タミ	10.8	6	2.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文様				1/5
46-232	遺構 1	皿	銅版転写	7.8	4.4	1.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：石燈籠・人物・風景・ 菊・桜				完形
46-233	遺構 1	皿	銅版転写	9.4	5.9	1.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：唐獅子牡丹・植物 文				ほぼ完 形
46-234	遺構 1	皿	銅版転写	8.8	5.2	2.3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：海老				1/2
46-235	遺構 1	皿	銅版転写	7.8	4.2	2.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：格子と三つ巴				3/4
46-236	遺構 1	皿	銅版転写	15.8	8.4	3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：竹と上向き剣頭文・ 菊 外面：鳳凰、口唇部： 圏線 高台内外面：圏線				1/3
46-237	遺構 1	皿	銅版転写	10.9	5.8	2.6		酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：草花・魚・水泡 口唇部：褐色				ほぼ完 形
46-238	遺構 1	皿	銅版転写	10.7	5.7	2.5		酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：草花・魚・水泡 口唇部：褐色				ほぼ完 形
46-239	遺構 1	皿	銅版転写	15.6	8.8	3.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：人・鳥・植物・風 景 外面：圏線 高台内 外面：圏線				ほぼ完 形
46-240	遺構 1	皿	銅版転写	12.6	7.7	2.1		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	内面：「寿」文・植物文様・ 口唇部：茶褐釉				ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量			顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高						
46-241	遺構 1	皿	銅版転写	10.6	6.2	2.0	酸化コバルト・淡茶 色：透明釉：白色 粘質土	内面：植物文・三つ藤巴 外面：圏線				完形
46-242	遺構 1	皿	銅版転写	10.8	6.5	1.9	酸化コバルト：淡 緑色釉：白色粘質 土	内面：虎・龍 口唇部： 褐色				完形
47-243	遺構 1	皿	銅版転写	12.7	6.6	2.5	酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：鳥・波の中青海波 口唇部：褐色				ほぼ完 形
47-244	遺構 1	皿	銅版転写	12.4	7	2.3	酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：水流・菊・千鳥 口唇部：褐色				ほぼ完 形
47-245	遺構 1	皿	銅版転写	11.7	6.4	2.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：文様不明 外面・ 高台見込み：圏線 口唇 部：酸化コバルト				1/2
47-246	遺構 1	皿	銅版転写	21	13.2	2.7	酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：鳥・雲・亀 口唇部： 褐色 口縁：イゲ緑				1/2
47-247	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	(15.7)	10	(3.5)	酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内面：桜・渦巻 外面： 植物文・圏線 口唇部： 褐色 口縁：イゲ緑				口縁部 小片
47-248	遺構 1	皿	銅版転写	10.7	6.2	2.2	緑色・褐色：透明 釉：白色粘質土	内面梅・鶯 口唇部：褐 色				完形
47-249	遺構 1	皿	銅版転写	10.4	6.4	2.0	緑色・淡茶色：透 明釉：白色粘質土	内面：桜・菱形 口唇部： 淡茶色				ほぼ完 形
47-250	遺構 1	皿	銅版転写	10.4	6.2	1.8	緑色・淡茶色：透 明釉：白色粘質土	内面：桜・菱形 口唇部： 淡茶色				1/4
47-251	遺構 1	皿	銅版転写	10.6	6.4	2.2	緑色・褐色：透明 釉：白色粘質土	内面：桐・菊・唐草 口 唇部：褐色				ほぼ完 形
47-252	遺構 1	皿	銅版転写	10.6	6.2	2.0	緑色・褐色：透明 釉：白色粘質土	内面：桐・菊・唐草 口 唇部：褐色				1/5
47-253	遺構 1	皿	銅版転写	12.6	7.1	2.4	緑色・褐色：透明 釉：白色粘質土	内面：花菱・菊・斜格子・ 鳥 口唇部：褐色				ほぼ完 形
47-254	遺構 1	皿	銅版転写	12.9	7.6	2.5	酸化コバルト・緑 色：透明釉：白色 粘質土	内面：松 外面：圏線 口唇部：酸化コバルト				1/2
48-255	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	11.8	6.6	2.7	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文 外面・高 台外面：圏線				ほぼ完 形
48-256	遺構 3	皿(手塩皿)	銅版転写	8.3	4.2	1.7	酸化コバルト・褐 色：透明釉：白色 粘質土	内側：「壽福」・月・兎・ 水玉 外面：圏線 口唇 部：褐色 口縁：イゲ緑	瀬戸・美濃	明治・大正		完形
48-257	遺構 1	皿	銅版転写	12.2	6.8	3.1	茶褐色・緑・黄灰 色：透明釉：白色 粘質土	口縁部：植物文 内面見 込み：文様不明 鑄込み による放射状の痕跡	高台銘「暁山」	肥前？	明治後半～ 大正	4/5
48-258	遺構 1	皿	銅版転写	12.2	6.8	3.1	茶褐色・緑・黄灰 色：透明釉：白色 粘質土	口縁部：植物文 内面見 込み：文様不明 鑄込み による放射状の痕跡	高台銘「暁山」	肥前？	明治後半～ 大正	ほぼ完 形
48-259	遺構 1	皿	色絵	11.2	6	2.6	酸化コバルト・緑・ 薄紅色：透明釉： 白色粘質土	内面：松竹梅 高台内外 面：圏線				ほぼ完 形
48-260	遺構 1	皿	手描き	12	6.4	2.5	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物・池・水鳥 外面：圏線				ほぼ完 形
48-261	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	(14.0)	(7.6)	2.5	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物文 外面・高 台見込み：圏線		瀬戸美濃		1/3
48-262	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	(14.0)	7.7	2.6	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物文 外面・高 台見込み：圏線		瀬戸美濃		1/2
48-263	遺構 1	皿	銅版転写	(14.0～ 13.7)	7.7	3.4	酸化コバルト・薄 紅・薄黄・褐色： 透明釉：白色粘質 土	内面：植物 口唇部：褐 色 外面・高台見込み： 圏線		瀬戸美濃		1/2
48-264	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	12.6	7.2	2.65	酸化コバルト・赤・ 緑：透明釉：白色 粘質土	内面：鶴と松 外面・高 台見込み：圏線		瀬戸美濃		ほぼ完 形
48-265	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	12.1	6.5	3.2	酸化コバルト・茶 色・薄紅色・緑： 透明釉：白色粘質 土	内面：海と人物 外面・ 高台見込み：圏線		瀬戸美濃		ほぼ完 形
48-266	遺構 1	皿	銅版転写・ ダミ	11	5.3	2.2	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物・三つ巴他 外面：圏線		瀬戸美濃		完形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
49-267	遺構 1	皿	染付手描 き	10.5	5.6	2.3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内側：菊の花 外面：圓 線・不明文様	高台銘：角銘	瀬戸美濃		ほぼ完 形
49-268	遺構 1	皿	手描き	11.6	6.6	2.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物・鳥 外面・ 高台外面：圓線				ほぼ完 形
49-269	遺構 1	皿	手描き		(9.6)	(3.0)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：文表不明(龍?) 外面：圓線 高台見込 み：圓線				底部片
49-270	遺構 1	皿	染付手描 き吹墨	10.9	6.2	2.0		緑・桃・黄色・金 彩：透明釉：白色 粘質土	内面：朝顔 口唇部：金				完形
49-271	遺構 1	皿		8.2	5.0	1.9		透明釉：白色粘質 土	内外面：無文		瀬戸美濃		3/4
50-272	遺構 1	皿	手描き	長径 - 短径 23.0	12.0	2.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：桐、植物、文字 外面：圓線	見込み銘：「魚かん」			1/3
50-273	遺構 1	皿	イッチン	長径 - 短径 13.8	7.8	7.8		酸化コバルト・茶 色・緑色：透明釉： 白色粘質土	内面：植物文(桐・菊) 外面：圓線				4/5
50-274	遺構 1	皿	染付手描 き	—	(6.4)	(1.7)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文				底部片
50-275	遺構 1	皿	手描き	—	(17.4)	(2.3)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：文様不明 外面： 被熱				底部片
50-276	遺構 1	皿	色絵	21.0	12.6	2.4		金彩・朱・青・茶・ 黄・緑：透明釉： 白色粘質土	内面：花鳥文				ほぼ完 形
50-277	遺構 1	皿	色絵	-	(7.6)	-		金彩：透明釉：白 色粘質土	内面：植物文 色の剥落 著しい				底部小 片
50-278	遺構 1	皿	色絵	(14.7)	(9.2)	1.8		金彩・黒・緑・赤・ 酸化コバルト・淡 黄褐色：透明釉： 白色粘質土	内面：植物文		肥前?	明治～大正	小片
50-279	遺構 1	皿	色絵	-	(9.1)	(2.0)		金彩・黒・緑・赤・ 酸化コバルト・淡 黄褐色：透明釉： 白色粘質土	内面：風景・水鳥文	高台見込み銘：「■」	肥前、京都、 瀬戸・美濃、 関西系	明治～大正	小片
50-280	遺構 1	皿	色絵	-	-	-		酸化コバルト・緑・ 淡茶褐色：透明釉： 白色粘質土	内面：山水文				小片
51-281	遺構	鉢	銅版転写	14.8	5.9	5.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：植物・鳳凰・圓 線 高台見込み：圓線	高台銘：角銘	肥前系	明治～大正	完形
51-282	遺構	鉢	銅版転写	15.8	5.8	6.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：亀甲文・青海波 ほか 内外面・高台見込 み：圓線	高台銘：角銘	肥前か		ほぼ完 形
51-283	遺構	鉢	型紙摺絵・ ダミ	-	(6.0)	(1.5)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物 内外面：圓 線 蛇の目高台		瀬戸美濃系		底部片
51-284	遺構	鉢	型紙摺絵・ ダミ	-	9.2	(2.1)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：不明文様 外面： 圓線 蛇の目高台		肥前	明治	底部片
51-285	遺構 1	蓋	銅版転写	14.7	-	4.4	ツمام径 6.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：鶴・亀甲・唐草 文 ツمام内外面：圓線	ツمام銘：「陶峰園製」	瀬戸美濃	明治～大正	ほぼ完 形
51-286	遺構 1	蓋	銅版転写	14.8	4.3	6.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：鶴 外面松・鶴 ツمام内外面：圓線	ツمام銘：「陶峰園製」			完形
51-287	遺構 1	鉢	銅版転写	19.6	11.2	6.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：瓔珞文・圓線 内 面：唐草・植物・風景・鯉・ 鳥・水車 蛇の目高台				ほぼ完 形
52-288	遺構 3	鉢	手描き	12.0	6.0	6.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：山水文・漢詩 内 面：植物文 口唇部：茶 褐色 高台外面：波状文		瀬戸美濃		ほぼ完 形
52-289	遺構 1	鉢	手描き・ 吹き墨	(18.4)	8.4	7.4		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：竹 外面高台部： 連弁 外面：圓線	高台銘：「深川製」	有田	明治～大正	3/4
52-290	遺構 1	鉢	手描き	15.8	7.0	5.3		酸化コバルト・薄 紅色・緑：透明釉： 白色粘質土	内面：植物 外面：不明 高台部手描きの文様				2/3
52-291	遺構 1	鉢	銅版転写・ ダミ	10.5	3.0	7.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：草花・鳥・蝶		瀬戸美濃系		完形
52-292	遺構 1	鉢	銅版転写・ ダミ	10.6	4.4	7.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：草花・鳥・蝶		瀬戸美濃系		ほぼ完 形
52-293	遺構 1	鉢	銅版転写・ ダミ	10.6	4.2	7.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：草花・鳥・蝶		瀬戸美濃系		1/3
52-294	遺構 3	鉢	手描き	10.5	7.1	8.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：植物				ほぼ完 形
52-295	遺構 1	鉢	手描き	8.6	4.2	4.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：圓線・不明文様				ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
52-296	遺構 1	鉢	手描き風 銅版転写	(15.4)	15.3	7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：圏線、内底圏線の 間に「福」 外面：茶色 の圏線の間に「壽福福□ 福壽」高台内外面：圏線	高台銘：「判仙」 外面銘：「福寿」	肥前系	明治後半～ 大正	1/2
53-297	遺構 1	鉢か	手描き	12.2	5.1	4.6		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：水鳥 外面：文様 (宝物?) 口縁直し、焼 きつぎ的な技法		肥前	明治～大正	ほぼ完 形
53-298	遺構 1	鉢?	手描き	-	(6.5)	5.5		酸化コバルト：ク ロム：白色粘質土	内面：植物文 高台内外： 圏線				1/3
53-299	遺構 1	小鉢	手描き	9.4	3.8	4.1		酸化コバルト：透 明：白色粘質土	口唇部：稜花 内面：海 馬文・花・圏線 外側： 文様有り 高台内外：圏 線		瀬戸	明治～大正	ほぼ完 形
53-300	遺構 1	鉢	手描き	縦 11.6 横 11.4	5.2	5.3		酸化コバルト・緑 色：クロム：白色 粘質土	内面見込み：菖蒲文外面： 千鳥・波文か				完形
53-301	遺構 1	鉢	手描き	12.1	5.7	5.8		酸化コバルト：ク ロム：白色粘質土	内面：水車文 外面：車 輪・文様不明				ほぼ完 形
53-302	遺構 1	鉢	手描き・ イッチン	15.5	6.8	4.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：蓮の葉に雁		関西系?京 都系	明治～大正	3/4
53-303	遺構 1	鉢?	手描き	15.4	7.4	4.0		藍色・灰緑色：透 明釉：白色粘質土	高台内外部：圏線		瀬戸美濃系		ほぼ完 形
54-304	遺構 1	小鉢	手描き	長 8.2 短 8.3	(4.2)	(2.6)		酸化コバルト：ク ロム：白色粘質土	内面：梅・松 外面：竹				ほぼ完 形
54-305	遺構 1	鉢?	手描き	(8.6?)	-	(3.4)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：圏線 外面：環珞 文ほか		瀬戸美濃系		口縁部 片
54-306	遺構 1	鉢	色絵	18.2	8.7	6.8		酸化コバルト・朱・ 緑・茶褐色：透明 釉：白色粘質土	内面：松竹梅・圏線 口 縁内外面：花菱文 外面： ●・飛雲文・圏線 高台 畳付露胎		肥前		ほぼ完 形
54-307	遺構 1	鉢	手描き	(14.3)	(7.6)	4.7		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	内面見込み：植物文		肥前	明治～大正	口縁～ 底部小 片
54-308	遺構 1	鉢	手描き・ 色絵	17.6	9.6	6.0		金彩・朱・酸化コ バルト・緑・緑・ 黄：透明釉：白色 粘質土	内面：風景画 外面：圏 線・宝物(扇など、八宝文) 蛇の目高台	高台 18 世紀、やや質は 悪い	肥前系	明治	4/5
54-309	遺構 1	小鉢	手描き・ 色絵	(13.3)	(5.7)	4.8		金彩・酸化コバル ト・緑・黄色・朱： 透明釉：白色粘質 土	内面：植物文 外面：植 物と雲		肥前	明治～大正	1/3
55-310	遺構 1	土瓶	手描き	9	9	11.4	最大径 14.5	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文				ほぼ完 形
55-311	遺構 1	土瓶	手描き	(7.7)	(7.5)	9.8	最大径 (12.3)	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・菊その他				1/2
55-312	遺構 1	土瓶	手描き	(7.4)	(7.1)	8.2	最大径 (10.6)	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・牡丹その他				1/2
55-313	遺構 1	土瓶	手描き・ イッチン	7.6	7.8	9.2	最大径 12.0	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	口縁下部：植物文 胴部： 緑色釉に白色のイッチン				ほぼ完 形
55-314	遺構 1	土瓶	手描き	7.8	8.4	8.2	最大径 12.5	酸化コバルト：淡 青色釉：白色粘質 土	植物文				5/4
55-315	遺構 1	土瓶	手描き	7	7.0	6.4	最大径 10.3	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	風凰・雲その他				3/4
56-316	遺構 1	土瓶蓋	手描き	ツمام径 1.6	底部 3.5	1.8	最大径 7.5	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	大海老文	内底：「■山」			完形
56-316	遺構 1	土瓶	手描き	8.1	7.6	8.8	最大径 12.2	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	大海老文				ほぼ完 形
56-317	遺構 1	土瓶	手描き	(8.8)	(8.0)	(9.9)	最大径 (7.7)	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 渦巻文				3/5
56-318	遺構 1	土瓶	手描き	9.8	8.5	8.2	最大径 13.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	環珞文 植物文・松その 他 童子遊戯図				ほぼ完 形
56-319	遺構 1	土瓶	手描き	7.5	7.4	7.3	最大径 7.7	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・菊花				3/4
56-320	遺構 3	土瓶	手描き	(7.4)	-	(2.7)	-	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	植物文・牡丹か 車輪				口縁部 片
56-321	遺構 1	土瓶	溜込み	7.4 (6.4)	(8.1)	-	最大径 12.0	茶色：淡灰緑色： 灰白色粘質土	内外面：施釉 口縁部露 胎				3/5
56-322	遺構 1	土瓶	溜込み	身 6.8 蓋外径 6.4 内径 5.2	8.2	身 9.1 蓋 2.2	最大径 11.4	緑色・青色：灰白 色：白色粘質土	内外面：施釉 口縁部・ 外面下部・底部露胎				ほぼ完 形



図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高	最大径						
56-323	遺構 1	土瓶	溜込み	身 7.4 (6.4) 蓋外径 6.7 内径 5.3	8	身 8.7 蓋 2.2	最大径 12.0	茶色：淡黄灰白色： 灰白色粘質土	内外面：施釉 口縁部・ 外面下部・底部露胎				3/4
57-324	遺構 1	急須	手描き	5.8	6.4	6.1	最大径 9.6	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文				ほぼ完 形
57-325	遺構 1	急須	手描き	7.4	7.2	8.5	胴部最大 径 11.6	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 下部・圏線				完形
57-326	遺構 1	急須	色絵・イッ チン	6	5.2	6.5	最大径 8.5	灰・緑・褐色・金： 透明釉：白色粘質 土	植物文・梅・水仙 注ぎ 口口縁部及び把手縁内部 に金色	銘「清水」			完形
57-327	遺構 3	急須	手描き	(7.2)	(7.4)	9.0	最大径 12.0	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	鳳凰		肥前？	明治～大正	1/2
57-328	遺構 1	急須	手描き	7.4	7.8	9.1	最大径 11.9	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 口縁部、胴部下 部に圏線				ほぼ完 形
57-329	遺構 1	急須蓋	手描き	ツمام径 (1.2)	(5.4)	3.5	最大径 (6.5)	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文				1/2
57-329	遺構 1	急須	手描き	6.3	5.2	6.0	最大径 10.2	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文				ほぼ完 形
57-330	遺構 1	急須	手描き	6.5	6.3	7.8	最大径 9.6	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 胴部下部に圏線				3/4
58-331	遺構 1	急須	手描き	(7.5)	(7.4)	8.5	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 胴部下部に圏線				1/4
58-332	遺構 1	急須	手描き	7.1	-	(5.0)	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・花				3/4
58-333	遺構 1	急須	手描き	7.4	6.2	6.5	最大径 9.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	鳳凰と波文				4/5
58-334	遺構 1	急須	色絵	-	(6.2)	(5.2)	最大径 -	金・酸化コバルト・ 薄紅色：透明釉： 白色粘質土	植物文・桜枝文				1/5
58-335	遺構 1	急須		7.4	6.4	8.1	10.6	削り模様：灰色： 灰色	削りの部分に白色釉				4/5
58-336	遺構 1	蓋	手描き	7.2	-	2.3	ツمام径 1.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・竹	銘「閑山」			完形
58-337	遺構 2	蓋	手描き	(8.0)	-	(1.4)	-	酸化コバルト：淡 緑色釉：白色粘質 土	植物文・竹 内面：文様 不明				1/2
58-338	遺構 1	蓋	手描き	6.2	-	2.0	ツمام径 1.2	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・幾何文				完形
58-339	遺構 1	蓋	手描き	6.6	-	2.2	ツمام径 1.4	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	道具文				完形
58-340	遺構 1	蓋	手描き	7.1	-	2.6	ツمام径 1.5	酸化コバルト：淡 青色釉：白色粘質 土	植物文・花 幾何学文				ほぼ完 形
58-341	遺構 1	蓋	手描き	6.8	-	2.6	ツمام径 1.2	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・菊花	銘「閑山」			完形
58-342	遺構 1	蓋	色絵	5.0	-	2.6	ツمام径 1.0	金・酸化コバルト・ 赤褐色・緑色：透 明釉：白色粘質土	植物文	銘「■■■製」			完形
58-343	遺構 1	蓋	手描き	6.0	-	2.4	ツمام径 1.3	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 鳥	銘「■■■製」			完形
58-344	遺構 1	蓋		外径 7.2	内径 6.4	2.2		-：茶褐色：白色 粘質土	内外面：無文 内面：白 色釉				完形
58-345	遺構 1	蓋	手描き	最大径 6.0	底部 5.3		ツمام径 -	酸化コバルト・褐 色・緑：透明釉： 白色粘質土	外面：植物文				ほぼ完 形
58-346	遺構 1	蓋	手描き・ イッチン	外径 5.6	内径 4.0	(1.1)		白色・緑色：灰色 釉：灰白色粘質土	外面：文様不明 内面： 露胎				ほぼ完 形
58-347	遺構 1	蓋	銅版転写	5.0	-	1.6	ツمام径 0.9	酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	植物文・桐 二つ巴・そ の他				ほぼ完 形
58-348	遺構 1	蓋	手描き	-	-	(0.9)	-	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文か				小片
59-349	遺構 1	銚子	銅版転写	3.8	7.2	7.0 (取っ 手まで 12.2)	最大径 10.6	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・松・竹・梅 取っ 手上面：唐草文 注ぎ口： 上面鶴				完形
59-350	遺構 1	銚子	銅版転写	3.5	6	6.6 (把 手まで (11.2))	最大径 9.8	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	吉祥文・鶴・亀・松・竹 取っ手上面：唐草				ほぼ完 形
59-351	遺構 1	方形段重	銅版転写	横 12.6	縦 12.1	2.6		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・飛鳥文 5片に 割れたものを鉛ガラスで 焼継補修を施している		瀬戸美濃		完形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
59-352	遺構 2	蓋	手描き	(9.7)	-	(2.6)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文				1/4
59-353	遺構 2	蓋物 蓋	手描き	(9.7)	-	(2.6)		酸化コバルト・薄 紅色：透明釉：白 色粘質土	植物文				1/4
59-354	遺構 1	円形段重	型紙刷絵	12.3	11.6	5.3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・七宝文・幾何学 文		瀬戸美濃？		完形
59-355	遺構 1	円形段重蓋	銅版転写	(8.9)	(7.4)	2.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文		瀬戸美濃		1/4
60-356	遺構 1	醤油差し？	銅版転写	(蓋) 4.6 (身) 3.5	3.1 高台径 4.5	2.7 5.7	ツマミ径 1.1	緑色：透明釉：白 色粘質土	雷文 その他				ほぼ完 形
60-357	遺構 1	醤油さし？	銅版転写	3.2	3.8	5.7	-	酸化コバルト・緑 色：透明釉：白色 粘質土	植物文・菊・笹				1/2
60-358	遺構 1	醤油差し？	銅版転写	2.9	4.5	5.7	-	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・幾何学文		瀬戸美濃？		完形
60-359	遺構 1	水滴	銅版転写	縦 4.2	横 5.8	2.4		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・桐・桜 雷文				4/5
60-360	遺構 1	水滴	銅版転写	縦 4.3	横 5.4	2.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	貴人と牛文 文字				完形
60-361	遺構 1	水滴	手描き	2.1	6.2	5.1	最大径 9.6	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・菊花				完形
60-362	遺構 1	桐徳利	銅版転写	2.5	6	17.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 鳥 雷文 その 他				ほぼ完 形
60-363	遺構 1	御神酒徳利	銅版転写	3.0	-	(12.2)	最大径 6.8	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	瓔珞文 唐草 文字 胴 部 11 面に面取られてい る	「著名高山…」 臺灣新高山 一万二千八百五十尺 甲斐 駿河富士山一万二千三百 七十尺			1/3
60-364	遺構 1	御神酒徳利	銅版転写	1.8	3.5	13.7	最大径 5.0	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文・松竹梅 その他				完形
60-365	遺構 1	御神酒徳利	無文	1.7	4.0	15.5	最大径 5.9	-：瑠璃釉：灰色 粘質土	無地				2/3
60-366	遺構 1	徳利	色絵・ 吹墨	3.2	-	13.3	胴部径 7.8	金彩・淡青・淡緑・ 褐色：透明釉：白 色粘質土	口縁部金彩 金彩の拵 花 登録商標 酒祖 福 瑞の文字				1/4
60-367	遺構 1	徳利	銅版転写・ 吹墨	3	5.8	16	最大径 6.5	墨・赤灰・緑・灰 色：透明釉：白色 粘質土	欄干 扇 若武者（牛若 丸か）	底部銘「干峯園製」			ほぼ完 形
60-368	遺構 1	徳利	無文	-	5.6	14.7	最大径 6.5	-：透明釉：白色 粘質土	無地	底部銘「一洗園製」			ほぼ完 形
61-369	遺構 1	徳利	銅版転写	2.9	5.8	16.4	最大径 6.5	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	植物文 その他	明治廿五年？有功賞 相 州藤澤大坂町 陸軍御用 大石酒店			2/3
61-370	遺構 1	徳利	銅版転写・ 吹墨	2.7	5.2	15.6	最大径 6.8	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	人物 鳥 風景	相州藤沢大坂町陸軍御用 大石酒店、(底部) 底部銘 「香山」			ほぼ完 形
61-371	遺構 1	徳利	銅版転写	2.7	5.2	15.2	最大径 6.7	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	人物 鳥 風景	相州藤沢大坂町陸軍御用 大石酒店、(底部) 底部銘 「香山」			4/5
61-372	遺構 1	徳利	銅版転写	2.6	5.2	15.8	最大径 6.8	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	人物 鳥 風景	相州藤沢大坂町陸軍御用 大石酒店、(底部) 底部銘 「香山」			4/5
61-373	遺構 1	徳利	手描き	(3.2)	-	(2.8)	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面 縞文				口縁部 片
61-374	遺構 1	徳利	手描き	(2.4)	-	(2.0)	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面 文様不明				口縁部 小片
61-375	遺構 1	徳利	無文	-	6.0	(2.0)	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土		底部銘：「乾山精製」			底部片
61-376	遺構 1	徳利	吹墨	-	6.9	(4.0)	最大径 -	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土		底部銘：不明			底部片
61-377	遺構 1	徳利	銅版転写	-	(6.0)	(4.4)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	文様不明				底部片
61-378	遺構 1	徳利	手描き	長 (4.0)	幅 (3.1)	厚 (0.2)		金彩：透明釉：白 色粘質土		胴部銘：「■長谷」			胴部少 片
61-379	遺構 1	徳利	手描き	-	3.7	(2.5)	最大径 -	緑色：透明釉：白 色粘質土	外面 7 条の園線				底部少 片
61-380	遺構 1	徳利	色絵	-	2.6	(9.8)	最大径 4.0	褐色・朱・緑・灰 色：透明釉：白色 粘質土	外面 文様不明				3/4
61-381	遺構 1	徳利	色絵	-	-	(5.3)	頸部径 1.4	金彩・朱・緑・黄 色：透明釉：白色 粘質土	外面 文様不明				頸部片

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
62-382	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	2.8 (3.8)	8.9	最大径 10.3	22.3	鉄釉：灰釉：黄灰 色粘質土		胴部銘：「長谷」「外冨」			完形
62-383	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	3.4	—	—		鉄釉：灰釉：黄灰 色粘質土		胴部銘：不明			口縁～ 胴部片
62-384	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (8.4)	幅 (6.7)	厚 (0.4～ 0.6)		鉄釉：灰釉：灰色 粘質土		胴部銘：不明			胴部片
62-385	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (6.9)	幅 (6.5)	厚 (0.4～ 0.5)		鉄釉：灰釉：灰色 粘質土		胴部銘：不明			胴部片
63-386	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	3.7 (4.0)	8.3	最大径 8.7	22.2	鉄釉：灰釉：黄灰 色粘質土		胴部銘：「長谷」「外冨」			完形
63-387	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (3.7)	幅 (4.5)	厚 (0.7)		鉄釉：白色：灰釉： 灰色粘質土		胴部銘：不明			胴部少 片
63-388	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (3.8)	幅 (6.5)	厚 (0.6)		鉄釉：灰釉：灰色 粘質土		胴部銘：不明			胴部少 片
63-389	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (3.1)	幅 (6.2)	厚 (0.6)		鉄釉：白色：灰釉： 灰色粘質土		胴部銘：不明			胴部少 片
63-390	遺構1	德利	手描き・ 鉄絵	長 (3.5)	幅 (5.3)	厚 (0.6)		鉄釉：白色：灰釉： 灰色粘質土		胴部銘：不明			肩～胴 部片
63-391	遺構1	德利		—	(8.0)	(5.3)		灰釉：灰色粘質土					底部片
64-392	遺構1	皿	手描き	14.1	6.0	2.7		金彩：透明釉：灰 白色粘質土	口縁部・内面：圏線 内 底：文様不明 底部：ハ マ痕有り		日本製か	明治～大正	3/4
64-393	遺構1	皿	手描き	14.3	8.6	2.1		金彩・緑：透明釉： 灰白色粘質土	内面：金と緑で圏線 貫 入 側面に (足付ハマ痕 有 高台まで釉	高台見込みに窯印	輸入品？	明治～大正	ほぼ完 形
64-394	遺構1	皿	手描き	12.0	6.8	2.0		朱・青・黄色・緑： 透明釉：白色粘質 土	内面：菖蒲文 足付きハ マ痕あり	底部日本硬質陶器株式会 社窯印		明治～大正	4/5
64-395	遺構1	皿	手描き	12.9	6.9	2.1		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文・飛雲文・ 圏線 外面：飛雲文・圏 線 高台畳付露胎	高台見込み：角銘	瀬戸美濃？	明治前期？	4/5
64-396	遺構1	皿	手描き	12.2	5.7	2.3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：圏線・筆・見込み の円文中に四角の区画、 外面：宝文・圏線 高台 畳付露胎	内面見込み：「高■（第 カ？）」「筆登」	瀬戸美濃	明治前期	完形
64-397	遺構1	皿	手描き・ 吹墨	(12.1)	(6.8)	2.0		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	内面：口縁部に明青色と 黒色の波形文 内面見込 み：吹絵 外面：圏線 高台畳付露胎		不明		1/3
64-398	遺構1	鉢	手描き	(10.9)	(5.9)	4.5		明青色・黒色：透 明釉：白色粘質土	内面：口縁部に明青色と 黒色の波形文 内面見込 み：吹絵 外面：圏線 高台畳付露胎		不明		1/3
64-399	遺構1	皿	白磁	9.0	4.9	1.8		透明釉：白色粘質 土	端反折腰小皿 内外面： 無文		不明		口縁～ 底部小 片
64-400	遺構1	ソーサー	白磁	14.2	9.0	2.0		透明釉：白色粘質 土	内外面：無文 高台畳付 き露胎		肥前？	明治～大正	ほぼ完 形
64-401	遺構1	ティーカッ プ	白磁	9.4	4.4	4.9		透明釉：白色粘質 土	内外面：無文 取手貼付 内面：口唇部露胎		不明		2/3
64-402	遺構1	マグカップ	白磁	8.6	7.9	8.8		淡青色釉：白色粘 質土	内外面：無文 取手付 口唇部・高台畳付露胎				完形
65-403	遺構1	植木鉢	銅版転写	(29.0)	-	-		酸化コバルト：透 明釉：灰白色粘質 土	内面口縁部：植物文 (唐 草か?) 内外面：竹文				口縁部 片
65-404	遺構1	植木鉢	手描き	(18.7)	-	(9.5)		酸化コバルト・瑠 璃釉：透明釉：白 色粘質土	口縁部：瑠璃色に着色 外面：風景画 内面露胎				口縁部 片
65-405	遺構1	植木鉢	型紙摺絵	(17.5)	-	(5.0)		酸化コバルト：淡 青色釉：白色粘質 土	口唇部：酸化コバルトで 着色 外面：微塵子唐草 内面：環珞文		肥前	明治～大正	口縁部 片
65-406	遺構1	植木鉢	型紙摺絵	(14.2)				酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文 外側：植 物文 (ススキカ)		肥前か？		口縁部 片
65-407	遺構1	植木鉢	手描き	長 (3.0)	幅 (5.0)	厚 (0.5)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：一部酸化コバルト で着色、他露胎 外面： 酸化コバルトで文字	胴部銘：判読不能			胴部片
65-408	遺構1	植木鉢		-	(9.5)	-		透明釉：白色粘質 土	外面無地 内面・外底部 露胎				底部片
65-409	遺構1	灯明皿	ツケガケ	8.2	(3.1)	2.0		白色：透明釉：白 色粘質土	内外面：無文 底部露胎				3/4
65-410	遺構1	台付灯明受 皿		外径7.5、 内径5.0	5.4	5.4		白色：透明釉：白 色粘質土	内外面：無文 底部、受 け部露胎				ほぼ完 形

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
65-411	遺構 1	機械栓		φ 2.6		3.3		透明釉：白色粘質土	栓頭部に鉄線が貫通				
65-412	遺構 1	機械栓		φ 2.8		3.3		透明釉：白色粘質土	栓頭部に鉄線が貫通				
65-413	遺構 1	機械栓		φ 2.6		3.1		透明釉：灰白色粘質土	栓頭部に孔				
65-414	遺構 1	機械栓		φ 2.6		2.6		透明釉：白色粘質土	容栓頭部に鉄線が貫通 栓底部はゴム				
65-415	遺構 1	機械栓		φ 2.5		2.5		透明釉：白色粘質土	栓頭部に鉄線が貫通				完形
65-416	遺構 3	機械栓		φ 2.5		2.6		透明釉：白色粘質土	容栓頭部に鉄線が貫通 栓底部はゴム				完形
65-417	遺構 3	機械栓		φ 2.2		2.2		透明釉：白色粘質土	栓頭部に鉄線が貫通 栓底部はゴム				完形
65-418	遺構 1	機械栓		φ 2.6		2.7		透明釉：白色粘質土	容栓頭部に鉄線が貫通 鉄線は破損の為か直線気味				
66-419	遺構 1	鉢か		11.8	4.8	6.1		鉄釉：黄釉：灰白色粘質土	外面：曲物を意識した器形 曲げ物の椀皮の部分を鉄釉で表現している				4/5
66-420	遺構 1	変形碗	銅版転写	10.2	5.1	4.6		酸化コバルト・茶褐色：透明釉：白色粘質土	器形：片口状に変形 外面：唐獅子 高台畳付露胎 取手と覚しき割れ口あり	高台銘：「大日本柏山製」	瀬戸美濃		取手のみ欠損
66-421	遺構 1	手塩皿	手描き・吹墨	長 8.1	短径 6.3	2.5		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	内面：不明 外面：型押し・文様不明 外底部露胎・陰刻	底部：陰刻	瀬戸美濃		ほぼ完形
66-422	遺構 1	蓋	白磁	(4.8)		-		透明釉：白色粘質土	器形：型作り 口唇部：露胎				1/2
66-423	遺構 1	不明品	色絵	縦 (3.4)	横 (1.8)	厚 (0.3)		赤・緑：透明釉：白色粘質土	外面：赤で縁取り 一部露胎				小片
66-424	遺構 1	皿	手描き	(13.2)	-	-		酸化コバルト・薄紅色・緑色・白色：透明釉：白色粘質土	内外面：植物文				口縁部片
66-425	遺構 1	端反盃	手描き・イッチン	8.6	-	-		暗灰色・褐色・緑灰色：透明釉：灰色粘質土	内面：文様不明 口唇部：緑灰色で塗り				口縁部小片
66-426	遺構 1	袋物		-	-	(2.8)		白色釉：白色粘質土	内外面：無文 内面露胎				口縁部小片
66-427	遺構 1	合子	手描き	-	-	(1.4)		緑色・薄紅色・褐色・茶色：透明釉：白色粘質土	外面：植物文 口唇部：褐色				口縁部小片
66-428	遺構 1	合子	手描き	(蓋) 7.6 (身) 6.9		1.6 3.0	最大径 7.6	酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	(蓋) 外面：植物文と文字 (身) 圏線・枝葉文 (蓋)・(身) 内面：無文	側面「■■寿桃」	瀬戸美濃?		完形
66-429	遺構 1	合子		蓋 6.0 身 4.8	3.2	2.2		緑色・紫色：透明釉：黄白色粘質土	器形：リンゴのような形 内外面：無文				ほぼ完形
66-430	遺構 1	合子		(8.9)	-	-		白色釉：白色粘質土	内外面：無文 口唇部：露胎				1/4
66-431	遺構 1	器種不明		口 4.5	最大径 9.1	底径 8.0		白色釉：白色粘質土	内外面：無文 口縁部一部露胎				1/2
66-432	遺構 1	器種不明		7.5	6.2	8.2		クロム・灰白色：白色粘質土	内面：灰白色に着色 口縁部露胎 外面：クロム青磁				ほぼ完形
66-433	遺構 1	器種不明			8.5	(1.4)		白色釉：白色粘質土					底部のみ
66-434	遺構 1	蓋物	ツケガケ塗り?	(蓋) 口 12.7 (把手) 長 6.1 (器) 13.8	(蓋) 最大径 14.4 (把手) 幅 0.9 ~ 2.0	(蓋) 高 4.2 (把手) 高 1.2 (器) (4.1)		白色・灰緑：透明釉：白色粘質土	器形：蓋と身に分かれる 蓋・身とも口縁部無釉 内面：無文、白色 外面：緑釉の上に淡黄色の釉				2/3
67-435	遺構 2	盆栽鉢	手描き	-	-	-		酸化コバルト：透明釉：白色粘質土	外面：植物文				小片
67-436	遺構 1	蓋	ツケガケか	最大径 9.2	底面径 7.0	器高 4.3		灰色釉：黄灰色粘質土	貫入あり 内面露胎 一部孔が穿たれている				完形
67-436	遺構 1	花生	ツケガケか・手描き・鉄絵	7.1	6.8	21.4	最大径 10.0	鉄釉：灰色釉：黄灰色粘質土	内外面：施釉 内面：無文 外面：竹文、貫入あり 畳付露胎				4/5
67-437	遺構 1	花生	ツケガケか	長 4.6 幅 5.6	-	(10.2)		クロム・透明釉：白色粘質土	内外面：無文 内面：白色 外面：クロム				1/3

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
67-438	遺構 1	絵具入れ		横 2.0	縦 0.9	0.9		透明釉：白色粘質土	内外面：無文 外底部：陰刻 内面に有機物付着	外底陰刻：「W&N LONDON」			完形
67-439	遺構 1	筆洗器		10.6	8.9	2.8		透明釉：灰白色粘質土	外底部露胎、外底面全体が菊花のレリーフ 墨書有り 内面：鉄分が凝結した様な物質が付着	外底面判読不能			完形
67-440	遺構 1	戸車		外径 4.4	内径 1.3	厚 0.8		透明釉：灰白色粘質土	側面のみ施釉、他露胎 中央部に孔が穿たれている				完形
67-441	遺構 1	戸車		外径 3.5	内径 1.0	厚 0.7		透明釉：灰白色粘質土	側面のみ施釉、他露胎 中央部に孔が穿たれている				完形
67-442	遺構 1	栓	銅版転写	φ 3.2		2.7		黒色：透明釉：白色粘質土	天皿に山景図 上部のみ施釉、下部露胎				ほぼ完形
67-443	遺構 1	栓		φ 3.2		2.3		透明釉：白色粘質土	上部のみ施釉、下部露胎				完形
67-444	遺構 1	碇子	銅版転写	幅 5.3	厚 3.5	(4.2)		濃緑色：透明釉：白色粘質土	型作り 下端面露胎 商標マーク・文字を濃緑色で施す	商標マーク周辺文字「PAT.504625」			4/5
67-445	遺構 1	碇子		上端径 3.6 下端径 3.4		6.2	最大径 7.0	透明釉：白色粘質土	上端面露胎				4/5
67-446	遺構 1	碇子	ツケガケか	上端径 2.8 下端径 3.2	孔径 1.0	4.8		透明釉：白色粘質土	下端面露胎				完形
67-447	遺構 1	盤つまみ	ツケガケか	長 2.35	つまみ径 2.2			透明釉：白色粘質土	磁器製小型円形つまみ下部に銅製の接続金具あり				完形
67-448	遺構 1	碇管 (中)	ツケガケか	径 1.4	中空径 0.8	長 (10.2)		透明釉：灰白色粘質土	中空管端面から中空内に施釉 表面露胎				ほぼ完形
67-449	遺構 1	碇管 (中)	ツケガケ	径 1.4	中空径 0.8	長 (8.6)		透明釉：灰白色粘質土	中空管端面から中空内に施釉 表面露胎				ほぼ完形
67-450	遺構 1	碇管 (中)	ツケガケ	径 1.4	中空径 0.75	長 (8.1)		透明釉：灰白色粘質土	中空管端面から中空内に施釉 表面露胎				2/3
67-451	遺構 1	碇管 (中)	ツケガケ	径 1.4	中空径 0.75	長 (7.6)		透明釉：灰白色粘質土	中空管端面から中空内に施釉 表面露胎				2/3
67-452	遺構 1	碇管 (細)	ツケガケ	径 1.1	中空径 0.6	長 (7.3)		透明釉：灰白色粘質土	中空管端面から中空内に施釉 表面露胎				2/3
67-453	遺構 1	碇管 (太)	ツケガケ	径 1.8	中空径 1.1	長 (7.2)		透明釉：灰白色粘質土	表面の一部から中空内に施釉 表面露胎				1/2
68-454	遺構 1	鉢	手描き	(16.4)	-	-		金彩・酸化コバルト・赤：透明釉：白色粘質土	内面：不明文様 外面：植物・鳥		瀬戸美濃？		口縁部片
68-455	遺構 1	筒形湯呑	色絵・イチチン	6.3	-	-		金彩・緑・茶褐色・黄色：透明釉：白色粘質土	外面：植物文 外面口縁部：茶褐色で塗り				口縁部片
68-456	遺構 1	高台杯	色絵	-	2.8	8.0		酸化コバルト・赤褐色・緑色・桃色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：山水文・花 壺付露胎	内面線刻文字による漢詩「柴山湖片 山車客■ 椎■上落方 半面目■ 畢■鐘之声」			完形
68-457	遺構 1	高台杯	色絵	-	2.8	-		赤・緑・黄色：透明釉：白色粘質土	外面上部：赤色の圏線内を黄色に塗り、緑色で点文 外底露胎				底部片
68-458	遺構 1	鉢？	手描き	-	5.0	-		酸化コバルト・朱：透明釉：白色粘質土	内面：無文 外面：幾何学文・連弁・植物文 高台壺付露胎		瀬戸美濃？		底部片
68-459	遺構 1	皿	色絵	-	-	-		赤：透明釉：白色粘質土	口縁部内外：赤色で緑塗り 外底露胎				口縁部片
68-460	遺構 1	不明品	色絵	(10.6)	-	-		金彩・緑・茶褐色：淡青色釉：白色粘質土	内面：植物文				口縁部小片
68-461	遺構 1	瓶か	色絵	-	6.7	-		赤褐色：透明釉：白色粘質土	外面：赤褐色の圏線 高台端露胎				底部小片
68-462	遺構 1	器？	手描き	(5.0)	(4.8)	2.7		緑・茶褐色：透明釉：白色粘質土	外面：植物文 底部と口縁部露胎				1/3
68-463	遺構 2	仏飯器	色絵	(5.4)	-	-		赤色・金彩：透明釉：白色粘質土	外面：圏線・タコ唐草 口唇部：金彩		不明		口縁部片
68-464	遺構 1	皿	手描き					金彩：瑠璃釉：白色粘質土	内面：龍か？ 粉青 or 吹青 or 粉吹青？古筆のか？		中国製清朝か	18～19世紀	底部小片

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
68-465	遺構 1	輪花鉢	染付+色 絵	14.8	5.7	4.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	器形：輪花型 口縁部： 虫喰い 内面：(型押し) 花ほか 内面見込み中 央：魚草文		景德鎮 明 末～	江戸初期 (1590～ 1630)	残存約 80%
68-466	遺構 1	器蓋	手描き	10.4	-	3	ツمام径 4.0	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：雷文・松竹梅 外 面：丸紋・鳳凰・ネジハナ・ 雲芝の雲 畳付き露胎	ツمام径：「乾」(清乾隆 より)、井をアレンジした 碗、珍しい器形	有田	1820～1860	4/5
68-467	遺構 1	器蓋	手描き	9.5	-	3	ツمام径 3.6	酸化コバルト・茶 褐色：淡青色釉： 白色粘質土	内外面：瓔珞文 口唇部： 茶褐色	銘「道光庚子年製」	肥前 or 関西	明治頃	4/5
68-468	遺構 1	器蓋	手描き	長 (5.2)	幅 (3.0)	厚 (0.4)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：松竹梅 外面：植 物文・圏線 畳付き露胎	高台銘：「青」有田窯各青 木	有田	1820～1860	底部片
68-469	遺構 1	筒形湯呑	手描き	長 (4.2)	幅 (3.5)	厚 (0.5)		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	内面：圏線 内面見込み 中央：判読不能文字 外 面：五弁蓮・圏線 畳付 露胎		肥前	1780-1820	底部小 片
68-470	遺構 1	蓋	手描き	-	(4.4)	-		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：格子文 高台山形 畳付露胎		肥前	1780～19 世紀第1四 半期	底部片
68-471	遺構 1	碗?	手描き	長 (2.6)	幅 (2.4)	厚 (0.4)		酸化コバルト・茶 褐色：透明釉：白 色粘質土	内面：圏線 外面：竹葉 文		肥前系	18世紀後半	口縁部 小片
68-472	遺構 1	皿	手描き	長 (3.3)	幅 (3.3)	厚 (0.7)		酸化コバルト：淡 青色釉：白色粘質 土	内面：鹿子(みじん) 唐 草 外面：唐草		有田	19世紀初頭 または前半 ～幕末	胴部少 片
68-473	遺構 1	瓶、袋物	手描き・ ダミ	長 (2.0)	幅 (2.9)	厚 (0.3)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：唐草		有田	17世紀末～ 18世紀初	胴部少 片
68-474	遺構 1	徳利	手描き	長 (2.3)	幅 (3.3)	厚 (0.4)		酸化コバルト：淡 青色釉：白色粘質 土	外面：一筆つばたこ唐草		肥前	江戸後期、 18世紀末～ 幕末	小片
69-475	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (7.1)	幅 4.9	底部長径 3.7	厚 0.6～ 0.3	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：花・唐草 底部露 胎				2/3
69-476	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (8.1)	高 (2.8)	幅 3.7	底部長径 4.0	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文(菊) 底 部露胎				2/3
69-477	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (5.3)	幅 2.7	厚 0.4		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文(松竹梅) 底部露胎				1/4
69-478	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 11.0	幅 4.7	厚 0.5		緑色：青灰色：明 青灰色粘質土	内面：植物文 底部露胎				完形
69-479	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (12.0)	幅 3.1	底部長径 4.2	厚 0.5～ 0.3	酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内面：植物文(松竹梅) 柄：植物文 底部露胎				2/3
69-480	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (6.9)	幅 2.2	厚 0.5～ 0.3		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	柄：植物文 底部露胎				1/3
69-481	遺構 1	蓮華	銅版転写	長 (7.4)	幅 2.7	厚 2.2		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	柄：植物文				1/3
69-482	遺構 1	蓮華	手描き	長 (4.8)				多色：透明釉：白 色粘質土	内面：植物文(牡丹) 底部露胎				
69-483	遺構 1	土瓶	手描き	4.4	4.4	4.2	厚 0.2～ 0.1	褐釉・緑・金彩・ 白色：黄灰色粘質 土	型成形 口縁部：白色と 金彩 外面：秋草文、紋 胎による渦巻文(褐色)	ミニチュア			1/2
69-484	遺構 1	壺?	色絵	(3.0)	(2.4)	3.7		朱・褐色・青・黄 色：透明釉：白色 粘質土	口唇部：朱色で縁塗り 外面：植物文 外底部露 胎	ミニチュア			1/3
69-485	遺構 1	坏	銅版転写	4.2	1.4	1.8		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：花蝶文	ミニチュア			完形
69-486	遺構 1	坏	銅版転写	4.2	1.8	1.9		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：花蝶文	ミニチュア			完形
69-487	遺構 1	碗	色絵	3.8	1.8	2.2		金彩・赤・緑：透 明釉：白色粘質土	外面：花か?	ミニチュア			ほぼ完 形
69-488	遺構 1	坏	色絵	3.6	1.7	1.9		赤褐色・緑：透明 釉：白色粘質土	器形：六角形 外面：花 文 口唇部：赤褐色で縁 塗り	ミニチュア			完形
69-489	遺構 1	坏	色絵	3.2	1.5	1.7		朱・緑：透明釉： 白色粘質土	外面：花文	ミニチュア			ほぼ完 形
69-490	遺構 1	段重	色絵	縦 4.2	横 4.2	高 1.9		金彩・朱・緑・赤 褐色：透明釉：白 色粘質土	外面：花文	ミニチュア			残存 90%
69-490	遺構 1	段重	色絵	縦 4.2	横 4.2	高 1.7		朱・緑・赤褐色： 透明釉：白色粘質 土	外面：花文	ミニチュア			2/3
69-491	遺構 1	段重	銅版転写	縦 (4.6)	横 (4.7)	高 (1.0)		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：唐草文	ミニチュア			1/4
69-492	遺構 1	段重	色絵	縦 (4.1)	横 (4.0)	高 (1.7)		金彩・青・緑：透 明釉：白色粘質土	外面：文様不明	ミニチュア			1/4

図 番号	出土 遺構	器種	絵付け方 法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定生産地	推定年代	遺存度
				口径	底径	器高							
69-493	遺構 1	段重	色絵？	縦 (4.0)	横 (4.0)	高 (1.3)		朱色？：透明釉：白 色粘質土	外面：四隅に装飾の痕跡 有り	ミニチュア			1/2
69-494	遺構 1	皿	色絵	6.2	3.0	1.0		多色：透明釉：白 色粘質土	口唇：部黒褐色 器形： 菊花型の削り 内面：草 花文様	ミニチュア			完形
69-495	遺構 1	膳	手描き	(上面) 縦 5.7 × 横 5.7	(底面) 縦 4.2 ×横 4.0	高 4.7		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	外面：花波文 台部 4 面の 内 3 面にハート型の窓有 暈付き露胎	ミニチュア			ほぼ完 形
69-496	遺構 1	火鉢	手描き	4.1	4.1	3.6		金彩・朱・緑色： 透明釉：白色粘質 土	外面：花文 底部露胎	ミニチュア			完形
69-497	遺構 1	鳥居	色絵	幅 (5.8)	厚 (1.0)			朱色・黒・黄色・ 金彩：透明釉：白 色粘質土		ミニチュア 中央部：「正 一」			
69-498	遺構 1	絵具皿？		縦 (2.9)	横 (2.0)	厚 (0.7～ 0.4)		透明釉：白色粘質 土	内外面：無文	ミニチュア 底部陰刻： 「小放光堂」			
69-499	遺構 1	蓮華		長 (6.4)	幅 4.0	厚 0.5		クロム：白色粘質 土	外底部：墨書 底部露胎	ミニチュア、底部に墨書 有			1/2
69-500	遺構 1	蓮華	手描き	長 (7.0)	幅 2.4	厚 0.5		酸化コバルト：透 明釉：白色粘質土	内外面：植物文 底部露 胎	ミニチュア、底部に陰刻 有			ほぼ完 形
69-501	遺構 1	片口鉢		口 3.5	最大径 3.9	底 2.0	高 1.7	銀：黄色釉：灰白 色粘質土	内外面：無文 内面：一 部銀のこる 外底部糸切 り痕・露胎 片口部貼付	ミニチュア、陶器			完形
69-502	遺構 1	片口鉢		口 -	最大径 -	底 1.3	高 (0.9)	黄褐色釉：灰白色 粘質土	内外面：無文 内底：黄 褐色 外面の一部、底部 黄色の着色 外底部糸切 り痕・露胎	ミニチュア、陶器			底部片
69-503	遺構 1	器	塗り	長 (3.5)	幅 (2.8)	厚 (0.2～ 0.1)		緑釉：黄灰色粘質 土	底部器形：角型 内面： 網代文 底部露胎	ミニチュア、陶器			1/3
69-504	遺構 1	箱		口縁 縦 4.0 横 5.7		2.0	厚 0.7～ 0.3	淡茶褐色粘質土	底部：穿孔 内面：指頭 痕有	ミニチュア、土器			4/5
70-505	遺構 3	タイル		縦 14.8	横 14.8	厚 1.0		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉・貫入有 裏面に商標・陰刻	裏面陰刻「5TONBOO 」・商標マーク・ 「N.T.K.TILE-WORKS」			完形
70-506	遺構 3	タイル		縦 14.8	横 14.8	厚 0.9		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉・貫入有 裏面に商標・陰刻、陰刻 の上から鉛筆で「4」と 書かれている	裏面陰刻「MADE IN JAPAN」・商標マーク・ 「N.T.K.TILE-WORKS、 鉛筆で「4」			完形
70-507	遺構 3	タイル		縦 14.8	横 14.8	厚 0.9		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉・貫入有 裏面に商標・陰刻	裏面陰刻「7 TONBO 3」・ 商標マーク・「赤火や■」・ 「N.T.K.TILE-WORKS」			完形
71-508	遺構 3	タイル		縦 15.4	横 15.4	厚 0.9		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉（乳白色）・ 貫入有 裏面に商標・陰 刻	裏面陰刻「-THE SATO」・商標マーク・ 「-TILE WORKS」（佐藤 工業）			ほぼ完 形
71-509	遺構 3	タイル		縦 15.0	横 15.0	厚 0.9		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉・貫入有 裏面に商標・陰刻	裏面陰刻「YOKKAICHI JAPAN」・商標マーク・ 「KAWAMURAGUMI」 （川村組）			完形
71-510	遺構 3	タイル		縦 9.8	横 15.1	厚 1.0		白色釉：白色粘質 土	裏面以外施釉・貫入有 裏面に商標・陰刻	裏面陰刻「YOKKAICHI JAPAN」・商標マーク（川 村組）			1/2

表6 近代遺構出土陶器観察表 (単位: cm)

図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料: 釉色調: 胎 土	技法/文様/その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高							
72-1	遺構1	鉢		14.3	7.5	5.7		黄色釉: 灰白色粘質土	畳付露胎				4/5
72-2	遺構1	小坏	色絵	8.4	3.8	4.6		金彩・多色: 白色釉; 灰白色粘質土	外面: 競馬図 貫入 畳付露胎	高台見込み銘:「■■■(赤字)」、胴部銘:「競馬(赤字)」			4/5
72-3	遺構1	小坏		(7.6)	(3.8)	3.7		白色釉: 黄白色粘質土	内外面: 無文 畳付露胎				1/2
72-4	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.2	3.5	4		青・白・褐色・茶色; 灰色釉: 灰色粘質土	外面: 植物文 畳付露胎				ほぼ完形
72-5	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.4	3.4	4		青・白・褐色・茶色; 灰色釉: 灰色粘質土	外面: 植物文 畳付露胎				2/3
72-6	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.2	3.3	4.1		青・白・褐色・茶色; 灰色釉: 灰色粘質土	外面: 植物文 畳付露胎				1/2
72-7	遺構1	小坏	手描き	7.8	3.8	3.9		青・灰緑色・褐色; 灰緑色: 白色粘質土	外面: 植物文(松) 畳付露胎				ほぼ完形
72-8	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.2	3.6	4.3		青・灰緑色・褐色; 白色: 灰白色: 灰色粘質土	外面: 植物文 畳付露胎				ほぼ完形
72-9	遺構1	小坏	手描き	8	3.6	4.5		青・緑灰色: 灰色釉: 灰色粘質土	外面: 文様不明				1/2
72-10	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.2	3.7	4.9		青・白・褐色: 黄灰色: 灰色粘質土	外面: 植物文 外面高台部: 圏線 貫入有 畳付露胎				2/3
72-11	遺構1	小坏	手描き・イッチン	8.2	3.9	4.6		緑灰色・褐色・白色; 灰色釉: 灰色粘質土	外面: 植物文 畳付露胎				ほぼ完形
72-12	遺構1	小坏	手描き・イッチン	7.6	3.1	4.2		白色: 灰白色・白色; 灰色粘質土	内面: 白色・貫入 外面: 文様不明 畳付露胎				2/3
72-13	遺構1	小坏	手描き	8	4	4.7		青・灰緑色・白色; 灰色釉: 灰色粘質土	高台部外面: 圏線 貫入有 畳付露胎				1/3
72-14	遺構1	小坏	手描き	9	4.4	4.8		青・白・緑・灰緑色・茶色: 灰青色: 灰色粘質土	外面: 植物文 口唇部: 茶色 畳付露胎				4/5
72-15	遺構1	小坏	手描き	7	3.6	5.6		青・褐色・灰緑色・暗褐色: 白色釉: 灰白色粘質土	内側: 貫入 外面: 文様不明 口唇部: 暗褐色 畳付露胎				1/3
72-16	遺構1	筒形湯呑	手描き	7.2	5	8.6		褐色・橙色: 黄色釉: 黄白色粘質土	外面: 植物文(紅葉) 内外面: 貫入 畳付露胎				1/4
72-17	遺構1	筒形湯呑	手描き	6.2	4.3	6.9		緑: 黄色釉: 黄白色粘質土	外面: 口縁~胴部緑色ボカシ 内外面: 貫入 畳付露胎		瀬戸美濃?		4/5
72-18	遺構1	筒形湯呑	手描き	5.9	3.8	6.2		緑: 黄色釉: 黄白色粘質土	外面: 口縁~胴部緑色ボカシ 内外面: 貫入 畳付露胎		瀬戸美濃?		4/5
72-19	遺構1	湯呑	型押ししか	5.44	4	6.1		灰緑色: 灰白色粘質土 黒色粒(多)	内面: 貫入 底部に轆轤目 畳付露胎	外底部銘:「相馬」	相馬		1/3
72-20	遺構1	湯呑	型押ししか	-	-	-		灰緑色: 灰白色粘質土 黒色粒(多)	貫入		相馬		口縁部小片
72-21	遺構3	湯呑	手描き	-	-	-		緑: 淡黄白色: 黄白色粘質土	外面: 文様不明				口縁部小片
72-22	遺構1	盃	手描き	-	2.8	-		暗褐色・緑色: 淡緑白色: 白色粘質土	外面: 文様不明 畳付露胎				底部片
72-23	遺構1	蕎麦猪口	手描き	6.8	4.2	5.8		暗灰色: 灰緑色: 灰色粘質土	内外面: 貫入 外面: 文様不明 畳付露胎				1/2
72-24	遺構1	蕎麦猪口	手描き・イッチン・吹墨	7.0	3.4	5.5		青・白・灰褐色: 灰色釉: 灰色粘質土	内外面: 吹墨 外面: 文様不明 畳付露胎				2/3
72-25	遺構1	蕎麦猪口	手描き	(7.2)	(4.1)	4.9		茶褐色: 灰白色: 灰色粘質土	外面: 蓮弁 内底: 貫入 畳付露胎				1/3
72-26	遺構1	鉢?		(6.6)	-	(1.9)		黄灰色: 灰色粘質土	内外面: 無文 外面底部露胎				底部片
73-27	遺構1	小鉢		14.3	14.5	5.0		茶褐色釉: 茶色粘質土	内外面: 施釉、無文 底部露胎				1/3
73-28	遺構1	盆?		-	-	4.3		暗褐色釉: 淡黄橙色弱粘質土	内外面: 施釉、無文 内面口縁部以外露胎				小片
73-29	遺構1	鉢		8.1	8.4	3.1		茶褐色釉: 褐色粘質土	内外面: 施釉、無文 外底部露胎				1/4



図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高							
73-30	遺構 1	猪子?		(5.4)	(4.0)	2.7		茶色釉：灰白色粘質土	内外面：施釉、無文 外底部露胎				1/5
73-31	遺構 1	蓋物	手描き・イッチン	(11.2)	7.0	5.5		緑：褐色（外面）・灰白色（内面・外底見込み）：灰白色粘質土	外面：文様不明 外面胴部下 部：圏線 口縁部・壺付露胎				3/4
73-32	遺構 1	鉢		8.7	4.8	2.9		黄茶色釉：灰白色粘質土やや粗土	内外面：施釉 内底：型押し の圏線・植物文 壺付露胎				4/5
73-33	遺構 1	不明		-	-	(3.8)		灰白色釉：灰黄色粘質土	内外面：施釉、無文				口縁部片
73-34	遺構 1	不明		-	-	-		黄褐色釉：灰白色粘質土	内外面：施釉、無文				口縁部小片
73-35	遺構 1	不明		-	-	(4.0)		明茶色釉：赤茶色粘質土	内外面：施釉、無文				口縁部小片
73-36	遺構 1	向付	手描き	-	-	4.0		暗褐色：淡灰色釉：黄白色粘質土やや粗土	内外面：施釉 外面：文様不 明 底部露胎				口縁～底 部の一部 残存
73-37	遺構 1	德利		(3.2)		(2.2)		明茶色釉：赤茶色粘質土	内外面：施釉、無文				口縁部小片
73-38	遺構 2	德利		-	-	-							
73-39	遺構 1	德利?		-	(8.2)	(1.2)		灰青色釉：淡黄色粘質土やや粗土	外面：文様不明 外底部内面： 露胎 内面：釉タレ				底部少片
73-40	遺構 1	德利?		-	(10.4)	(3.5)		無釉：暗灰色粘質土	淡黄灰色の素地で無釉				底部小片
73-41	遺構 1	仏飯器?		-	4.8	(3.8)		瑠璃釉：灰白色粘質土	内面・外底部露胎				底部片
73-42	遺構 2	不明	上絵色絵	-	-	-		緑色・青灰色・暗灰色：灰色粘質土	外面：着色 無釉で全体露胎				残存率不 明
73-43	遺構 1	不明		-	-	-		暗褐色・青色・青白色釉：灰色粘質土黒色粒含む	全体施釉				残存率不 明
73-44	遺構 1	不明		-	-	2.1 厚 1.0		橙色～黄色釉：淡黄色粘質土	内外面：施釉、無文				残存率不 明
73-45	遺構 1	不明				(1.4)		緑釉：淡黄色粘質土	内外面施釉、龍の文様か				残存率不 明
73-46	遺構 1	蓮華		長 12.8	幅 (5.4)	4.4		黄釉：淡黄色粘質土	内外面：施釉 内面：型押し で龍				4/5
73-47	遺構 1	蓮華		長 (8.1)	幅 (6.0)	(2.7)		レモン色釉：淡黄色粘質土	内外面：施釉 内面：型押し で龍				2/3
73-48	遺構 1	蓮華		長 (12.1)	幅 6.0	5.0		緑・黄色・褐色：淡黄色粘質土	内外面：施釉 (三彩) 内面： 型押しで龍	丸 72 と同型?			3/4
73-49	遺構 1	蓮華		長 (5.3)	幅 (4.3)	(3.4)		緑・黄色・褐色：淡黄色粘質土	内外面：施釉 (三彩) 内面： 型押し、文様不明				1/3
74-50	遺構 1	角型醬油瓶		2.4	7.1	21.0		赤褐色	内外面：無文 角形瓶 胴部 脇・底部に陰刻	胴部脇陰刻「大日本常陸 國土浦町色川氏醸造之 證」、底部陰刻：「大」「田 中金三郎」			完形
74-51	遺構 1	角型醬油瓶		2.5	7.0	21.0		灰緑色～黄灰色	内外面：無文 角形瓶 胴部 脇・底部に陰刻	胴部脇陰刻：「大日本常 陸國土浦町色川氏醸造之 證」、底部陰刻：「大」			完形
74-52	遺構 1	うるか容器	色絵	(蓋) 径 6.2 (上) (器身) 口径 6.0	(蓋) 径 5.1 (下) (器身) 口径 4.0 (全体) 高 4.4	(蓋) 高 1.1 (器身) 高 4.3	(器身) 腹径最大 7.4	褐色：灰釉：淡黄色粘質土	蓋：内面露胎、外面施釉：褐色 釉で文字、身：高台脇から 底部露胎、内外面施釉、口唇 部露胎、外面褐色釉で文字	蓋：「うるか」、身：「名産」 「大松軒」	瀬戸	明治	完形
74-53	遺構 1	卸皿		縦 15.0	横 9.5	1.8		暗赤褐色：暗灰色粘質土	外面から底部露胎、布目痕有 り 暗赤褐色の釉が卸目に付 着				完形
74-54	遺構 1	土瓶	手描き・色絵	口 7.8 最 大径 12.8	8	11.5		暗灰緑色・朱・褐色・淡緑色：灰白色：灰白色粘質土	外面：植物文様 (紅葉) 内外 面：施釉 外底部：布目痕 口縁部・外面下部底部：露胎				4/5
74-55	遺構 1	汽車土瓶	手描き	身 8.0 蓋外径 7.0 内径 3.2	7.2	身 8.1 蓋 1.5	最大径 10.4	暗緑褐色：灰緑色	内面：ほぼ露胎 外面：文様 不明 口縁部・底部露胎				完形
74-56	遺構 1	汽車土瓶	手描き	8.8	7.2	8.3	最大径 10.6	暗緑褐色：灰緑色：灰色～黄灰色	口縁部～内面：一部露胎 外 面：文様不明 口縁部・底部 露胎				3/4
74-57	遺構 1	土瓶口縁			10.8	-	(1.6)		印判：口縁褐色釉：暗褐色	口縁部雷文			-
75-58	遺構 1	急須	手描き	6.8	6.4	7.2	最大径 10.2	金彩：暗茶褐色：灰白色粘質土	内面・口縁部・底部露胎		萬古系		4/5

図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法／文様／その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高							
75-59	遺構1	急須蓋	手描き	外径5.7	内径4.4	2.5		鉄釉：灰白色粘質土	内面露胎		萬古系		完形
75-59	遺構1	急須	手描き	6.2	5.4	6.6	最大径 9.0	金彩：暗茶褐色； 灰白色粘質土	内面・口縁部・底部露胎		萬古系		2/3
75-60	遺構1	急須蓋	手描き・ イッチン	(6.9)		(1.2)		金彩・白色：暗灰 色粘質土	器表面：淡茶褐色 外面：文 様不明、削りによる文様				1/2
75-60	遺構1	急須		7.3	5.8	7.9		暗灰色粘質土	器表面：淡茶褐色 外面：削 りによる文様 把手に桜文様		萬古？		2/3
75-61	遺構1	急須		6.8	5.8	6.5	最大径 9.8	赤褐色：暗紫色粘 質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 外側面を磨く 外底内面：露胎 外底：布 目痕 把手に桜の透かし彫り		萬古系		ほぼ完形
75-62	遺構1	急須	手描き	4.9	7.2	4.0	最大径 7.2	金彩・黒色：暗茶 褐色粘質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 外面：風景 口唇部・把手：金彩 外底部： 布目痕 把手：桜の透かし彫り	外面胴部印刻：「萬古」	萬古		4/5
75-63	遺構1	急須		5	4.5	3.9	最大径 6.6	暗茶褐色粘質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 内外面：無文 外底部：布目痕	外面底部印刻：「萬古」	萬古		ほぼ完形
75-64	遺構1	急須		7	7.2	(5.8)	最大径 8.4	暗茶褐色粘質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 把手に三孔有 り 内外面：布目痕 内外面： 無釉	胴部陰刻：「茶」「試」・ 「石」・■・「新」の六文 字有り(■不明)	萬古系		3/4
75-65	遺構1	急須		(6.8)	(6.5)	(5.7)		暗茶褐色粘質土	口縁・把手に光沢のある赤褐 色釉 把手に桜文 内外面： 布目痕 内外面：無釉		萬古		1/5
76-66	遺構1	急須		-	-	-		暗茶褐色粘質土	外面：松と家の模様を型押し した粘土を本体に貼り付け				胴部小片
76-67	遺構1	急須？		-	-	(3.5)		茶色釉：淡黄灰色 粘質土	口縁部露胎 内外面施釉 外 面：削りによる文様				口縁部片
76-68	遺構1	急須		7.0	5.0	6.8		赤褐色：暗紫色粘 質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 外側面磨き 外底内面：露胎 外底：布目 痕 把手に桜の透かし彫り	胴部印刻：「鉄山」	萬古？		完形
76-69	遺構1	急須		(7.2)	4.8	7		赤褐色：暗紫色粘 質土	口縁・注ぎ口・把手に光沢の ある赤褐色釉 外側面磨き 外底内面：露胎 外底：布目 痕 把手に桜の透かし彫り	胴部印刻：「鉄山」			1/2
76-70	遺構1	急須		身・口5.8 蓋径5.0 内径4.8	4.5	身4.0 蓋1.6	最大径 6.6	橙色	内外面：無釉 摘み：擬宝珠	朱泥か	常滑？		蓋： 完形 身： 3/4
76-71	遺構1	急須	イッチン	7.0	5.0	4.7	最大径 8.4	茶色・緑・青：灰 白色粘質土	外面：駒絵(青) 内面：灰緑 色の釉施釉 外底部露胎		相馬焼(駒 焼)		ほぼ完形
76-72	遺構1	土瓶蓋	手描き	(10.2)				緑色・褐色・白色： 黄白色粘質土	外面：文様不明、白色釉貫入 有り 内面露胎		益子		1/4
76-73	遺構1	急須蓋	印判	内径6.4	外径7.4	1.2		茶色粘質土	内外面：無釉 外面：植物文 陰刻む 内面：墨書有				完形
76-74	遺構1	急須蓋	イッチン	内径5.8	外径7.6	2.1	最大径 7.6	金彩・白色・緑色： 暗茶褐色粘質土	摘み：花形(12弁)菊花様擬 宝珠型 内外面：無釉 外面： 文様(植物文ほか)				完形
76-75	遺構1	急須蓋		外径5.6	内径4.0	2.2		暗茶褐色粘質土	摘み：花形(15弁)菊花様擬 宝珠型 摘み頂部：暗緑灰色 釉 内外面：無釉				完形
76-76	遺構1	急須蓋		外径6.6	内径5.0	2.5		茶褐色釉：灰白色 粘質土	摘み：花形(12弁)菊花様擬 宝珠型 摘み頂部：暗緑灰色 釉 内外面：無釉 内外面： 無文				完形
76-77	遺構1	土瓶蓋？		外径9.0	内径2.8	(3.9)		淡赤橙色粘質土	内外面：無釉 表面研ぐ		常滑		1/3
76-78	遺構1	急須蓋		外径5.0	内径2.8	1.3		緑灰色：灰色粘質 土	内面：一部露胎 内外面：無 文				完形
76-79	遺構1	急須蓋	溜込み	外径6.0	内径3.5	2.2		緑：白色釉：黄茶 色粘質土	内面：露胎 外面：溜込み(緑)				2/3
76-80	遺構2	蓋	溜込み	-	-	-		茶色・褐色：黄灰 緑色：灰白色粘質 土	内面：露胎、布目痕 外面： 茶色と褐色の溜込み				蓋小片
76-81	遺構2	蓋						緑灰色・褐色：灰 緑色釉：灰色粘質 土	内面：露胎、布目痕 外面： 文様不明				蓋小片

図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高	最大径						
77-82	遺構 1	羽釜		22.4	17.6	16.5	最大径 30.0	透明釉：鈍い橙色 白色粒含む	鈎が巡る。把手が2箇所 底部： 小型の三脚 内底に焦げ・炭 化物。鈎下～外底部に濃い煤 が付着 鈎上部から内面：透 明釉	胴部陰：「■■■」製			ほぼ完形
77-83	遺構 1	土鍋	手描き	18.8	10.8	9.0		淡黄緑色釉：淡黄 色粘質土	内外面：施釉、貫入 胴部中 央から底部・口縁部：露胎 外面：植物文様（笹）				2/3
77-84	遺構 1	土鍋	手描き	19.5	-	(8.8)		黄緑色釉：淡橙色 粘質土	内外面：施釉 外面下部から 外底部・口縁部：露胎 外面： 植物文（笹）				1/3
78-85	遺構 1	土鍋（蓋）	手描き	18.6	10.0	8.2		暗灰色：灰黄緑色 （内面）・灰緑色（外 面）：淡黄色粘質土	内外面：施釉 外面：文様不 明 口縁部露胎				完形
78-86	遺構 1	土鍋	手描き	17.2	10.4	9.1	（取手含 む器高） 9.8	暗灰色：淡黄灰色 釉：淡黄色粘質土	内外面：施釉、貫入 外面： 不明文様 胴部下部・口縁部： 露胎				3/4
78-87	遺構 1	土鍋	手描き	18.2	15.4	4.5		緑褐色：灰緑色釉： 淡黄色粘質土	内外面：施釉 外面：植物文 外面下部から底部・口縁部： 露胎				1/2
78-88	遺構 1	土鍋	手描き	18.8	12.6	9.2		緑褐色：黄緑灰色 釉：灰色粘質土	内外面：施釉、貫入 外面： 植物文 外面下部から底部・ 口縁部：露胎 外面下部から 底部：煤付着				3/5
78-89	遺構 1	行平鍋	手描き	17.4	9.3	9.4		白色：灰緑色釉： 灰色粘質土	内外面：施釉、貫入 外面： 文様不明 胴部下部から底部・ 口縁部：露胎				ほぼ完形
78-90	遺構 1	行平鍋	手描き	14.2	8.8	8.2		黒色：黄白色釉： 淡橙色粘質土	内外面：施釉、貫入 外面下 部から底部・口縁部：露胎 外面：植物文（笹） 外底部： 煤付着				ほぼ完形
79-91	遺構 1	行平鍋	手描き	11.8	7.3	6.4		白色釉：灰緑色： 淡黄色粘質土	内外面：施釉 口縁・外面下 部から底部：露胎 外面：一 部白色釉				完形
79-92	遺構 1	行平鍋	手描き	14.2	7.8	7.5		白色釉：灰緑色： 灰色粘質土	内外面：施釉、貫入 口縁・ 外面下部から底部：露胎 外 面：一部白色釉 外底部：煤 付着				4/5
79-93	遺構 1	行平鍋		11.7	6.7	7.1		灰黄緑色：淡橙色 粘質土	内外面：施釉 口縁・外面下 部から底部：露胎 外底部： 煤付着				ほぼ完形
79-94	遺構 1	行平鍋		16.4	10.0	8.4		（内面）透明釉、（外 面）茶褐色：淡橙～ 灰色粘質土	内外面：施釉 口縁・外面下 部から底部：露胎				4/5
79-95	遺構 1	行平鍋	手描き	13.8	8.2	7.7		白色釉：灰黄緑色： 淡橙色粘質土	内外面：施釉、貫入 口縁・ 外面下部から底部：露胎 外 面：一部白色釉 外底部：煤 付着				3/5
79-96	遺構 1	行平注口		-	-	(2.7)		黄緑色：淡橙色粘 質土	内外面：施釉				口縁部小 片
79-97	遺構 1	行平把手	手描き	-	-	-		黒色：淡黄色釉： 淡黄色粘質土	外面：植物文（笹）				把手小片
79-98	遺構 1	片口鉢？		(12.3)	(8.0)	6.9	最大径 (13.5)	緑灰色：黄灰色粘 質土	内外面：施釉 外底部：露胎				2/3
79-99	遺構 1	甌	手描き	14.1	8.2	11.6		白・黒：緑灰色： 灰色粘質土	内外面：施釉、貫入 口縁部・ 外底部：露胎 外面：不明 文様、一部白色釉 外底部に 10の孔				4/5
79-100	遺構 1	蒸し板		-	-	2.0		灰緑色：黄灰色粘 質土	片面：施釉 両面に煤付着 8 つの孔				残存率不 明
80-101	遺構 1	甕	溜込み	23	7	20.5	最大 26.4	褐色・青：緑茶褐 色釉：灰色粘質土	内外面：施釉 底部露胎、墨 書有り 内底面：重ね焼きの 痕残る（トチン痕） 外面上部 に8状の細い溝	外底部：墨書有り判読で きず			3/4
80-102	遺構 1	梅干壺	溜込み	17.0	10.7	15.5		黒色：茶褐色釉： 灰色粘質土	内外面：施釉 外面：溜込み 部黒 内底面：重ね焼きの痕 残る（トチン痕） 外底部：露 胎				3/5
80-103	遺構 1	梅干壺	溜込み	16.1	10.7	14.1		灰緑色：茶褐色釉： 橙色粘質土	内外面：施釉 外面：溜込み 部灰緑色 外底部：露胎				ほぼ完形
80-104	遺構 1	壺		(16.6)	-	(2.8)		茶褐色釉：暗褐色 粘質土	内外面：施釉				口縁部小 片

図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法／文様／その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高							
80-105	遺構1	壺		-	(9.0)	(2.4)		茶色釉：灰色粘質土	内面：施釉 外底部：露胎				底部片
81-106	遺構1	甕	溜込み	14.7	10	15.9		褐色・緑色・白色；茶色（内面）・（口縁～頸部）黒色・（胴部）灰青色：灰色～橙色粘質土	内外面：施釉 外面：不明文様 外底部：露胎				1/3
81-107	遺構1	甕	溜込み	18.0	-	-		緑色：（内面）茶色・（口縁～頸部）黒～茶褐色・（頸部）淡茶褐色・（胴部）灰青色：灰色～茶色粘質土	内外面：施釉 外面：文様不明		益子や笠間	近代	口縁部片
81-108	遺構1	甕	溜込み	15.3	-	-		（内面）茶褐色・（口縁～頸部）白・青・茶褐色・（胴部）灰青色：暗灰色粘質土	内外面：施釉				口縁部片
81-109	遺構1	鉢？		-	-	(4.1)		（内面）茶色・（口縁～頸部）茶～黒色：灰白色粘質土	内外面：施釉				口縁部小片
81-110	遺構1	壺？		-	-	(3.1)		灰緑色釉：橙色粘質土	内外面：施釉 外底部：露胎				底部片
81-111	遺構1	甕		-	11.6	-		（内面）茶褐色・（外面）灰白色：暗灰色粘質土	内面：露胎 外底部露胎				底部片
81-112	遺構1	蓋		径11.6		高4.7		茶色・緑色（三彩）：緑灰色：茶褐色	内面：露胎 外面：施釉				完形
81-113	遺構1	蓋		18.5				（外面）灰青緑色・（内面）淡黄色釉：黄灰色粘質土	内外面：施釉 口縁部：露胎				1/3
81-114	遺構1	挿鉢		(14.8)	-	(4.5)		茶色：灰白色粘質土	内外面：施釉 外面下部：露胎				口縁部片
81-115	遺構1	挿鉢		(12.7)	-	(3.5)		茶色：灰白色粘質土	内外面：施釉 外面下部：露胎				2/3
81-116	遺構1	挿鉢		-	-	-		茶色：灰白色粘質土	内外面：施釉				胴部小片
81-117	遺構1	挿鉢 片口付		15.0	8.3	7.2		茶褐色釉：橙色粘質土	内外面：施釉 外底部：露胎				ほぼ完形
82-118	遺構1	挿鉢		35.0	17.3	15.6		茶色：暗灰色粘質土	内外面：施釉 外底部：露胎				1/2
83-119	遺構1	挿鉢 片口付		30.8	15.8	13.2		茶色：暗灰色粘質土	内外面：施釉 外底部：露胎				ほぼ完形
83-120	遺構1	灯明受皿		(8.1)	受部径 (5.5) 底4.0	1.7		茶色：灰色粘質土	内外面：茶色釉施釉				1/2
83-121	遺構1	灯明受皿		10.0	受部径 (6.5) 底4.1	2.1		透明釉：淡黄色粘質土	内面：施釉 外面：露胎				ほぼ完形
83-122	遺構1	灯明受皿		(4.8)	受部径 (6.0) 底(4.0)	1.8		灰釉：灰色粘質土	内面：施釉 外面：露胎				1/2
83-123	遺構1	灯明皿	手描き	9.2	3.6	1.8		白色釉：灰釉：灰白色粘質土	内面：施釉、一部白色釉 外面：露胎 内面：足付ハマ痕（3ヶ所）				ほぼ完形
83-124	遺構1	灯明皿	手描き	9.0	3.5	1.9		白色釉：灰釉：灰色粘質土	内面：施釉、一部白色釉 外面：露胎 内面：足付ハマ痕（3ヶ所）				ほぼ完形
83-125	遺構1	灯明皿		8.2	3.4	1.7		灰釉：灰色粘質土	内面：施釉 外面：露胎 内面：足付ハマ痕（3ヶ所）		瀬戸美濃？		完形
83-126	遺構1	灯明皿	手描き	(8.2)	3.3	1.6		白色釉：灰釉：灰色粘質土	内面：施釉 外面：露胎 内面：足付ハマ痕（2ヶ所）		瀬戸美濃		1/3
83-127	遺構1	灯明皿	手描き	(9.0)	(3.2)	1.7		白色釉：灰釉：灰白色粘質土	内面：施釉、一部白色釉 外面：露胎 内面：足付ハマ痕（1ヶ所）				1/4程 残存
83-128	遺構1	灯明皿	手描き	9.0	3.6	1.7		白色釉：灰釉：淡黄色粘質土	内面：施釉、一部白色釉 外面：露胎				1/2
83-129	遺構1	灯明皿		(7.6)	3.5	1.8		灰釉：橙色粘質土	内面：施釉、一部白色釉 外面：露胎		瀬戸美濃？		1/3
83-130	遺構1	灯明皿		(9.8)	5.2	1.8		灰釉：淡黄色粘質土	外底部：削出し高台 内面見込み：蛇目釉剥き痕		瀬戸美濃	18～19世紀	1/2

図版 番号	出土 遺構	器種	絵付け 技法	法量				顔料：釉色調：胎 土	技法 / 文様 / その他	備考	推定 生産地	推定 年代	遺存度
				口径	底径	器高							
83-131	遺構 1	台付灯明受 皿		7.5	受部径 4.7 底 5.2	5.4		灰釉：黄橙色粘質 土	外底・内底部：露胎 外面： 施釉				完形
83-132	遺構 1	台付灯明受 皿		7.6	受部径 4.2 底 4.8	5.5		灰釉：淡黄色粘質 土	口縁部のみ施釉 他は露胎				ほぼ完形

表7 近代遺構出土磁器（人形類）観察表（単位：cm）

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	釉薬	胎土	法量			技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
						口径	底径	高さ			
84-1	遺構 1	磁器	女子頭部		白色粘質土		最大幅 2.7	6.0	型作り 素焼きに着色（頭髪部：黄 色、帽子：白色、肌：ピンク色、頬・ 口元：赤色、瞳：青）	うなじに「168510」 か番号印字	完形
84-2	遺構 1	土製品	人頭		茶色粘質土		最大幅 2.9	6.4	型作り 首部：孔が穿たれている 素焼き		完形
84-3	遺構 1	磁器	人形	透明釉	白色粘質土		最大幅 4.2	7.1	型作り 着色（緑・黄色・薄紅色・黒） 両肩に孔有り		完形
84-4	遺構 1	磁器	人形	透明釉	白色粘質土		最大幅 3.6	(7.1)	型作り 着色（緑・褐色・青・黒） 底部露胎 底部に穿孔有り		3/4
84-5	遺構 1	土製品	三猿		灰白色粘質土		最大幅 12.3	8.0	型作り 素焼き 着色（緑・赤・褐 色・黒）		4/5
84-6	遺構 1	土製品	人形		灰色粘質土		最大幅 7.8	4.8	型作り 素焼き 一部着色（淡桃色）		不明
84-7	遺構 1	磁器	栗型	透明釉	灰白色粘質土		最大幅 7.1	2.0	型作り 着色（黒・茶色） 底部露 胎	瀬戸	ほぼ完形
84-8	遺構 1	磁器	馬	白色釉	白色粘質土	全長 7.8	最大幅 2.2	5.6	型作り 着色（黒・黄色・緑・茶色・ 金）背中に穿孔有り 蹄部露胎		完形
84-9	遺構 1	磁器	馬	白色釉	白色粘質土	全長 6.1	最大幅 2.2	4.3	型作り 着色（黒・緑・茶褐色・橙 色）背中に穿孔有り 蹄部露胎		4/5
84-10	遺構 1	磁器	騎馬	白色釉	白色粘質土	全長 8.0	最大幅 2.0	5.3	型作り 着色（褐色・茶色・緑色） 腹部に穿孔 馬の四肢の底のみ露 胎		4/5
84-11	遺構 1	土製品	猫		茶色粘質土		最大幅 2.1	3.4	型作り 素焼き		完形
84-12	遺構 1	磁器	鳩	白色釉	白色粘質土	全長 3.2	最大幅 1.6	2.3	型作り 着色（暗緑褐色・青） 底部 露胎 外底部穿孔有り	尻尾「新安特許（青 字）」	完形
85-13	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 6.0	6.8	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・銀） 底部露胎 内底に重り		ほぼ完形
85-14	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 6.1	6.8	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・茶色） 底部露 胎 内底に重り		3/4
85-15	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 6.0	6.9	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・茶色） 底部露 胎 内底に重り		3/4
85-16	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 4.5	6.6	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・茶色） 底部露 胎 内底に重り		1/3
85-17	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 5.8	6.9	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・茶色） 底部露 胎 内底に重り		3/5
85-18	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 6.1	(4.1)	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・暗 朱色・金・茶色） 底部露胎 内底に 重り		1/3
85-19	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 5.3	(4.3)	型作り 着色（暗褐色・暗朱色・淡 黄橙色・金） 底部露胎 内底に重り		1/4
85-20	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 4.2	5.0	型作り 着色（暗褐色・暗灰色・淡 黄橙色・暗朱色・金・茶色） 底部露 胎 内底に重り		ほぼ完形
85-21	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 4.2	4.8	型作り 着色（暗褐色・淡黄褐色・ 暗朱色・茶色・淡緑色） 底部露胎 内底に重り		2/3
85-22	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 4.0	3.8	型作り 着色（暗褐色・金・茶色） 底部露胎 内底に重り		1/2
85-23	遺構 1	磁器	達磨	透明釉	白色粘質土		最大幅 3.4	4.0	型作り 着色（暗褐色・淡黄褐色・ 暗朱色・茶色）		1/4
85-24	遺構 1	磁器	ミニチュア 犬張子	透明釉	白色精良土	全長 6.3	最大幅 3.0	(2.6)	型押し 着色（黒・青・茶色・緑） 内面布目痕		不明

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	釉薬	胎土	法量			技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
						口径	底径	高さ			
86-25	遺構 1	磁器	水滴 (桃太郎)	白色釉	白色粘質土	全長 6.3	最大幅 4.7	5.4	型押し 2ヶ所に穿孔 外底部露胎 着色 (緑・褐色・茶色・薄紅色)		完形
86-26	遺構 1	磁器	笛 (鳩)	灰白色	灰白色粘質土	全長 7.9	最大幅 3.2	3.7	型作り 2ヶ所に穿孔 着色 (緑・ 茶褐色・橙色・白色)		完形
86-27	遺構 1	磁器	笛 (鳩)	白色釉	白色粘質土	全長 (5.4)	最大幅 3.2	3.6	型作り 着色 (茶色・緑)		2/3
86-28	遺構 1	土製品	笛 (鳩)		茶色粘質土	全長 (2.9)	最大幅 2.2	(1.7)	笛か? 1ヶ所に穿孔 素焼き 一 部降灰かかる		不明小片
86-29	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 4.9	最大幅 (2.8)	2.9	型作り 着色 (茶褐色・緑・茶色) 底部露胎 内底に重り		2/3
86-30	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 (4.1)	最大幅 (3.3)	3.0	型作り 着色 (暗褐色・緑・茶色) 底部露胎 内底に重り		2/3
86-31	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 (4.1)	最大幅 (2.7)	3.1	型作り 着色 (茶褐色・緑・茶色) 底部露胎 内底に重り		2/3
86-32	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 (4.7)	最大幅 3.7	3.1	型作り 着色 (茶褐色・緑・茶色) 底部露胎 内底に重り		3/4
86-33	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 (4.1)	最大幅 (3.0)	(2.9)	型作り 着色 (茶褐色・緑・茶色)		3/5
86-34	遺構 1	磁器	鴨	白色釉	白色粘質土	全長 3.5	最大幅 2.7	2.3	型作り 着色 (茶褐色・緑・青・茶 色) 底部露胎 (墨書) 内底に重り	底部墨書「第」	完形
86-35	遺構 1	磁器	桃太郎	白色釉	白色粘質土	全長 (2.9)	最大幅 (3.2)	(2.0)	型作り 内面布目痕 着色 (暗褐色)		1/3
86-36	遺構 3	磁器	桃太郎	白色釉	灰白色粘質土	全長 (2.2)	最大幅 (3.4)	(3.1)	型作り 内面布目痕 外底部露胎 着色 (緑色・茶色・茶褐色・淡橙色)		1/2
86-37	遺構 1	磁器	鯉	白色釉	灰白色粘質土	全長 (7.6)	最大幅 3.1	3.3	型作り 外底部露胎 内底に重り 着色 (黒・淡橙色・金・淡緑色)		3/5
86-38	遺構 1	磁器	鯉?	白色釉	白色粘質土	全長 (4.6)	最大幅 2.8	(2.1)	型作り 内面布目痕 着色 (暗灰色・ 金)		不明
86-39	遺構 1	磁器	亀	白色釉	白色粘質土	全長 5.3	最大幅 4.0	2.7	型作り 底部露胎 着色 (金・銀・ 緑色・茶色・暗褐色)		ほぼ完形
86-40	遺構 1	磁器	金魚 (大)	白色釉	白色粘質土	全長 8.1	最大幅 5.1	3.0	型作り 底部露胎 着色 (茶褐色・ 金色・茶色)		完形
86-41	遺構 1	磁器	金魚 (大)	白色釉	白色粘質土	全長 8.1	最大幅 4.9	3.1	型作り 底部露胎 着色 (暗褐色・ 茶色・淡灰緑色・金・黒)		ほぼ完形
87-42	遺構 1	磁器	金魚 (大)	白色釉	白色粘質土	全長 (7.0)	最大幅 4.9	3.1	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (暗褐色・茶色・朱色・金色)		3/4
87-43	遺構 1	磁器	金魚 (大)	白色釉	白色粘質土	全長 8.3	最大幅 5.1	3.0	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (茶褐色・茶色・朱色・金)		ほぼ完形
87-44	遺構 1	磁器	金魚 (大)	白色釉	白色粘質土	全長 (5.2)	最大幅 4.9	3.0	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (茶褐色・金)		2/3
87-45	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 5.3	最大幅 3.5	2.2	型作り 底部露胎 着色 (暗褐色・ 茶色)		完形
87-46	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 5.3	最大幅 3.5	2.1	型作り 底部露胎 着色 (暗褐色・ 茶色)		完形
87-47	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 5.3	最大幅 3.5	2.1	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (暗褐色・茶色)		2/3
87-48	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 (3.4)	最大幅 3.5	2.0	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (暗褐色・茶色)		2/3
87-49	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 (4.9)	最大幅 3.5	2.0	型作り 内面に布目痕 底部露胎 内底に重り 着色 (暗褐色・淡橙色)		3/4
87-50	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 (3.3)	最大幅 3.5	2.1	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (茶褐色・茶色)		1/2
87-51	遺構 1	磁器	金魚 (小)	白色釉	白色粘質土	全長 (3.8)	最大幅 3.0	1.9	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (茶褐色・茶色)		4/5
87-52	遺構 1	磁器	金魚 (小)	白色釉	白色粘質土	全長 4.1	最大幅 3.1	1.8	型作り 底部露胎 着色 (朱色・茶 色・金)		ほぼ完形
87-53	遺構 1	磁器	金魚 (小)	白色釉	白色粘質土	全長 (2.2)	最大幅 (2.4)	(1.8)	型作り 底部露胎 内底に重り 着 色 (茶褐色・茶色・金)		1/3
87-54	遺構 1	磁器	金魚 (中)	白色釉	白色粘質土	全長 (3.1)	最大幅 (3.1)	(1.2)	型作り 内面布目痕 着色 (茶褐色・ 茶色・黒色・金色)		1/3

表8 近代遺構出土土製品(焔炉類) 観察表 (単位: cm)

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	法量				a: 成形 b: 胎土 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	備考	遺存度
				口径	底径	器高	その他			
88-1	遺構 1	土製品	角焔炉	30.8	28.0	26.7	内円・直径 25.0、 火皿・直径 12.0、 引き戸縦 9.7 横 9.7 厚 1.2	a: 粘土貼り付け痕有り 窓有り 脚部有り 外面: 磨き 引き戸: 外面磨き・縁面取り・引 き手有り 内筒部: 4ヶ所穿孔有り、本体との 接合部に多数の線刻状の工具痕、埴面白色 化 火皿: 6ヶ所穿孔有 片面削り・側面取 り、一部白色化・剝離 b: 淡褐色 微砂・雲 母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明褐色 f: 内面: 煤付着		4/5
89-2	遺構 1	土製品	角焔炉	24.0	22.0	21.5	円枘直径 20.0、 引き戸縦 8.1 横 8.1 厚 1.2	a: 粘土貼り付け痕有り 窓有り 脚部有り 外面: 磨き 引き戸: 外面磨き・縁面取り・引 き手有り b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c: 明褐色 f: 内面: 煤付着	「三河名産製造組 ■■■■■■」	1/2
89-3	遺構 1	土製品	角焔炉	-	-	19.5	横 21.5	a: 粘土貼り付け痕有り 脚部有り 外面: 磨 き 内面: 4条の工具痕有 b: 淡褐色 微砂・雲 母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明褐色 f: 内 外面煤付着		1/5
90-4	遺構 1	土製品	角焔炉 窓部	-	-	[11.5]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色 f: 窓部一部残存、脚部なし		不明
90-5	遺構 3	土製品	角焔炉 口縁部	-	-	[7.2]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色 f: 口縁部一部残存		不明
90-6	遺構 1	土製品	角焔炉 窓部	-	-	[9.6]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色 f: 窓部一部残存、脚部なし		不明
90-7	遺構 1	土製品	角焔炉	-	-	[3.7]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 黄灰色 微砂・雲母・白色粒・黒色粒 c: 灰黄色		不明
91-8	遺構 3	土製品	角焔炉	-	-	[3.4]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色		不明
91-9	遺構 3	土製品	角焔炉 窓部	-	-	[14.0]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色 f: 窓部一部残存、脚部あり		不明
91-10	遺構 1	土製品	角焔炉	-	-	[7.0]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色		不明
91-11	遺構 1	土製品	角焔炉	-	-	[5.2]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色		不明
91-12	遺構 1	土製品	角焔炉	-	-	[5.4]		a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色		
91-13	遺構 1	土製品	角焔炉 引き戸				引き戸縦 10.9 横 9.0 厚 1.3	a: 内外面: 工具による調整痕 外面: 線刻で 四角に縁取した内側に陰刻 b: 淡褐色 微砂・ 雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 淡褐色	「三河名産 製造組 合 斎藤半次郎」	ほぼ完 形
91-14	遺構 1	土製品	角焔炉				縦 [8.9] 横 [4.7] 厚 1.1	a: 粘土貼り付け痕有り 外面: 磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 明 褐色		胴部小 片
92-15	遺構 3	土製品	角焔炉 内筒	-	-	[6.2]		a: 粘土貼り付け痕有り 1ヶ所穿孔有 外面: 口縁部: 線刻で圏線 内面: 白色化 b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 淡 褐色 f: 口縁部煤付着		不明
92-16	遺構 1	土製品	角焔炉 内筒	口径 (20.0)	底径 (10.4)	18.5		a: 粘土貼り付け痕有り 3ヶ所穿孔有 外面: 口縁部: 線刻で圏線 内面: 一部白色化 b: 淡 褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c: 淡褐色 f: 口縁部・内面一部: 煤付着		1/2
92-17	遺構 1	土製品	土製品 火皿	径 9.4		厚 1.1		a: 6ヶ所穿孔有 b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲 母・赤色粒・白色粒 c: 淡褐色 f: 両面黒く焦 げる		
92-18	遺構 1	土製品	角焔炉 内筒	-	-	[7.9]		a: 2ヶ所穿孔有 外面: 口縁部: 線刻で圏線 内面: 白色化 b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c: 淡褐色 f: 口縁部煤付着		胴部小 片
92-19	遺構 1	土製品	角焔炉 内筒	-	-	[6.2]		a: 1ヶ所穿孔有 外面: 口縁部: 線刻で圏線 内面: 白色化 b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲 母・赤色粒・白色粒 c: 淡褐色		胴部小 片
92-20	遺構 1	土製品	角焔炉 内筒	-	-	[5.2]		a: 2ヶ所穿孔有 外面: 粘土貼り付け痕有り、 底部削り b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c: 淡褐色		底部小 片

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	法量				a:成形 b:胎土 c:色調 d:釉調 e:焼成 備考	備考	遺存度
				口径	底径	器高	その他			
92-21	遺構 1	土製品	角規炉 内筒	-	-	[7.2]		a:3ヶ所穿孔有 外面:粘土貼り付け痕有り、 底部削り b:淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c:淡褐色		底部小 片
93-22	遺構 1	土製品	角規炉	-	-	[2.5]		a:外面:線刻で圏線 b:淡褐色 微砂・雲母・ 金雲母・白色粒 c:淡褐色		胴部小 片
93-23	遺構 1	土製品	角規炉 内筒				縦(9.8) 横(3.0) 厚1.0	a:外面:底部・側面削り 内面:白色化 b: 淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・白色 粒 c:淡褐色		底部小 片
93-24	遺構 1	土製品	火皿 (サナ)	-	-	-	厚[1.4]	a:外面:側面削り、一部白色化、2ヶ所穿孔 有り b:淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・ 白色粒 c:淡褐色		不明
93-25	遺構 1	土製品	火皿 (サナ)	-	-	-	厚[1.2]	a:外面:側面削り、一部白色化、4ヶ所穿孔 有り b:淡褐色 微砂・雲母・金雲母・赤色粒・ 白色粒 c:淡褐色		不明
93-26	遺構 1	土製品	火皿 (サナ)	-	-	-	厚[1.3]	a:外面:側面削り、一部白色化、4ヶ所穿孔 有り b:淡褐色 微砂・雲母・赤色粒・白色 粒 c:淡褐色		不明
93-27	遺構 1	土製品	火皿 (サナ)	-	-	-	厚[1.2]	a:外面:側面削り、一部白色化、1ヶ所穿孔 有り b:淡褐色 微砂・雲母・赤色粒・白色 粒 c:淡褐色		不明
93-28	遺構 1	土製品	ワッパ	30.6	25.8	8.2		a:外面:6ヶ所穿孔有 口縁部・底部:削り・ 面取り、口縁部下に強い段 内面:滑り止めが 4ヶ所(後から貼り付け) b:淡褐色 微砂・ 雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c:淡褐色 f: 内面:煤付着		4/5
93-29	遺構 1	土製品	ワッパ	27.2	22.8	9.0		a:外面:5ヶ所穿孔有 口縁部・底部:削り・ 面取り、口縁部下に強い段 内面:滑り止めが 2ヶ所(後から貼り付け) b:淡褐色 微砂・ 雲母・金雲母・赤色粒・白色粒 c:淡褐色 f: 内面:煤付着		3/4
93-30	遺構 1	土製品	ワッパ	26.4	20.4	6.8		a:外面:穿孔無し 口縁部・底部:削り・面取り、 口縁部下に強い段 内面:滑り止めが1ヶ所(後 から貼り付け) b:淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c:淡褐色 f内面:煤付着		1/2
93-31	遺構 1	土製品	ワッパ	(23.0)	(20.2)	7.2		a:外面:穿孔無し 口縁部・底部:削り・面取り、 口縁部下に強い段 内面:滑り止めが1ヶ所(後 から貼り付け) b:淡褐色 微砂・雲母・金雲母・ 赤色粒・白色粒 c:淡褐色 f内面:煤付着		1/2

表9 近代遺構出土土器観察表

図番 号	出土遺 構	材質	器種	法量			a:成形 b:胎土 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考	備考	遺存度
				口径	底径	器高			
94-1	遺構 1	土製品	植木鉢	12.2	-	(9.2)	a:素焼き 内面横ナデ 外面:削り・磨き b:淡褐色 微砂・ 雲母・赤色粒・白色粒 c:橙色 e:良好		2/3
94-2	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(6.2)	a:素焼き 口縁部玉縁状 内面横ナデ 外面:削り・磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 c:淡褐色 e:良好		口縁部小 片
94-3	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(8.4)	a:素焼き 内面横ナデ 外面:削り・磨き b:淡褐色 微砂・ 雲母・赤色粒・白色粒 c:橙色 e:良好		口縁部小 片
94-4	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(6.6)	a:素焼き 口縁部玉縁状 内面横ナデ 外面:削り・磨き b: 淡褐色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 c:暗褐色 e:良好		口縁部小 片
94-5	遺構 1	土製品	植木鉢	(9.2)	6.9	8.7	a:素焼き 内外面横ナデ 底部左回転糸切り 底部穿孔有 b:赤橙 色 微砂・白色粒・赤色粒・長石か石英の粒 c:淡灰色～淡赤 橙色 e:良好		2/3
94-6	遺構 1	土製品	植木鉢	-	7.0	(7.0)	a:素焼き 内外面横ナデ 底部左回転糸切り 底部穿孔有 b:淡橙 色 微砂・白色粒・赤色粒・黒色粒 c:淡褐色 e:良好		1/2
94-7	遺構 1	土製品	素焼き鉢?						
94-8	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(11.2)	a:内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面:雑な磨き b:黄灰 色～黒灰色 微砂・雲母 瓦質 c:暗灰色 e:良好		口縁部片
94-9	遺構 1	土製品	植木鉢	(15.0)	-	-	a:内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面:磨き b:灰色～黒灰 色 微砂・雲母・白色粒 瓦質 c:黒～白灰色 e:良好		口縁部片
94-10	遺構 1	土製品	植木鉢	-	10.9	-	a:外面:削り・磨き 底部:穿孔有り b:黒色 微砂・雲母・白 色粒 土器質 c:黒灰色 e:良好		底部完形
94-11	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(6.8)	a:内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面:磨き? b:灰色～淡 褐色 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・小石粒 瓦質 c:灰色 e:良 好 a:内外面に漆喰付着		口縁部小 片



図番号	出土遺構	材質	器種	法量			a: 成形 b: 胎土 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	備考	遺存度
				口径	底径	器高			
94-12	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(4.4)	a: 内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面: 磨き?・指頭痕 b: 灰色～淡橙色 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒・小石粒 瓦質 c: 灰色 e: 良好 a: 内外面に漆喰付着		口縁部小片
94-13	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(5.6)	a: 内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面: 磨き b: 淡橙色 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒 土器質 c: 黒色～淡橙色 e: 良好		口縁部小片
94-14	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(3.0)	a: 内面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面: 磨き b: 淡灰色 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒 土器質 c: 黒色～淡灰色 e: 良好		口縁部小片
94-15	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(2.9)	a: 内外面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面: 磨き b: 黒色 微砂・雲母・白色粒・黒色粒 土器質 c: 灰黒色 e: 良好		口縁部小片
94-16	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(2.6)	a: 内外面横ナデ 口縁部・削り・面取り 外面: 磨き b: 黒色 微砂・雲母・白色粒・黒色粒 土器質 c: 灰黒色 e: 良好		口縁部小片
94-17	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(1.7)	a: 内外面横ナデ 外面: 磨き 底部: 削り b: 灰色 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒 土器質 c: 内面: 黒色、外面: 灰色 e: 良好		底部小片
94-18	遺構 1	土製品	植木鉢	-	-	(2.8)	a: 内外面横ナデ 外面: 磨き 底部: 削り b: 灰色 微砂・雲母・白色粒 土器質 c: 内面: 灰白色、外面: 灰黒色 e: 良好		底部小片
94-19	遺構 1	瓦質土製品	不明品	-	-	(5.1)	a: 内面: 露胎、圏線状の工具痕 外面: 磨き 口縁部: 面取り b: 灰色 微砂・雲母・白色粒・黒色粒 土器質 c: 内面: 灰白色、外面: 灰黒色 e: 良好		不明
95-20	遺構 1	瓦質土製品	不明品	-	-	(4.6)	a: 内面: 露胎、圏線状の工具痕 外面: 磨き 口縁部: 面取り b: 灰白色 微砂・雲母・白色粒・黒色粒 土器質 c: 内面: 灰白色、外面: 黒灰色 e: 良好		不明
95-21	遺構 1	瓦質土製品	不明品	-	(20.2)	-	a: 内面横ナデ 外面: 雑な磨き 底部脇: 丁寧な磨き 外底部: 高台状に成形されている b: 黄灰色～黒色 微砂・雲母・白色粒 土器質 c: 暗灰色 e: 良好		不明
95-22	遺構 1	陶器	土管	(11.6)	-	(5.4)	b: 淡赤橙色 微砂・白色粒 良土 d: 暗赤褐色 (内外面施釉) e: 良好		不明
95-23	遺構 1	陶器	土管	-	-	(5.2)	b: 橙色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黄色粒 d: 暗褐色 (内外面施釉) e: 良好 f: 被熱か? 釉が剥離している		不明
95-24	遺構 1	陶器	土管	-	(11.0)	(7.5)	a: 内面指頭痕有り b: 淡褐色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 d: 暗褐色 (内外面施釉) e: 良好		不明
95-25	遺構 1	陶器	土管	-	-	(8.7)	b: 橙色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 d: 暗褐色 (内外面施釉) e: 良好 f: 被熱か? 釉が剥離している		不明
95-26	遺構 1	陶器	土管	-	-	(4.5)	b: 橙色 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 d: 暗褐色 (内外面施釉) e: 良好 f: 被熱か? 釉が剥離している		不明
95-27	遺構 1	陶器	土管	-	-	(4.4)	a: 両側面: 面取り 表面・側面: ナデまたは削り b: 赤橙色 微砂・雲母・赤色粒 d: 暗灰色 e: 良好 f: 被熱か? 表面白色化、横幅 5.5cm		不明

表 10 近代遺構出土瓦観察表 (単位: cm)

図版番号	出土遺構	器種	法量			a: 成形 b: 胎土 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	遺存度
			長さ	幅	厚さ		
96-1	遺構 1	軒丸瓦 (鏡瓦)	瓦当径 (10.4)	内区径 (6.1)	外区外縁幅 2.1 高 0.4	a: 内外区の段着が低く、彫り浅い b: 胎芯: 灰色 砂粒・黒色粒 砂質土 c: 表面 灰黒色 くすべ焼様 e: 良好 f: 瓦当裏面に漆喰が付着している	1/4
96-2	遺構 1	軒棧瓦	軒丸部径 8.6	軒平部幅 3.8	1.6	a: 瓦当部: 貼付技法 瓦当背面: 横位ナデ 軒丸上部: 削り面取り b: 灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 砂質 やや粗土 c: 表面: 黒灰～暗灰色のいぶし焼様、主に、凸面・瓦当面銀化現象を呈す。	1/4
96-3	遺構 1	棧瓦	-	-	1.6	a: 棧瓦作り 側・端面ヘラ削り成形後にナデ調整 凹面端に横位の櫛目文状のわずかな痕有 b: 胎芯: 灰色 砂粒・雲母・白色粒 砂質土 c: 表面: 灰黒色くすべ焼様に仕上げる。凹凸面部分的な銀化現象	1/6
97-4	遺構 1	平瓦 (棧瓦)	-	-	1.8	a: 凹面: 縦位の櫛目文 (9 条文確認) 端面: ヘラ削り面取り後、ナデ調整 b: 胎芯: 灰色 砂粒・白・黒色粒 やや砂質土 c: 表面: 暗灰色のくすべ焼様 凸面銀化現象	1/5
97-5	遺構 1	平瓦	[6.5]	[10.2]	[1.6]	a: 側・端面ヘラ削り成形後にナデ調整 凹面端に横位の櫛目文状のわずかな痕有 b: 胎芯: 灰色 砂粒・雲母・白色粒 砂質土 c: 表面: 灰黒色くすべ焼様に仕上げる。凹凸面部分的な銀化現象	不明
98-6	遺構 1	道具瓦 (衾瓦)			2.0	a: 接合部は櫛目状の刻みを入れ貼り付けている b: 胎芯: 暗灰色 砂粒・白色粒 やや砂質土 c: 表面: 灰黒色くすべ焼様で仕上げる。凸面銀化現象 e: 良好 f: 棟に用いられていた衾瓦 (雁振瓦) のような用途が考えられる	不明
98-7	遺構 1	棧瓦			1.7	a: 棧瓦作り b: 胎芯: 灰色 砂粒・雲母・白色粒 砂質土 c: 表面: 灰黒色のくすべ焼様に仕上げる。凸面部分的に銀化現象がみられる e: 良好	不明
98-8	遺構 1	鬘斗瓦 (堤瓦)	23.9	11.0 前後	1.8	a: 焼成前に側面平行の深さ 3mm 程の切り込みを入れた分割断面と破面の痕跡がある。鬘斗瓦であろう凸面縦位の 13 条の櫛目文が波文状に施す。側面・端面ともにヘラ削り成形後にナデを施す。凹面側縁はヘラ削り成形後にナデ調整を行う b: 灰色 砂粒、黒色粒 白色流文状 砂質 粗土 c: 表面は黒灰色のいぶし焼様、凸面と側・端面は銀化現象	1/2

98-9	遺構 1	炭斗瓦 (堤瓦)	23.8	11.0 前後	1.7	a: 側面に平行して焼成前に深さ 3mm 程の切り込みを施した分割断面と破面の痕跡があり、炭斗瓦として用いられていたものと考えられる 道具瓦 (炭斗瓦) 凸面に縦位の 12 条の櫛目文を施す 側面・端面：ヘラ削りで面取り成形 凹面側縁：ヘラ削り成形後に縦位ナデを施す b: 灰色 砂粒・黒色粒・白色流文状 やや砂質土 c: 表面：黒灰色のいぶし焼様、凸面と側面は銀化現象 e: 良好	1/2
98-10	遺構 1	装飾瓦か?	[4.3]	[5.8]	[3.0]	a: 正面は型による網代のような模様、側面はスタンプによる花文 b: 胎芯は銀褐色、黒色 c: 銀褐色 d: 着色か?	不明

表 11 近代遺構出土ガラス製品観察表 (単位: cm)

図版番号	出土遺構	器種・器形	色調	法量			技法/文様/その他	備考	遺存度	
				口径	底径	器高				
99-1	遺構 1	ビール瓶	茶色	2.6	7.8	29.3	最大径 8.0	型合わせ目 (口縁から底部)	底部「R & CO. 40」	完形
99-2	遺構 1	ビール瓶	黄茶色	2.9	7.7	28.9		合わせ目無し、上げ底		4/5
99-3	遺構 1	ビール瓶	茶色	2.6	8.2	29.2		合わせ目無し、上げ底、コルク径 0.5cm、高 0.5cm が残留		完形
99-4	遺構 1	ビール瓶	茶色	2.9	7.8	28.6		合わせ目無し、上げ底、コルク瓶底に残留		完形
99-5	遺構 1	ビール瓶	茶色	2.8	7.9	28.6		合わせ目無し、上げ底		ほぼ完形
100-6	遺構 1	飲料水瓶	淡緑透明	2.6	6.5	24.1		合わせ目無し		ほぼ完形
100-7	遺構 1	飲料水瓶	淡緑透明	-	6.6	(22.8)		合わせ目無し		4/5
100-8	遺構 1	飲料水瓶	淡水透明	2.4	4.9	19.1		型合わせ目 (口縁から底部)		完形
100-9	遺構 1	瓶	淡青透明	2.4	5.2	16.2		合わせ目無し、上げ底		完形
100-10	遺構 1	瓶	淡水透明	2.6	5.4	15.5		合わせ目無し		完形
100-11		酒瓶	暗緑色	3.0	6.9	19.1	幅 12.2	型合わせ目 (口縁から底部)、金属性の蓋付き	正面陽刻「A BLEND OF THE CHOICE WHISKIES・EST 1899・SUNTORY WHISKY PRODUCT OF JAPAN」 底面陽刻「LIQUOR BOTTLE・O-1111・45 N Y・JAPAN」	完形
101-12	遺構 1	ビール瓶	茶色	2.9	7.9	29.2		合わせ目無し、上げ底		ほぼ完形
101-13	遺構 1	ワイン瓶	透明	2.5	8.0	28.6	最大径 8.5	合わせ目無し、上げ底		完形
101-14	遺構 1	酒瓶	淡青緑透明	瓶口 2.3 栓上面径 2.5	底 2.8 下面径 0.9	高 23.7 高 2.8	内 2.0	合わせ目無し、上げ底 清酒 2 合瓶 陶器機械栓：白釉で施釉、下部コルク付着	清酒用大正末～昭和初期	完形
101-15	遺構 1	牛乳瓶	透明	-	5.3	(9.3)		型合わせ目 (口縁から底部)	正面陽刻：「別」「上等」「全乳」、裏面：「柴崎」	1/2
101-16	遺構 1	牛乳瓶	淡緑透明	1.8	4.8	16.3		型合わせ目 (口縁から底部)	正面陽刻：「全乳」	完形
101-17	遺構 1	牛乳瓶	透明	4.5	4.5	18.9	最大径 5.6	型合わせ目 (口縁から底部)	正面～裏面：「明治」「Meiji」赤色、正面陽刻：「○の中に正、80cc」	完形
101-18	遺構 1	飲料水瓶	透明	-	2.1	6.8	最大径 3.5	型合わせ目 (口縁から底部)	正面陽刻：「志水」	4/5
102-19	遺構 1	調味料瓶	淡水透明	2.7	6.5	23		合わせ目無し、肝油の容器	正面陽刻：「SCOTT'S EMULSION」、右側陽刻：「COD LIVER OIL」、左側陽刻：「WITH LIME & SODA」、底面陽刻：「W」	完形
102-20	遺構 1	調味料瓶	淡黄緑透明	2.4	5.7	18.2		型合わせ目 (口縁から底部)	カレー粉瓶	完形
102-21	遺構 1	調味料瓶	透明	2.0	3.8	9.9	最大幅 4.3	型合わせ目 (口縁から底部)	底部陽刻：「味の素」	ほぼ完形
102-22	遺構 3	調味料瓶	透明	2.0	3.9	9.9	最大幅 4.3	型合わせ目 (口縁から底部)	底部陽刻：「味の素」、コルク栓残存	ほぼ完形
102-23	遺構 1	調味料瓶	淡緑透明	径 2.6		3.2		気泡有り	陽刻：「HOL BROOK & CO」	ほぼ完形
103-24	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.3	4.4	11.6		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、乳白化粧水 (レト) の瓶、平尾賛平商店	右側陽刻：「LAIT TOILET WATER」、左側陽刻：「SAMPEI・HIRAO」	完形
103-25	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.3	4.1	12.4		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、レト水化粧水の瓶、平尾賛平商店	右側陽刻：「HIRAO & CLE」、左側陽刻：「BLANC DE LAIT」	完形
103-26	遺構 1	化粧品瓶	透明	蓋径 2.1 本体 2.4	4.6	11.3		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、本体口縁部内側と栓が擦れ削れている	御園四季能は奈?	完形
103-27	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.5	4.4	11.9		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		完形
103-28	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.15	4.3	11.9		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		ほぼ完形
103-29	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.3	4.5	12.0		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)	大化学化粧品、化粧水か?	完形
103-30	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.5	4.2	10.9		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)	大化学化粧品、化粧水か?	完形
103-31	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.6	4.0	9.3		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)	底部エンボス：判読不能	完形
103-32	遺構 1	化粧品瓶	淡青緑透明	-	3.6	(9.5)		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		ほぼ完形
103-33	遺構 1	化粧品瓶	淡青緑透明	-	3.7	(9.5)		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		4/5
103-34	遺構 1	化粧品瓶	淡青緑透明	-	3.6	(8.6)		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		4/5
103-35	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.4	-	(8.6)		型合わせ目 (口縁から底部)		1/2
103-36	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.2	4.0	8.6		型合わせ目 (口縁から底部)、内面に白粉付着、桃谷順天堂館白水美顔水	底部エンボス：桃と蜻蛉	完形
103-37	遺構 1	化粧品瓶	透明	(2.2)	3.1	(8.4)		型合わせ目 (口縁から底部)	底部エンボス：花模様	4/5
104-38	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.9	4.6	16.9	最大径 6.2	気泡有り、型合わせ目無し 重量感有り		完形
104-39	遺構 1	化粧品瓶	淡緑色透明	2.4	4.0	14.2	最大径 4.8	気泡有り、型合わせ目無し 重量感有り		完形
104-40	遺構 1	化粧品瓶	淡緑色透明	2.0	3.7	11.5	最大径 2.3	気泡有り、型合わせ目無し 重量感有り		完形
104-41	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	3.6	9.7	最大径 3.8	気泡有り、型合わせ目無し		完形
104-42	遺構 1	化粧品瓶	透明	蓋径 2.0 口 2.2	3.2	10.2	最大径 4.1	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部内側と栓が擦れ削れている	化粧品 (御園の月)	完形
104-43	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.2	3.2	9.0	最大径 3.8	気泡有り、型合わせ目無し、頸部少し歪むコルク栓 (径上 1.2、下 1.0cm)	化粧品：白粉水瓶 (板橋百花堂桜卯白粉水)	完形
104-44	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.6	5.4	10.4		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)		完形
104-45	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.6	5.4	10.0		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、頸部やや歪む		完形
104-46	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	3.6	8.6	最大径 3.8	気泡有り、型合わせ目無し、重量感有り	白粉瓶?	完形

図版 番号	出土 遺構	器種・器形	色調	法量			技法 / 文様 / その他	備考	遺存度	
				口径	底径	器高				
104-47	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	3.0	7.9	最大径 3.2	気泡有り、型合わせ目無し	白粉瓶?	完形
104-48	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	3.4	6.6		気泡有り、型合わせ目無し、重量感有り		完形
104-49	遺構 1	白粉瓶	透明	瓶口 4.2 栓口 4.2	4.6 -	4.2 3.6	摘径 1.5	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、外底部中心は突起	化粧品 (御園)	完形
104-50	遺構 1	白粉瓶	透明	瓶 4.3 栓 3.2	4.5 -	4.2 3.3	摘径 1.3	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、外底部中心は突起	化粧品 (御園)	完形
104-51	遺構 1	白粉瓶	透明	瓶口 3.9 栓口 2.9	4.5 -	4.3 -	摘径 1.5	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、中に白粉が残る (乳 白色) 外底部中心は突起	化粧品 (御園)	完形
104-52	遺構 1	白粉瓶	透明	瓶口 3.8 栓口 2.6	4.6 -	4.3 -	摘径 1.5	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、中に白粉が残る (乳 白色) 外底部中心は突起	化粧品 (御園)	完形
104-53	遺構 1	白粉瓶	透明	5.0 -	- -	4.1 3.5	摘径: 1.8	気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ	化粧品 (御園)	1/2
104-54	遺構 1	不明	透明	3.8	4.3	5.5		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ		1/2
105-55	遺構 1	白粉瓶	透明	4.1	4.5	4.2		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、外底部中心は突起	化粧品 (御園)	1/2
105-56	遺構 1	白粉瓶	透明	3.9	4.6	4.2		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、中に白粉が残る (乳 白色)、外底部中心は突起	化粧品 (御園)	1/2
105-57	遺構 1	白粉瓶	透明	-	4.5	3.9		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側と栓が擦れ割れ、外底部中心は突起	化粧品 (御園)	1/3
105-58	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	2.6	4.3		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ		1/2
105-59	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	2.7	4.1		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ		1/2
105-60	遺構 1	化粧品瓶	透明	1.9	2.7	4.1		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ		1/2
105-61	遺構 1	化粧品瓶	透明	1.9	2.6	3.6		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ		1/2
105-62	遺構 1	化粧品瓶	透明	2.0	2.6	3.4		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ、底部上げ底		1/2
105-63	遺構 1	化粧品瓶	透明	1.8	2.6	3.5		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ、底部上げ底		1/2
105-64	遺構 1	化粧品瓶	透明	1.9	2.7	3.4		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ、底部上げ底		1/2
105-65	遺構 1	化粧品瓶	透明	蓋径 2.9 器部 2.8	- 3.2	1.0 2.9		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ、底部上げ底、金属 製の蓋付き、御園白粉、試供品か	蓋陽刻: 文様と「御園」	完形
105-66	遺構 1	化粧品瓶	透明	蓋径 2.9 器部 2.8	- 3.2	- 2.9		気泡有り、型合わせ目無し、本体口縁部 内側に栓が擦れ割れ、底部上げ底、金属 製の蓋付き、御園白粉、試供品か	蓋陽刻: 文様と「御園」	ほぼ完形
105-67	遺構 1	香水瓶?	透明	2.0	2.7	9.6	最大径 3.8	気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)	底部陽刻: 「A.F.」	完形
105-68	遺構 1	化粧品瓶	藍	2.0	2.5	7.5		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、 コルク栓付き (上径 1.0 下径 0.8 高 1.4)	正面陽刻: 「美顔水」(桃谷順天館)	完形
105-69	遺構 1	香水瓶	透明	2.3	4.2	7.0		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)	正面陽刻: 「PARFUMERIE FLORA」、底 部陽刻: 山型の様な模様	完形
105-70	遺構 1	香水瓶		1.0	2.2	5.3		気泡有り、型合わせ目 (口縁から底部)、 口縁部擦り痕	正面陽刻: 「MUSK」	完形
105-71	遺構 1	白粉瓶	乳白色	2.6	4.2	7.5		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕	毒美禮 (白粉)	完形
105-72	遺構 1	白粉瓶	乳白色	2.6	4.2	7.5		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕	毒美禮 (白粉)	完形
105-73	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	3.8	4.0	6.4		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕	底部陽刻: 「平尾分店」 平尾分店 (平尾銚也商店) ・ハ <sup>レ</sup> - <sup>ル</sup> 練香油か	3/5
105-74	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	3.8	4.0	6.3		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕	底部陽刻: 「平尾分店」 平尾分店 (平尾銚也商店) ・ハ <sup>レ</sup> - <sup>ル</sup> 練香油か	完形
105-75	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	2.9	2.6	5.2		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕	大層白粉	完形
105-76	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	3.0	2.0	5.3	最大径 4.8	型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕、コルク栓付く、粉末の灰色の粉が内 部に残る	白粉瓶	完形
105-77	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	5.2	5.6	5.0		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕、口部ネジ式、胴部に列柱状模様 4 箇 所の立体的な装飾有り	クリーム瓶	ほぼ完形
105-78	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	3.4	3.6	3.3		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕、口部ネジ式、胴部に列柱状模様 5 箇 所の立体的な装飾有り	クリーム瓶	完形
105-79	遺構 1	化粧品瓶	乳白色	2.8	3.0	3.3		型合わせ目 (口縁から底部)、口縁部擦り 痕、口部ネジ式、胴部に列柱状模様 6 箇 所の立体的な装飾有り	クリーム瓶	完形
105-80	遺構 1	化粧品瓶	黄白色	5.8	6.0	1.8		型合わせ目 (口縁から底部)	切子	ほぼ完形
105-81	遺構 1	不明	黄白色	4.8	5.0	1.8		型合わせ目無し		完形

図版番号	出土遺構	器種・器形	色調	法量			技法/文様/その他	備考	遺存度
				口径	底径	器高			
106-82	遺構1	インク瓶	透明	2.4	5.6	8.0	スポイト径1.1 気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、スポイト付(硬化し潰れている)、内面一部黒く汚れている	底部陽刻 「CARTER'S 242 MADE IN U.S.A.」	完形
106-83	遺構1	インク瓶	淡黄透明	2.5	3.7	5.4	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	胴部陽刻「CAW'S INK 11347」	ほぼ完形
106-84	遺構1	インク瓶	淡黄透明	2.5	2.7	5.3	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	胴部陽刻「CAW'S INK 11347」	完形
106-85	遺構1	インク瓶	淡黄透明	2.2	2.8	4.4	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	胴部陽刻「CAW'S INK 11347」	完形
106-86	遺構1	インク瓶	透明	2.5	3.9	3.6	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	外底部陽刻:「○にM」、丸善	完形
106-87	遺構1	インク瓶	淡緑透明	2.0	3.8	4.0	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	外底部陽刻:「○にM」、丸善	1/2
106-88	遺構1	インク瓶	淡緑色透明	3.0	4.3	5.0	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	外底部陽刻:「○にM」、丸善	完形
106-89	遺構1	インク瓶	透明	2.3	5.0	3.7	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	側面陽刻:「実用新案登録」 「N23218」、外底部陽刻:「○にM」、丸善	完形
106-90	遺構1	インク瓶	淡灰色透明	2.1	3.5	6.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓付	胴部陽刻:「帝国インキ」	完形
106-91	遺構1	インク瓶	透明	1.5	4.4	4.4	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓付(上面径1.3、高1.6)、内面紫色インク付着、口縁部及びコルク栓はインクが金色に変色		完形
106-92	遺構1	インク瓶	透明	1.8	4.6	3.8	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、底部~底部脇に不明文様が型押し		完形
106-93	遺構1	インク瓶?	透明	6.6	6.8	7.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓付、口部ネジ式		完形
106-94	遺構1	インク瓶?	透明	3.6	4.4	4.3	気泡有り、型合わせ目無し、口縁部内面が擦り痕		完形
106-95	遺構1	瓶	茶色透明	3.2	3.2	5.8	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
106-96	遺構1	糊瓶	茶色透明	3.4	3.2	3.4	気泡有り、型合わせ目(口縁部にあり)上部内面擦り痕		完形
106-97	遺構1	糊瓶	茶色透明	3.6	3.4	2.4	気泡有り、型合わせ目無し、上部内面擦り痕		完形
106-98	遺構1	糊瓶	茶色透明	3.8	3.6	2.3	気泡有り、型合わせ目無し、上部内面擦り痕		完形
106-99	遺構1	瓶	透明	4.4	4.4	3.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、口部ネジ式、内面白色化	外底部陽刻:「花の模様」、「5178」	完形
106-100	遺構1	瓶	淡黄緑色	4.4	4.6	3.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、口部ネジ式	外底部陽刻:「★」 「5178」 「B」	完形
106-101	遺構1	瓶	透明	4.4	4.6	3.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、口部ネジ式	外底部陽刻:「★」 「5178」 「B」	完形
106-102	遺構1	瓶	透明	4.4	4.4	3.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、口部ネジ式、附着物は黒色やや粘性で皮膜状	外底部陽刻:「★」 「5178」 「B」	完形
106-103	遺構1	糊瓶	青緑透明	5.6	5.4	2.8	気泡有り、型合わせ目無し、口部ネジ式		完形
107-104	遺構1	薬瓶	透明	2.8	5.5	14.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り(上から)「二百」「百五十」「百」「五十」、裏面陽刻:丸囲みに社名「植木製」	4/5
107-105	遺構1	薬瓶	透明	2.3	-	(8.5)	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	不明
107-106	遺構1	薬瓶	透明	2	4.2	10.0	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り、「新井醫院」	完形
107-107	遺構1	薬瓶	透明	1.8	3.6	8.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、上部部欠損しているがコルク栓(口径1.1、高:1.5cm)	正面陽刻:目盛り、裏面:「中嶋児科院」、底部陽刻有り	完形
107-108	遺構1	薬瓶	透明	1.6	3.9	8.8	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り、枠	完形
107-109	遺構1	薬瓶	透明	1.8	4.0	8.6	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り、枠	完形
107-110	遺構1	薬瓶	淡緑透明	1.6	3.2	7.1	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	完形
107-111	遺構1	薬瓶	透明	1.6	3.2	6.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	完形
107-112	遺構1	薬瓶	透明	1.6	3.2	7.1	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	完形
107-113	遺構1	薬瓶	淡緑透明	1.6	2.7	5.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓(口径1.0、高:1.7cm)付き、内部に黄白色クリーム状残存物	正面陽刻:目盛り	完形
107-114	遺構1	薬瓶	淡緑透明	1.5	2.6	6.1	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	完形
107-115	遺構1	薬瓶	透明	1.5	2.7	5.9	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	ほぼ完形
107-116	遺構1	薬瓶	淡緑透明	1.5	2.6	6.0	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:目盛り	完形
107-117	遺構1	メスシリンダー	透明	3.2	3.4	8.8	気泡有り、型合わせ目無し、サンドブラスト技法(目盛・文字)	目盛り(上から):「1CL」「10」「5」「■」「■」 YTOセ	4/5
107-118	遺構1	メスシリンダー	透明	3.0	3.6	6.6	気泡有り、型合わせ目無し、サンドブラスト技法(目盛・文字)	目盛り(上から):「1CL」「10」「7」、裏面:「東京Sセ」「■一瀬」	完形
107-119	遺構1	小瓶	透明	2.3	2.3	4.7	気泡有り、型合わせ目無し		完形
107-120	遺構1	スポイト	透明	0.8	-	(6.8)	気泡有り、型合わせ目無し	ローテ製薬	1/2
107-121	遺構1	薬瓶	藍色	1.5	2.0	7.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓付	正面陽刻:○にKY、「精々薬舖■■■」	完形
107-122	遺構1	薬瓶	透明	2.0	3.5	6.2	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:人物、「健脳丸」、裏面:「大阪」「丹平商會製」	完形
107-123	遺構1	薬瓶	透明	1.5	3.1	6.5	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:「大木製劑」	ほぼ完形
107-124	遺構1	薬瓶	透明	1.4	2.2	6.2	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:「東京尾澤製」、裏面:「全治水」	完形
107-125	遺構1	薬瓶	淡白	0.9	1.5	4.3	型合わせ目(口縁から底部)	正面陽刻:「田尻ケレソート」	完形
107-126	遺構1	薬瓶	淡黄透明	1.2	1.6	4.8	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
107-127	遺構1	薬瓶	透明	1.6	2.5	5.8	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		4/5
107-128	遺構1	薬瓶	淡水透明	1.8	2.4	5.7	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、コルク栓付		完形

図版 番号	出土 遺構	器種・器形	色調	法量				技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
				口径	底径	器高				
107-129	遺構 1	薬瓶	淡黄透明	1.6	2.1	5.5		気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 コルク栓（径：0.8、高1.1cm）付		完形
107-130	遺構 1	薬瓶	淡緑透明	1.1	1.5	4.9	最大径 1.6	気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 器形やや歪む		完形
108-131	遺構 1	薬瓶	透明	1.6	2.9	6.1		気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）	正面陽刻：「参天堂薬房」、裏面：「大學目薬」	完形
108-132	遺構 1	薬瓶	透明	1.6	2.9	6.1		気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）	正面陽刻：「参天堂薬房」、裏面：「大學目薬」	完形
108-133	遺構 1	目薬瓶	藍色	1.5	2.6	5.6		気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）	正面陽刻：「本舗山田安民」、裏面：「ロート 目薬」	完形
108-134	遺構 1	薬瓶	透明	1.0	-	5.2		型合わせ目（口縁から底部）	丸薬入れ	ほぼ完形
108-135	遺構 1	瓶	藍色	瓶 1.6 容器 2.4	1.8 2.8	5.2 5.5		気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 木表に棘のようなものあり	木製カバー付	完形
108-136	遺構 1	プレス硝子	淡緑透明	蓋 11.3 身 (12.6)	- -	6.1 -		(蓋) 取っ手部分に型合わせ目、蓋・身： ダイヤと放射線で構成された模様		2/5
108-137	遺構 1	プレス硝子	淡黄透明	蓋 9.2 身 9.2	- 4.5	4.1 5.1		(蓋) 取っ手部分に型合わせ目、蓋・身： 花の意匠、外底：菊科の花の陽刻		
108-138	遺構 1	プレス硝子	青透明	-	-	(2.6)		合わせ目無し、ダイヤと放射線で構成さ れた模様		口縁小片
108-139	遺構 1	プレス硝子 (小鉢)	淡水透明	-	-	(2.9)		合わせ目無し、花と放射線で構成された 模様		底部小片
108-140	遺構 1	プレス硝子 (小皿)	透明	9.8	5.0	1.6		合わせ目無し、内面：無文、外面：放射 線を基調とした模様		1/2
108-141	遺構 1	ガラス容器 の蓋	透明	8.7	-	5.6	最大径 9.5	気泡有り、合わせ目無し		2/3
108-142	遺構 1	ランプ シェード		-	-	(5.2)		合わせ目無し、無色透明地に白ストライ プ模様、縁から内側に向かって赤色のボ カシ		不明
109-143	遺構 1	ガラス コッ プ	透明	(6.4)	-	(5.2)		気泡有り、合わせ目無し		口縁小片
109-144	遺構 1	グラス	透明	-	-	(1.5)		気泡有り、合わせ目無し、印字有り	金字：「サッポロビール」、マーク、 「SAPPORO BEER」	口縁小片
109-145	遺構 1	ボトル?	茶透明	-	-	-		気泡有り、合わせ目無し、印字有り	陽刻：「VALE」「M」後に文字続く可能性 高い	不明
109-146	遺構 1	グラス	淡緑透明	4.8	4.8	8.8		気泡有り、合わせ目無し、サンドブラス ト技法（葡萄の模様）		4/5
109-147	遺構 1	グラス	透明	5.4	3.6	4.4		気泡有り、合わせ目無し、上絵付け（模 様不明）		1/3
109-148	遺構 1	グラス（脚 部）	透明	-	-	(2.4)		気泡有り、合わせ目無し		不明
109-149	遺構 1	グラス（底 部）	透明	-	4.0	(1.2)		気泡有り、合わせ目無し		不明
109-150	遺構 1	不明（隅丸）	透明	7.8	8.0	2.5		気泡有り、合わせ目無し、高台状の底部		完形
109-151	遺構 1	不明（隅丸）	透明	-	-	(2.3)		気泡有り、合わせ目無し、高台状の底部	内底部中央：エンボス模様有り	不明
109-152	遺構 1	ランプ シェード	乳白色	10.4	-	-		合わせ目無し		不明
109-153	遺構 1	ランプ シェード	乳白色	-	-	(2.5)		合わせ目無し		不明
109-154	遺構 1	用途不明	乳白色	-	6.0	(5.2)		合わせ目無し		不明
109-155	遺構 1	ランプの部 品	淡黄透明	3.3	1.8	3.3	最大径 3.7	気泡有り、合わせ目無し		2/3
109-156	遺構 1	ランプの部 品	乳白色	-	(2.0)	(1.8)		合わせ目無し、底部ネジ式		不明
109-157	遺構 1	用途不明	淡緑透明	-	-	(2.6)	最大径 2.8	気泡有り、合わせ目有り		不明
109-158	遺構 1	ランプ燃料 入れ	青緑透明	-	-	(4.8)	最大径 6.4	気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 取っ手後付		不明
109-159	遺構 1	ランプ燃料 入れ	淡緑透明	-	-	(5.0)	最大径 (6.0)	気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 取っ手後付		不明
109-160	遺構 1	ランプ燃料 入れ	淡緑透明	-	-	(4.2)	最大径 5.3	気泡有り、型合わせ目（口縁から底部）、 取っ手後付		不明
109-161	遺構 1	棒状ガラス	透明	長 18.4	径 0.7			気泡有り、振りあげ、調度品（すだれ） か		不明
109-162	遺構 1	棒状ガラス	透明	長 (14.9)	径 0.7			気泡有り、振りあげ、調度品（すだれ） か		不明
109-163	遺構 1	棒状ガラス	透明	長 19.0	径 0.5			気泡有り、振りあげ、調度品（すだれ） か		不明
109-164	遺構 1	棒状ガラス	透明	長 (13.2)	径 0.5			気泡有り、振りあげ、調度品（すだれ） か		不明
110-165	遺構 1	瓶	透明	-	-	(8.5)		人型、気泡有り、型合わせ目（口縁から 底部）	背面陽刻：「小松」「登」、小松崎製か	2/3
110-166	遺構 1	瓶	淡緑透明	-	2.3	5.8		達磨型、気泡有り、型合わせ目（口縁か ら底部）、底部ネジ式	背面陽刻：「小松崎製」	完形
110-167	遺構 1	瓶	透明	-	2.3	9.3		犬型、気泡有り、型合わせ目（口縁から 底部）、底部ネジ式、金属片残る	背面陽刻：「小松崎製」	完形
110-168	遺構 1	石ケリ	白緑色	径 7.7	-	厚 0.7		表面中央陽刻：結梗に流水文 底部：擦 れ痕		完形

図版 番号	出土 遺構	器種・器形	色調	法量				技法／文様／その他	備考	遺存度
				口径	底径	器高				
110-169	遺構1	石ケリ	白緑色	径7.2	-	厚0.7		表面中央陽刻：桔梗に流水文 底部：擦れ痕		完形
110-170	遺構1	石ケリ	青透明	径(7.5)	-	厚0.8		気泡有り、表面中央陽刻：桔梗に流水文 底部：擦れ痕		1/2
110-171	遺構1	石ケリ	水透明	径(7.2)	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：桔梗に流水文		1/3
110-172	遺構1	石ケリ	緑透明	径(7.4)	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：不明文様		2/3
110-173	遺構1	石ケリ	薄緑透明	-	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：不明文様 底部：擦れ痕		不明
110-174	遺構1	石ケリ	淡緑透明	径7.2	-	厚0.9		気泡有り、表面中央陽刻：花菱文 全面：擦れ痕		完形
110-175	遺構1	石ケリ	緑透明	径6.8	-	厚0.8		気泡有り、表面中央陽刻：旗の中に掬・桜花・波		完形
110-176	遺構1	石ケリ	白緑色	-	-	厚0.7		表面中央陽刻：桔梗に流水文		不明
111-177	遺構1	石ケリ	緑透明	径(4.8)	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：桔梗に流水文 全面擦れ痕		1/2
111-178	遺構1	石ケリ	緑掛かった透明	径4.6	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：旗の中に掬・桜花・波 全面擦れ痕		完形
111-179	遺構1	石ケリ	茶透明	径5.1	-	厚0.95		気泡有り、表面中央陽刻：笹竜胆 全面：擦れ痕		完形
111-180	遺構1	石ケリ	青透明	径(4.85)	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：笹竜胆か		1/2
111-181	遺構1	石ケリ	水透明	径3.5	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：5弁の花 全面擦れ痕		ほぼ完形
111-182	遺構1	石ケリ	茶透明	径3.3	-	厚0.7		気泡有り、表面陽刻：文様不明 粗悪品		完形
111-183	遺構1	石ケリ	白緑色	-	-	厚0.65		表面中央陽刻：文様不明		不明
111-184	遺構1	石ケリ	青透明	径(4.2)	-	厚0.7		気泡有り、表面中央陽刻：梅 裏面：擦れ痕		1/2
111-185	遺構1	おはじき	青透明	長径2.0	短径1.8	厚0.4		気泡有り、表面一部窪む		完形
111-186	遺構1	おはじき	淡緑透明	長径1.4	短径1.3	厚0.3		気泡有り、表面一部窪む		完形
111-187	遺構1	おはじき	黄緑透明	長径1.5	短径1.5	厚0.3		気泡有り、表面一部花形に窪む		完形
111-188	遺構1	おはじき	黄緑透明	長径1.6	短径1.5	厚0.4		気泡有り、表面一部窪む		完形
111-189	遺構1	おはじき	淡緑透明	長径1.6	短径1.5	厚0.4		気泡有り、表面一部窪む		完形
111-190	遺構1	おはじき	青透明	長径1.5	短径1.3	厚0.5		気泡有り、合わせ目有り		完形
111-191	遺構1	おはじき	乳白色	長径1.6	短径1.4	厚0.3		気泡有り、合わせ目有り		完形
111-192	遺構1	おはじき	青透明	長径(1.3)	短径1.3	厚0.4		気泡有り、合わせ目有り		ほぼ完形
111-193	遺構1	A玉	淡緑透明	径1.8	-	厚1.8		気泡有り、全面擦れ痕		完形
111-194	遺構1	B玉	淡緑透明	径1.7	-	厚1.7		気泡有り、加工時の切断痕		完形
111-195	遺構1	B玉	淡緑透明	径1.8	-	厚1.8		気泡有り、全面擦れ痕、加工時の切断痕		完形
111-196	遺構1	B玉	淡緑透明	径1.8	-	厚1.8		気泡有り、加工時の切断痕		完形
111-197	遺構1	B玉	青透明	径1.5	-	厚1.5		気泡有り、全面擦れ痕、加工時の切断痕		完形
111-198	遺構1	B玉	暗緑透明	径1.6	-	厚1.6		気泡有り、加工時の切断痕		完形
111-199	遺構1	瓶	淡緑透明	3.8	5.2	12.6		気泡有り、合わせ目無し		完形
111-200	遺構1	小瓶	濃青緑透明	1.5	3.0	8.6		気泡有り、合わせ目無し、頸部重む		完形
111-201	遺構1	小瓶	緑青色透明	1.5	2.9	8.6		気泡有り、合わせ目無し、頸部重む		完形
111-202	遺構1	瓶	透明	2.9	3.9	7.8		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
111-203	遺構1	瓶	透明	2.7	4.5	7.8		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
111-204	遺構1	瓶	透明	2.0	3.7	7.0		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	外底部陽刻：「D」	完形
111-205	遺構1	小瓶	透明	2.0	3.15	6.9		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
111-206	遺構1	小瓶	透明	2.8	3.5	6.5		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、内面煤付着		完形
111-207	遺構1	瓶	淡黄透明	2.7	3.5	6.4		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)		完形
111-208	遺構1	瓶	茶透明	(2.8)	3.0	(8.0)		気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)、口縁ネジ式	外底部陽刻：「RK」	ほぼ完形
112-209	遺構1	瓶	淡青緑透明	2.8	-	(3.0)		気泡有り、型合わせ目無し		口縁部小片
112-210	遺構1	薬瓶	茶色	2.4	-	(4.3)		気泡有り、型合わせ目無し		口縁部小片
112-211	遺構1	瓶?	透明	-	3.4	(2.3)		気泡有り、型合わせ目無し		底部小片
112-212	遺構1	瓶	透明	1.3	1.6	5.1	幅2.4	気泡有り、型合わせ目(口縁から底部)	胴部陰刻：滴模様、胴部陽刻：「C」、底部陽刻：「1176」	ほぼ完形
112-213	遺構1	哺乳瓶栓	透明	φ(3.4)	-	2.9		型合わせ目、蓋部ネジ式、中央穿孔有り	上面陽刻：「HONIUKI ☆ K ☆」	完形
112-214	遺構1	ガラス栓	淡黄透明	1.4	下径1.2	3.4	摘径2.8	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部クリスタルカット 隅切り型 栓部擦り痕		ほぼ完形
112-215	遺構1	ガラス栓	透明	1.2	下径1.0	2.7	最大径3.2	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部円形、栓部擦り痕		ほぼ完形
112-216	遺構1	ガラス栓	透明	口2.0	下径1.6	3.1	最大径3.2	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部エンボスで模様、栓部に孔が開けられているが貫通していない		ほぼ完形
112-217	遺構1	化粧瓶栓	淡黄透明	-	2.0	4.4	摘最大径2.0	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部楕円球形、栓底部中心に窪み、栓部擦り痕		ほぼ完形
112-218	遺構1	化粧瓶栓	透明	-	1.4	3.8	摘最大径2.0	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部球形、栓部擦り痕		ほぼ完形
112-219	遺構1	ガラス栓	透明	-	1.8	4.0	摘最大径2.0	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部擬宝珠型 栓部擦り痕		完形

図版 番号	出土 遺構	器種・器形	色調	法量				技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
				口径	底径	器高				
112-220	遺構 1	ガラス栓	透明	-	4.8	4.0	摘・横 3.2	気泡有り、型合わせ目無し、栓部擦り痕 (密閉状であるが中に液体とピンク状の物質が入る)、栓頭部半円盤状の摘付く(後付け)		完形
112-221	遺構 1	白粉瓶栓	透明	-	3.6	4.1	摘最大径 1.8	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部球形、 栓底部突起有り、栓部擦り痕		完形
112-222	遺構 1	白粉瓶栓	透明	-	3.2	4.2	摘最大径 1.8	気泡有り、型合わせ目無し、栓頭部楕円 球形、栓底部突起あり、栓部擦り痕		完形
112-223	遺構 1	白粉瓶栓	透明	-	2.6	2.8	摘最大径 2.4	気泡有り、型合わせ目無し、栓底部やや 丸味を帯びる、栓部擦り痕		完形
112-224	遺構 3	板ガラス	淡青緑透明	直径 6.2	-	厚 0.4		気泡無し、中央に向かい厚くなる	円形	完形
112-225	遺構 3	板ガラス	淡青緑透明	直径 4.6	-	厚 0.15		気泡無し、板状ガラス製品	円形	完形
112-226	遺構 3	板ガラス	淡青緑透明	直径 3.5	-	厚 0.1		気泡無し、板状ガラス製品	円形	完形
112-227	遺構 3	板ガラス	淡青緑透明	-	-	厚 0.2		気泡無し、板状ガラス製品	八角形	不明
112-228	遺構 1	板ガラス	淡青緑透明	-	-	厚 0.1		気泡無し、板状ガラス製品	楕円形	不明

表 12 近代遺構出土石製品観察表 (単位: cm)

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	法量				備考	遺存度
				長さ	幅	高さ	重さ		
113-1	遺構 1	石製品	硯	7.8	4.8	高 1.3	101.9g	墨池の縁に朱墨が残存、硯縁に陰刻による模様がある、松か?	4/5
113-2	遺構 1	石製品	硯	[7.9]	4.3	高 1.0	51.6g	墨丘中央を除くほぼ全面に朱墨付着、朱の上に墨、硯陰窪む	3/5
113-3	遺構 1	石製品	碁石(黒)	径 2.2		0.6		中央に向かって厚くなる	完形品
113-4	遺構 1	石製品	碁石(黒)	径 1.5 ~ 1.6		0.3		側面面取り	完形品
113-5	遺構 1	石製品	碁石(黒)	径 1.4 ~ 1.5		0.25		側面面取り	1/2
113-6	遺構 1	土製品	碁石(白)	径 1.7		最大 0.75		中央に向かって厚くなる、表面に白色顔料	完形品
113-7	遺構 1	土製品	碁石(白)	径 1.8		最大 0.6		中央に向かって厚くなる、表面に白色顔料	完形品
113-8	遺構 1	石製品	碁石?	径 1.8 ~ 2.0		0.7		赤褐色	
113-9	遺構 1	骨角製品		径 2.6		0.15		茶褐色	
113-10	遺構 1	石製品	碁石(白)	径 2.1		0.3 ~ 0.4		側面面取り	完形品
113-11	遺構 1	石製品	ボールミル?	φ 3.7				本来球状と思われる。大理石、灰白色。中央は帯状に厚く鉄分付着	
113-12	遺構 1	石製品	ボールミル?	φ 3.9				本来球状と思われる。大理石、灰白色	
113-13	遺構 1	石製品	砥石 不明	6.3	6.3	4.8		荒砥 砂岩 産地不明 粗研ぎ	
113-14	遺構 1	石製品	砥石 笹口	8.4	7	2.8		荒砥 砂岩 笹口砥 粗研ぎ	
113-15	遺構 1	石製品	砥石 不明	8.7	3.3	2.3		中砥 凝灰岩(安山岩質) 産地不明 中研ぎ	
113-16	遺構 1	石製品	砥石 合掌寺	2.9	4.4	2.7		中砥 凝灰岩 静岡県大仁町合掌寺・合掌寺のアオ 中研ぎ	
113-17	遺構 1	石製品	砥石 合掌寺	3.8	4	1.8		(仕上砥) 凝灰岩 静岡県大仁町合掌寺・合掌寺のシロ 仕上研ぎ	
113-18	遺構 1	石製品	砥石 合掌寺	2.5	2	1.6		中砥 凝灰岩 静岡県大仁町合掌寺・合掌寺のアオ 中研ぎ	
113-19	遺構 1	石製品	砥石 上野	6.6	6	1.1		仕上砥 頁岩 上野産・沼田砥 仕上研ぎ	
113-20	遺構 1	石製品	砥石 上野	14.8	6.8	4.7		仕上砥 凝灰岩 上野産・砥沢砥 中砥ぎ~仕上研ぎ	
114-21	遺構 1	石製品	砥石 鳴滝	15.1	4.8	3.2		仕上砥 頁岩 鳴滝産・奥殿(内曇)系 仕上研ぎ	
114-22	遺構 1	石製品	端材石 鳴滝?	8.8	5.6	0.3		硯?スレート? 黒色粘板岩 鳴滝産?若王子?	
114-23	遺構 1	石製品	端材石 雄勝	4.3	4.3	0.5		屋根瓦?スレート? 雄勝町 玄昌岩 端材 頁岩	
114-24	遺構 1	石製品	端材石 牡鹿	15.7	5.7	2		敷石スレート 牡鹿 稲井石 端材 頁岩	
114-25	遺構 1	石製品	徒の石	3.9	3.7	1		凝灰岩	
114-26	遺構 1	石製品	石材	3.3	2.7	2.5		工業用石材 石灰岩質 全面に電鋸痕あり 三角錐状	
114-27	遺構 1	石製品	石材	3.8	1.8	2.3		工業用石材 石灰岩質 全面に電鋸痕あり 三角錐状	
114-28	遺構 1	石製品	石材	2.9	1.3	1.5		工業用石材 石灰岩質 端材か	
114-29	遺構 1	石製品	人造石	5.7	1.8	1.8		ロウ石様の混じり物	
114-30	遺構 1	石製品	石	5.5	4.8	2		貝粉が混じる	
114-31	遺構 1	石製品	石筆	[3.0]	径 0.6			材質不明、端部尖る	不明

表13 近代遺構出土金属製品 観察表 (単位: cm)

図版 番号	出土 遺構	材質	器種	法量				備考	遺存度
				口径	底径	器高	厚		
115-1	遺構1	ホーロー	鍋(身)	(18.0)	-	(14.5)	厚 (0.1)	底部欠損、取手欠損し接合部のみ残す、腐蝕著しい	3/5
115-2	遺構1	ホーロー	鍋(蓋)	17.1	-	7.2	最大径 19.1	本体内外面、淡群青色	完形
115-3	遺構1	ホーロー	鍋(鍋)	20.5	12.4	7.5		内面:白、外面黒褐色	ほぼ完形
115-4	遺構1	ホーロー	杓	(9.4)	-	(2.5)		8個孔があけられている、内外共に白	不明
115-5	遺構1	ホーロー	蓋の耳部 (取手)?	長(4.9)	幅(7.3)			3個孔があけられている、黒褐色、汐留遺跡Ⅲ第4分冊のP176、第117図6・7・8に同型のものあり	不明
115-6	遺構1	ホーロー	蓋の耳部 (取手)?	長(6.0)	幅(3.5)			3個孔があけられている、黒褐色	不明
115-7	遺構1	ホーロー	杓子	径8.1	-	2.2		内外面白、柄の接合部痕あり	1/2
115-8	遺構1	ホーロー	杓子か?	径6.8	-	1.8		内外面:黒褐色	不明
115-9	遺構1	ホーロー	漏斗状	長(8.0)	幅(4.0)	3.0		全面著しい錆	不明
115-10	遺構1	ホーロー	杓	長(9.3)	幅(9.2)	1.6		内外面白	1/3
116-10	遺構1	ホーロー	移植鉢または スコップ	長(18.5)	幅(12.7)	素材の厚み (0.15)	取手の径 (2.3)	全面著しく錆びている、柄欠損	1/3
116-11	遺構1	ホーロー	蓋	径7.6	-	(2.1)		腐蝕が著しく、全体錆びている	不明
116-12	遺構1	ホーロー	蓋	8.4	-	2.7		内外面ともに茶色	不明
116-13	遺構1	ホーロー	フラスコ状	1.3	5.3	(6.0)		器形:薄い金属を張り合わせて形成、底部も同様にあとづけされている	不明
116-14	遺構1	ホーロー	円錐状	4.6	-	(9.5)		腐蝕が著しく、全体錆びている、内部空洞、薄い金属を張り合わせて成形している	不明
116-15	遺構1	鉄製品	用途不明品	長(26.0)	幅(10.2)	4.7		用途不明鉄製品、金属棒を針金で補強した痕跡有り	不明
117-16	遺構1	鉄製品	火皿類	径(21.0)	-	5.0		全体錆びている	1/3
117-17	遺構1	鉄製品	火皿	径(13.0)	-	厚0.4		全体錆びている	1/2
117-18	遺構1	鉄製品	火皿	径(12.3)	-	厚0.4		全体錆びている	3/4
117-19	遺構1	鉄製品	火皿	径9.4	-	厚0.5		全体錆びている	4/5
117-20	遺構1	鉄製品	サク(糞)	長(7.6)	幅(10.0)	厚(0.6)		全体錆びている	不明
117-21	遺構1	鉄製品	五徳	径18.7	-	7.5		全体錆びている	完形
117-22	遺構1	鉄製品	火皿類	長(18.7)	幅(4.7)	厚(0.6)		側面面取り、全体錆びている、用途不明	不明
118-23	遺構1	銅製品	一銭	径27.8	-	厚0.2		龍一銭(明治19年)	完形
118-24	遺構1	銅製品	一銭	径27.8	-	厚0.2		稲一銭(明治34年)	完形
118-25	遺構1	銅製品	メダル	長3.7	幅3.0	厚0.2		表面:鳳凰と十字・花と植物。裏面陽刻「明治三十七年戦没」救護記念章「日本赤十字社」	完形
118-26	遺構1	金属製品	ボタン	径1.4	-	厚0.6		表面桜模文、裏面文様不明 大日本帝国(海軍制服)	完形
118-27	遺構1	金属製品	ボタン	径1.2	-	厚1.0		表面桜模文、裏面環状の単文様と星 大日本帝国(海軍制服)	完形
118-28	遺構1	金属製品	ボタンか	径2.3	-	厚0.2		表裏面:菊水文か	完形
118-29	遺構1	銅製品	装飾品	径2.2	-	厚0.1		文様不明	不明
118-30	遺構1	アルミ製	容器(薬入れ) (蓋)	径2.2	-	高0.3		表面陰刻:「大日本 守田氏製 登録商標 起死回生 寶丹」守田治兵衛商店	1/2
118-31	遺構1	アルミ製	容器(薬入れ)	径1.8	-	(蓋)高0.3 (身)高0.45 (総高)0.6		表面陰刻:「大日本 守田氏製 登録商標 起死回生 寶丹」守田治兵衛商店	完形
118-32	遺構1	金属製品	用途不明	-	-	高3.6		表面陽刻:「JAPAN」、扇、○	不明
118-33	遺構1	金属製品	王冠	径上2.7	底3.2	高0.9		金属製王冠、内部にコルク、頂部中央にロゴ、内周「MUNCHENER」、外周「PA ■ I ■ F ■ NY_ ■ 40」、ドイツビールのビール瓶の栓か?、腐食激しい	不明
118-34	遺構1	金属製品	王冠	径上(2.4)	底(2.8)	高0.7		金属製王冠、内部にコルク外周、剥離が激しく詳細は不明	不明
118-35	遺構1	金銅製品	がま口	高3.0(含出玉)	最大幅9.9	厚0.2~0.3		2口の口金(玉3点)	不明
118-36	遺構1	金銅製品	がま口	高3.0(含出玉)	最大幅5.2	厚1.5		片側の玉は欠損	不明
118-37	遺構1	金属製品	莖莢	長6.5	底径2.3	径2.1	厚0.3	底部陰刻:「WINCHESTER N°_12」	1/2
118-38	遺構1	金属製品	莖莢	-	底径1.9	高1.1	最大径2.1	上面陰刻:「LONDON ELEY N°_16」	不明
118-39	遺構1	金属製品	莖莢	-	底径1.9	高0.8		上面陰刻:「LONDON ELEY N°_16」	不明
118-40	遺構1	金属製品	煙管 (吸口+羅字)	(吹口)長6.8	径0.7	高(1.1)	最径大径1.1	銅合金+竹	不明
118-41	遺構1	金属製品	煙管	長(7.3)	幅(1.0)	厚(1.4)		2枚の板を貼り合わせて成形	不明
118-42	遺構1	金属製品	寒暖計	縦19.5	横3.0	厚0.1		大小合わせて9点の孔あり、表面:陰刻「C」「E」、目盛りと数字、裏面:無文	ほぼ完形
118-43	遺構1	金属製品	ハーモニカ	長11.2	幅3.1	高(1.5)		銅版と銅版の間に、木製コームが入る、コーム以外は全て銅製、斜線はリードプレートが残存している箇所	不明
118-44	遺構1	金属製品	腕時計	時計部 径(4.1) カバー 径約3.3	時計部 厚さ0.5 カバー厚1.5			(時計部)表面 ローマ数字による文字盤 (カバーガラス)裏面 汚れ、ここに針があたっていた、ベルト金具、(針)長1.7、厚1.0	不明
118-45	遺構1	金属製品	小鉤	長1.7	-	厚0.5		2ヶ所穿孔有り	不明
118-46	遺構1	鉄製品	鉄	長(15.5)	幅(2.8)	厚(1.0)		持ち手部分が切れてしまっているが、ほぼ原型を留めている	ほぼ完形
118-47	遺構1	鉄製品	鉄	長(8.9)	幅(0.8)	厚(0.5)		右側のみ残存、錆びている	1/2
118-48	遺構1	金属製品	留め金?	縦2.3	横4.7	厚0.4	中心孔 0.9*0.9	用途不明、鉄製品ではない、孔を中心に模様が刻まれている	不明
118-49	遺構1	金属製品	円形カバー?	直径2.5	-	厚0.1		用途不明、真鍮か?、変形している	不明
118-50	遺構1	鉄製品	車輪状	径4.0	-	厚0.2		細い金属棒を中央の金具に集中させているが、貫通させず溶接	不明
118-51	遺構1	鉄製品	発条	-	-	高3.1		釘の様な物に金属製テープが巻き付けられている	不明
118-52	遺構1	金属製品	用途不明	径2.7	-	(高)1.3		ベル状に成形している、天井部破損	不明
118-53	遺構1	金属製品	用途不明	縦2.6	横2.3	厚0.1		ドーム状に成形、天辺に穴穿つ	不明
119-54	遺構1	金属製品	簪	長14.1	幅0.4	厚0.2	玉の径1.3	玉の部分は別素材(不明)、面取りの跡有り、金属部に刺さる	完形
119-55	遺構1	金属製品	簪	長(14.1)	幅(0.5)	厚(0.3)		金属部二股に分かれる部分のみ厚い、他非常に薄い	不明



119-56	遺構 1	金属製品	簪	長 (13.1)	幅 (0.4)	厚 (0.4 ~ 0.15)		胴部六角形を呈す、下部円形に凹状が3つつけられている	不明
119-57	遺構 1	アルミ製	スプーン	長 6.1	-	0.5		一枚の金属板を加工し成形している	完形
119-58	遺構 1	金属製	籠状金属製品	長 (6.7)	径 0.4			鉄、銀鍍金を施す 裏面に刻印「METAL FERRF」間に錠のようなマークが入る	不明
119-59	遺構 1	金属製	匙	長 (8.6)	幅 (3.0)	厚 (0.1)		先端と柄欠損	2/3
119-60	遺構 1	金属製品	連華	長 (8.2)	幅 (4.2)	(0.9)		内外面白色	1/2
119-61	遺構 1	金属製品	器種不明	長 (7.7)	幅最大 1.4	厚最大 1.0		金属に木材が張り付いている、金属部 2ヶ所細い棒状の部分が飛び出る	不明
119-62	遺構 1	鉄製品	器種不明	長 22.6	幅 1.4	厚 0.4		へら状の金属板、端部とがる	不明
119-63	遺構 1	鉄製品	鍵	長 (7.5)	幅 (5.2)	厚 (1.1)		南京錠、引っかける部分片側のみ固定される、鍵穴開く	不明
119-64	遺構 1	鉄製品	鍵	長 (6.1)	幅 (4.7)	厚 (1.1)		片面 2ヶ所脚のような突出部有り、1ヶ所孔有り	不明
119-65	遺構 1	鉄製品	鍵	長 (6.1)	幅 (4.8)	厚 (0.8)		片面 2ヶ所脚のような突出部有り、1ヶ所孔有り	不明
119-66	遺構 1	金属製品	器蓋	縦 8.9	横 6.8	厚 0.5		牡丹と蝶の陽刻	不明
119-67	遺構 1	金属製品	襖引手	縦 7.6	横 6.4	厚 1.1		鳥と水草の陽刻 上下の断面中央に釘の穴あり	ほぼ完形
119-68	遺構 1	金属製品	襖引手	縦 7.2	横 2.4	厚 0.9		上下の断面中央に釘の穴あり	ほぼ完形
119-69	遺構 1	金属製品	ケース	縦 9.5	横 9.0	1.0		薄い、内外面の一部金色・朱色残る	不明
119-70	遺構 1	金属製品	用途不明品	長 (11.5)	幅 (6.4)	高 (2.1)		内外面錆、内面附着物多い	不明
119-71	遺構 1	金属製品	容器	長 (9.8)	幅 (2.5)	高 (0.9)		内外面錆、内面附着物多い	不明
119-72	遺構 1	金属製品	ケース	長 (9.0)	幅 (6.5)	1.6		内外面：一部金色残る	不明
120-73	遺構 1	金属製品	板状小片	長 (9.5)	幅 (2.4)	厚 (0.1)		用途不明、薄い金属板	不明
120-74	遺構 1	金属製品	ネジ状	直径 1.5	幅 1.3	厚 0.1		用途不明、端部にネジ式有り、内部空洞	不明
120-75	遺構 1	鉄製品	自転車パーツ	長 (14.2)	幅 (3.7)	(4.5)		全面錆びている	不明
120-76	遺構 1	鉄製品	自転車ベダル	長 (10.1)	幅 (5.3)	厚 (5.1)		全面錆びる、金属板の間にゴム状の物質が挟まれている。金属板外側面、波状に加工されている	不明
120-77	遺構 1	鉄製品	ネジ	長 16.2	最大径 6.2	6.7		全体錆びている、下部のみネジ式の痕跡残る	完形
120-78	遺構 1		炭素棒?	本体 径 1.6 芯棒 径 0.5	長 - 長 (6.8)			用途不明、ボロボロの砂質状のものに金属棒がとりつけられている	不明
120-79	遺構 1		炭素棒?	本体 径 1.7 芯棒 径 0.7	長 - 長 (6.5)			用途不明、ボロボロの砂質状のものに金属棒がとりつけられている	不明
120-80	遺構 1	用途不明	金属棒ゴム付	金属部径 0.3 ゴム 径 1.6	長 9.7	厚 0.4 ~ 0.3		真鍮製か、先頭部円形のゴムが嵌め込まれて、中央に沈線が入る、先端部ネジ式	不明
120-81	遺構 1	プラスチック	円形カバー一把 手付	棒長 4.2 カバー直径 2.4		高 1.0		直径 0.2 貫通孔あり、棒の端部と円形の中心部はネジ式で接続できるようになっている	不明
120-82	遺構 1	プラスチック	円形カバー	直径 2.4		高 1.0 厚 0.2		外面模様有り、中心部に 0.3mm の貫通孔 内面ネジ式	不明
120-83	遺構 1	鉄製品	輪 鉄製	径 5.5	内径 3.0	厚 0.7		内外面酷く錆びている	不明
120-84	遺構 1	鉄製品	釘	長 8.4	幅 1.5	1.2		外面錆びている、先端部折り曲げられている	不明
120-85	遺構 1	金属製品	カバー?	長 13.5	幅 9.8	3.9		外面一部部品付着、他同じように部品が取り付けられていたと想定される孔 3ヶ所有り、中央にネジ型・楕円形の孔があげられている、内外面一部金色	不明
120-86	遺構 1	金属製品	輪	径 5.5	-	厚 0.5		針金が 2 挂、巻きついている	不明
120-87	遺構 1	金属製品	輪	径 5.7	-	厚 0.8		直径 1mm の穿孔 1 つあり	不明
120-88	遺構 1	木製品	用途不明品	長 5.6	幅 1.9	厚 1.4		木製部品に金属チップが挟み込まれている、金属片の中央に直径 1mm の穿孔あり、金属部のみ一部金色残る	不明
120-89	遺構 1	鉄製品	用途不明	縦 5.5	横 3.7	厚 0.4		暗赤色に酸化している、J 字状の金属に孔を通し金属製の輪を通して	不明
120-90	遺構 1	金属製品	用途不明	縦 2.9	横 0.9	0.25		針状の棒の先端に孔有り、孔には細い金属製の輪がつけられている	不明
120-91	遺構 1	金属製品	不明	長 (14.5)	幅 (1.3)	1.4		用途不明品、薄い板が山型に曲げられている	不明
120-92	遺構 1	鉄製品	S 字状	長 (10.5)	幅 (5.3)	素材径 (0.3)		金属の棒を S 字状に成形したもの	不明
120-93	遺構 1	金属製品	飾金具	径 (6.0)	-	厚 (0.05)		内側に 2 条の沈線残る、極薄い	不明
120-94	遺構 1	金属製品	S 状管	長 (5.5)	幅 (4.7)	-		番線を S 字状に加工したもの	不明
121-95	遺構 1	鉄製品	用途不明品	棒長 (21.5) 板縦 2.0	直径 (0.3) 横 (8.6)	厚 0.1		2 本の金属棒の端部が、金属板に金具で固定されている	不明
121-96	遺構 1	鉄製品	用途不明品	長 33.0	幅 1.5	厚 0.4		用途不明、1ヶ所穿孔あり、全面やや錆びている	不明
121-97	遺構 1	金属製品	鉤状 用途不明	全長 30.4 鍵部直径 0.1 持ち手長 13.7	直径 1.4			用途不明、細い鉤状の棒が木製の柄に取り付けられている	不明
121-98	遺構 1	鉄製品	用途不明品	長 13.1	幅 1.1 ~ 2.5	厚 0.1		用途不明 薄い板状の金属を折畳んでいる、全体錆びている	不明
121-99	遺構 1	鉄製品	用途不明品	長 -	幅 1.3	厚 0.3		用途不明 先端部貫通孔有り、輪状に曲げられている	不明
121-100	遺構 1	鉄製品	鏝	長 14.5	幅 0.8	厚 0.8		四角い金属棒の両端部を尖らせて折り曲げている	完形
121-101	遺構 1	鉄製品	鏝	長 13.1	幅 0.5	厚 0.6		四角い金属棒の両端部を尖らせて折り曲げている	完形
121-102	遺構 1	鉄製品	用途不明品	縦 5.7	横 5.5	厚 0.5	中心孔 2.0	中心部円形の孔が開けられている	不明
122-103	遺構 1	金属製品	洋傘本体	全長 74.0	-	-		支柱部木製、石突は金属製のカバーで覆われている、骨 10 本	不明
122-104	遺構 1	金属製品	洋傘本体	全長 (64.5)	支柱の径 (0.8)	-		石突き、下ロクロは金属製のカバーが付けられている、下はじき残存、骨 8 本	不明
122-105	遺構 1	金属製品	洋傘の柄か	長 (31.0)	径 (0.9)	最大径 (2.5)		金属製のカバーが付けられている	不明
123-106	遺構 1	鉄製品	雨樋の受け	受け：幅 10.7	高さ：17.8			板状の金属を U 字状に曲げ、軸部の金属（穿孔有り）が取り付けられている。	不明
123-107	遺構 1	鉄製品	雨樋の支え	受け：幅 18.0	高さ：11.6			板状の金属を U 字状に曲げ、軸部の金属（先端尖る）が取り付けられている。	不明
123-108	遺構 1	鉄製品	雨樋の支え	受け：幅 15.0	高 10.5			板状の金属を U 字状（穿孔有り）に曲げ、軸部の金属（先端尖る）が取り付けられている。	不明
123-109	遺構 1	鉄製品	雨樋の支柱	長 (14.8)	-			板状の金属を U 字状に曲げ、軸部の金属が取り付けられている。腐食激しい	不明
123-110	遺構 1	環頭製品		全長 86.0	-			先端中心を環頭状に、端部を U 字状に折り曲げている、用途不明	不明
123-111	遺構 1	鉄製品	灰ならし?	全長 20.0	最大幅 12.2	直径 0.5		金属棒 4 本を束ね、熊手状にし、鏝状の金属をとり付けている	不明
123-112	遺構 1	金属製品	衣紋かけ?	掛け部厚 0.4 取付部長 6.2	取付部厚 0.2			小花と唐草文様 裏面に接着痕有り	不明

123-114	遺構 1	鉄製品	フックねじ	長 9.9	径 1.9			金属製のフックにネジが取り付けられている	ほぼ完形
124-115	遺構 1	金属製品	輪	径 25.5	-			輪の内側に附着物があり、腐食が激しい	不明
124-116	遺構 1	金属製品	金網	全長 31.2	最大幅 22.0			金属丸棒を使って縁が整えられている	不明
124-117	遺構 1	環頭製品	器種不明	全長 34.0		厚 0.4		金属棒を U 字状に加工し、端部を環状に曲げている	不明
125-118	遺構 1	鉄製品	火箸か	長 50.0	径 0.5			先頭部環状 先頭部尖っている	1/2
125-119	遺構 1	環頭製品	火箸か	長 37.0	径 0.4			先頭部環状 先頭部尖っている	1/2
125-120	遺構 1	環頭製品	火箸	長 27.0	径 0.3			先頭部環状 先頭部尖っている	1/2
125-121	遺構 1	鉄製品	火箸	長 20.8	幅 0.5	厚 0.4		四角に鍛造	1/2
125-122	遺構 1	鉄製品	釘	長 10.0	胴部径 0.35			全体的に錆びている	完形
125-123	遺構 1	鉄製品	釘	長 12.3	胴部径 0.4			全体的に錆びている、一部付着物有、鏝状に曲げられている	完形
125-124	遺構 1	銅合金?	用途不明品	直径 11.0				金属帯状 (幅 0.7cm) が輪状につながる。	不明
125-125	遺構 1	不明	用途不明品	全長 40.0	径 0.4			金属棒を U 字状に加工している	不明
125-126	遺構 1	鉄製品	用途不明品	長 (77.0)	直径 0.4			用途不明、先頭部を輪状にし、接合部を細い針金で補強している	不明
125-127	遺構 1	金属製品	装飾のパーツ	直径 (3.7)	-	厚 (0.1)		蓋状、内側に不明文様有り	不明
125-128	遺構 1	金属製品	円盤状	縦 5.3	横 5.7	厚 0.05		薄い円盤状	不明

表 14 近代遺構出土木製品 観察表 (単位: cm)

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
126-1	遺構 1	荷札	18.2	5.9	1.0			墨書「相州鎌倉町扇ヶ谷観音山脇 本多家御別荘ニテ 本多正憲殿 志太郡廣幡村水守菊川晋一」、1ヶ所穿孔有り	
126-2	遺構 1	荷札	19.3	7.4	0.7			墨書「相州鎌倉 扇ヶ谷 斯波忠三郎様 行々」	
126-3	遺構 1	木札	19.0	4.7	0.5			墨書「相州鎌倉 扇ヶ谷 木村重■… 清水…」	
126-4	遺構 1	荷札	24.1	5.5	0.7			墨書「ハマ ○キ (○の中にキ) 三 大■ (雫か) 青茶バラ束■ (三か) 千■ (茶か) 四百入 ■ 内■■■■■六百■入り 新井」、1ヶ所穿孔有り	
126-5	遺構 1	荷札	13.5	5.1	1.2			墨書「鎌倉」、1ヶ所穿孔有り	
126-6	遺構 1	木札	15.0	3.4	0.9			墨書 (表)「」、(裏)「」	
126-7	遺構 1	荷札	8.0	11.5	0.4 ~ 0.8			墨書「」、1ヶ所穿孔有り	
126-8	遺構 1	荷札	12.6	4.5	0.5			上端部及び裏面被熱により炭化、墨書「■…」	
127-9	遺構 1	部材	12.1	3.5	0.4 ~ 0.7			墨書判読不能、1ヶ所穿孔有り	
127-10	遺構 2	部材	10.5	4.7	1.7			墨書「玩具車」、6ヶ所釘跡	
127-11	遺構 1	部材	13.0	6.0	0.7			墨書判読不能、表面に傷多数	
127-12	遺構 1	表札か	14.5	(3.4)	1.0			墨書 (表)「■■■」、(裏)「■■■ (堅か)」、表面は墨跡が盛り上がる	
127-13	遺構 1	部材	26.4	6.9	2.1			表面被熱により炭化、墨書判読不能、未完通孔 3ヶ所	
127-14	遺構 2	部材	16.8	8.2	1.5			焼印「御寿新」、側面に若干墨付着、木釘 2ヶ所他木釘が抜けた孔 4ヶ所	
127-15	遺構 1	部材	16.7	8.1	1.4			表面の一部被熱により炭化、裏面損傷激しい、焼印判読不能	
128-16	遺構 1	墨書赤色塗料 杓文字	(19.8)	(3.9)	0.9	1.8		柄部は赤色塗料で着色、柄の端部のみ無着色、3ヶ所釘跡	
128-17	遺構 1	漆塗り板(墨書)	9.1	8.3	1.1			孔 1点あり、漆は残存が不良、全面に塗っていたと思われる	
128-18	遺構 1	漆椀	10.2	4.6	6.4			外面黒漆、内面朱漆、高台内黒漆。蒔絵で亀・鶴・松 つぶれて歪んでおり、やや楕円形	
128-19	遺構 1	漆椀	9.0	4.4	5.8			外面黒漆、内面朱漆。朱漆は黒漆の上から施す。高台端部なし、高台内黒漆、外面には蒔絵により亀・鶴・松	
128-20	遺構 1	漆椀	12.0	7.2	5.1			底部と高台の境エリグリ、内側朱漆塗り、外面黒漆塗り、高台端まで黒漆	
128-21	遺構 1	漆椀	11.0	7.2	4.8			底部と高台の境エリグリ、内面朱漆、朱漆は黒の上から施す。外面高台端まで黒漆	
128-22	遺構 1	漆椀	10.2	5.4	5.0			全面黒漆、口縁端部及び隆起部に朱漆。外面は計 15 条の溝を彫る、それぞれの幅 4mm、高台はつくらず、底面を刮り抜く	
128-23	遺構 1	漆椀	-	-	(3.9)			内面朱漆、外面黒漆	
128-24	遺構 1	漆鉢	-	-	(3.5)			内底部及び外面漆剥離、内面黒漆、外面朱漆	
128-25	遺構 1	漆器・皿?	長 (6.5)	幅 (4.2)	厚 .0.3			赤漆	
128-26	遺構 1	漆器・皿?	高 (1.9)	幅 (5.2)	厚 .0.3			a・b は同一個体であろうが接合しない	
128-27	遺構 1	漆器・椀の蓋 か?	(10.0)	(2.5)	(2.9)			つまみ内部は、やや暗い赤、点は赤漆による文様、文様は不明、全面黒に近い紫色の漆で塗られる	
128-28	遺構 1	曲物底	(4.6)	(3.3)	(0.15)			片面のみ黒漆	

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
129-29	遺構 1	漆器 曲物底?	10.2	10.25	0.6 ~ 0.7			下地黒漆の上に朱漆。斜線は黒色付着物、黒塗りは朱漆の残存部、白ヌキは朱漆が明確に残る箇所	
129-30	遺構 1	桶蓋?	(22.5)	(10.2)	1.3			欠損が激しい。本来は円形。端部面取り、表裏および上端に黒漆、表面にはへの中に子が白系の顔料によって描かれる、金子か	
129-31	遺構 1	膳	28.8	25.5	4.8			(上面) 溝が全体に切り込まれている、(下面) 端削りを施し、脚を嵌め込む溝を彫りこむ。スレ目立つ。端々に木螺子(木釘か)の孔が穿たれ、底板端に孔。隅内側に刻みを入れて成形。全面黒漆。歪みが激しい。側板破損部を銚で補強	
129-32	遺構 1	方形板	15.8	17.2	0.7			黒漆。剝離著しい	
130-33	遺構 1	蒔絵	12.1	7.7	0.85	0.3		下地黒漆。赤色顔料と金泥により文様。器種不明。箱の蓋か	
130-34	遺構 1	用途不明	22.4	3.3	0.2			木地に葉脈を黒漆で、蔓草の葉を朱漆で描く。蔓は墨で生地に直接描く	
130-35	遺構 1	用途不明	(9.2)	(3.2)	0.2			木地に葉脈を黒漆で、蔓草の葉が朱漆で描く。蔓は墨で生地に直接描く	
130-36	遺構 1	棒状加工品	(7.8)	1.4	1.15			全面朱漆	
130-37	遺構 1	棒状加工品	(20.9)	1.4	1.2			全面朱漆	
130-38	遺構 1	棒状加工品	21.5	1.35	1.2			全面朱漆	
130-39	遺構 1	箱側板	18.8	2.6	0.5			両端に切り込み。全体黒漆。表面と側面に朱漆でマーブル状文様	
130-40	遺構 1	箱側板	18.3	2.5	0.5			両端に切り込み。全体黒漆。表面と側面に朱漆でマーブル状文様	
130-41	遺構 1	箱側板	12.3	2.6	0.5			両端に切り込み。全体黒漆。表面と側面に朱漆でマーブル状文様	
130-42	遺構 1	箸箱	19.4	2.3	1.7			両端、外側板に円形の痕跡有り法量は組み立て時のもの	
131-43	遺構 1	用途不明	(19.0)	2.0	0.5			梨地に朱漆で唐草模様	
131-44	遺構 1	用途不明	15.6	2.7	0.6 ~ 0.3			木地に本地?黒漆?痕有り、側面朱漆と一部梨地が残る	
131-45	遺構 1	用途不明	(12.1)	(2.2)	0.3			片面のみ黒漆残存	
131-46	遺構 1	団扇の把手	17.2	4.8	1.5	0.8		全体を黒漆、再度朱漆。柄下部には孔	
131-47	遺構 1	団扇の把手	14.5	4.8	1.7	0.8		全体に黒漆。柄下部には孔	
131-48	遺構 1	団扇の把手	(10.5)	-	1.75	0.55		全体に黒漆。柄下部には孔	
131-49	遺構 1	団扇の把手	(8.2)	-	(1.5)	0.7		全体に黒漆。柄下部には孔	
131-50	遺構 1	団扇の把手	(4.3)	-	-	0.6		全体に黒漆。	
132-51	遺構 1	蒸籠か?	33.0	6.3	2.0			内側底部に横棒を掛けるための彫り3箇所。側板2重、から3重。側板を桜皮で留める。植物を燃った紐残存。	
133-52	遺構 1	曲物	10.6	2.3	0.6	0.5	0.1	蓋の中央1箇所、外底部3箇所(中央のみ貫通)に木釘痕。桜皮0.5~0.7mm	
133-53	遺構 1	曲物	8.0	3.5	-	0.3	0.1	外底部3箇所(中央のみ貫通)に木釘痕。桜皮0.2~0.5mm。内部残存物の影響で内面及び内底面が紫色、紫色。表面が黄白色~黒褐色に。	
133-54	遺構 1	曲物	15.4	7.0	12.4	1.0	0.8	内面赤色の上に黒色の漆またはペンキで着色。口縁には赤色と白色が付着。外面も一部赤色。外底中央に木釘痕。変形激しく、付着物厚い	
134-55	遺構 1	結物	16.0	14.4	7.1	0.6	0.8 ~ 0.6	側板底面より2.5cmの高さに底板を張る。脚用の削りが3箇所、間隔は不規則	
134-56	遺構 1	結物側板	(11.0)	6.5	(12.0)	-	0.5 ~ 0.7		
134-57	遺構 1	結物側板	-	5.4	-	-	0.4 ~ 0.6		
134-58	遺構 1	結物側板	(7.6)	21.7	(7.8)	-	0.8 ~ 0.2	重ねあわせるよう側面を削り	
134-59	遺構 1	結物側板	(6.5)	21.0	(10.3)	-	0.5		
135-60	遺構 1	桶側板?	(9.2)	11.3	(7.7)	-	0.5 ~ 0.7	桶の側板か	
135-61	遺構 1	箱?	(11.1)	(18.1)	(11.0)	-	0.1 ~ 0.6		
135-62	遺構 1	樽の材か?	(5.9)	(17.7)	-	-	0.7 ~ 1.3	炭化と思われる	
135-63	遺構 1	竹製品	8.3	9.5	7.5	-	0.5 ~ 1.4	やや歪んでいる	
135-64	遺構 1	竹製品	(4.2)	(3.55)	(5.2)	-	0.1 ~ 1.2	竹節を残し上下切断	
136-65	遺構 1	蓋	(21.9)	23.85	0.8	3.6			
136-66	遺構 1	蓋	(14.8)	21.9	0.2 ~ 0.8	-		ツマミ欠損	
137-67	遺構 1	樽?	(10.0)	(17.1)	(3.1)	-	(4.6)	栓、欠損	
137-68	遺構 1	樽 蓋栓	(9.0)	(27.2)	1.0 ~ 2.5	2.9	4.3 ~ 5.0		
137-69	遺構 1	不明品	(2.3)	(15.9)	(2.3)	(2.1)		木ネジの残る孔あり	
137-70	遺構 1	蓋	(5.7)	(11.6)	(0.7)	3.0		持ち手を鉄釘で固定	
138-71	遺構 1	蓋?	(13.4)	(36.9)	2.5 ~ 2.7			端部面取り、木釘2ヶ所(端部欠損)	
138-72	遺構 1	蓋?	(7.0)	(30.7)	2.5 ~ 2.8			端部面取り、木釘2ヶ所(端部欠損)	
138-73	遺構 1	用途不明	27.1	(12.6)	1.5 ~ 2.0			端部面取り、木釘1ヶ所(端部欠損)、裏面と端部は炭化	
139-74	遺構 1	蓋?	22.8	21.8	1.0 ~ 1.1			端部面取り	
139-75	遺構 1	蓋か底?	(10.8)	(21.0)	0.2 ~ 1.2			端部面取り	
139-76	遺構 1	蓋?	15.4	14.7	0.8 ~ 1.5				
140-77	遺構 1	蓋?	(6.3)	(21.6)	0.4 ~ 0.8			端部面取り、貫通孔2ヶ所	
140-78	遺構 1	蓋?	(6.2)	(22.9)	0.1 ~ 1.0			端部面取り	
140-79	遺構 1	蓋?	(5.0)	(15.7)	0.5 ~ 1.0			端部面取り、両面の孔付近は焦げている	
140-80	遺構 1	曲物	(4.5)	(17.7)	0.1 ~ 1.5			端部面取り	

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
140-81	遺構 1	蓋の取手か	(3.5)	(23.2)	0.5			貫通孔 2ヶ所	
140-82	遺構 1	曲物	(8.1)	(16.7)	0.4 ~ 0.5			全体に腐食	
140-83	遺構 1	蓋	(6.7)	(12.9)	0.3 ~ 0.8			端部面取り	
140-84	遺構 1	蓋	11.2	11.4	0.2 ~ 1.0			端部面取り、刃物痕のような痕有り	
141-85	遺構 1	蓋	16.8	16.8	0.3 ~ 0.6			樹皮紐が通してある	
141-86	遺構 1	蓋	11.2	(11.4)	0.3 ~ 0.5			中央に穿孔、樹皮を周辺に押しこむ	
141-87	遺構 1	蓋	(7.2)	9.15	0.2 ~ 0.5			周縁に樹皮を押しこむ、中央には管状工具で穿孔を試みたような痕跡あり、しかし穴はあいていない	
141-88	遺構 1	蓋?	11.6	11.6	0.3 ~ 0.4			中央に鋸状の金具を打ち込む	
142-89	遺構 1	曲物蓋	16.5	16.8	0.3 ~ 0.6				
142-90	遺構 1	底?	(7.5)	(14.9)	0.3 ~ 0.4			片面に刃物痕有り	
142-91	遺構 1	曲物蓋	(4.45)	(13.7)	0.25 ~ 0.8			樹皮紐を通す、材質は根	
142-92	遺構 1	底?	(5.9)	(13.0)	0.3 ~ 0.6			端部面取り	
142-93	遺構 1	底?	(5.7)	9.2	0.1 ~ 0.2			端部面取り	
142-94	遺構 1	底?	(4.15)	8.75	0.6 ~ 0.9			表面内側に向けて面取り	
142-95	遺構 1	底?	(5.4)	9.2	0.15 ~ 0.2			端部面取り	
142-96	遺構 1	底?	(5.8)	(8.5)	0.05 ~ 0.2			端部面取り	
143-97	遺構 1	蓋?	10.5	10.3	0.4 ~ 0.5			端部面取り、中央に貫通孔	
143-98	遺構 1	蓋?	(9.2)	9.6	0.1 ~ 0.3			端部面取り、中央に貫通孔	
143-99	遺構 1	蓋?	(9.25)	10.0	0.3 ~ 0.5			端部面取り、中央の孔は貫通せず	
143-100	遺構 1	蓋?	7.8	7.5	0.6			端部面取り、中央の孔は貫通せず	
143-101	遺構 1	蓋?	6.1	6.1	0.1 ~ 0.25			端部面取り、中央に貫通孔	
143-102	遺構 1	蓋?	(5.85)	6.35	0.1 ~ 0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
143-103	遺構 1	蓋?	(5.5)	6.2	0.2 ~ 0.3			中央に鉄釘が打ち込まれている	
143-104	遺構 1	蓋?	5.85	5.85	0.1 ~ 0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
143-105	遺構 1	蓋?	5.5	5.5	0.2 ~ 0.3			端部面取り、中央に貫通孔	
143-106	遺構 1	蓋?	5.4	5.5	0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
144-107	遺構 1	蓋?	5.5	5.5	0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
144-108	遺構 1	底?	5.6	5.5	0.3			端部面取り	
144-109	遺構 1	蓋?	(5.4)	6.25	0.1 ~ 0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
144-110	遺構 1	蓋?	(4.25)	5.5	0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
144-111	遺構 1	底?	(3.3)	5.65	0.3			端部面取り	
144-112	遺構 1	底?	(2.7)	(5.7)	0.1 ~ 0.25			端部面取り	
144-113	遺構 1	底?	(3.15)	5.8	0.1 ~ 0.2			端部面取り	
144-114	遺構 1	曲物?	(4.6)	(5.7)	0.05 ~ 0.2			端部面取り	
144-115	遺構 1	蓋	(3.6)	5.35	0.2			端部面取り、中央に貫通孔	
145-116	遺構 1	箱	17.3	30.8	2.6			底板・横板を鉄釘で打ち付ける	
145-117	遺構 1	箱	9.1	18.5	8.5			底板・横板を木釘・鉄釘両方で打ち付ける	
146-118	遺構 1	部材	(4.2)	(29.0)	(1.4)			釘痕 9ヶ所	
146-119	遺構 1	部材	(4.9)	(31.5)	(1.5)			貫通している釘穴 2ヶ所	
146-120	遺構 1	部材	(4.1)	(31.0)	(1.4)			釘痕 8ヶ所	
146-121	遺構 1	木枠	(6.5)	(7.8)	1.3			枠を釘で固定	
146-122	遺構 1	箱?	8.0	9.0	0.7			裏面に黒漆が微量に残る。丁寧に加工する。貫通孔 1ヶ所、未完通孔 1ヶ所	
146-123	遺構 1	箱側板	2.9	6.2	0.6			木箱の側板か 釘孔 7ヶ所、うち釘が 1ヶ所に残る	
147-124	遺構 1	箱枕か	14.3	21.1	(5.1)	0.4 ~ 0.8		釘痕 2ヶ所	
147-125	遺構 1	箱枕か	14.4	21.0	(7.7)	0.3 ~ 0.9		釘痕 1ヶ所	
147-126	遺構 1	箱枕か	16.7	(22.5)	13.5	0.3 ~ 0.6		鉄釘 12ヶ所、釘孔 1ヶ所	
147-127	遺構 1	箱枕か	14.7	23.5	12.2	0.3 ~ 1.0		木釘 6ヶ所、鉄釘 3ヶ所。中央に穿孔	
148-128	遺構 1	箱枕か	13.2	15.3	11.3	0.4 ~ 0.8		釘 3ヶ所、釘孔 11ヶ所、中央に穿孔	
148-129	遺構 1	箱枕か	(28.5)	(7.1)	0.5 ~ 0.6			釘 2ヶ所、釘痕孔 6ヶ所	
148-130	遺構 1	箱枕か	-	16.4	11.7	0.3 ~ 1.2		上部が底部より広がる箱か。一枚、溝が切られていない板有り	
149-131	遺構 1	用途不明	38.2	30.4	0.6 ~ 1.5			2点孔が穿たれている	
150-132	遺構 1	差菌下駄	10.5	22.6	12.3	8.0	6.0	革製の鼻緒が残る	
150-133	遺構 1	差菌下駄	10.1	22.6	12.7	7.7	2.0		略完形
150-134	遺構 1	差菌下駄	9.5	21.0	11.4	7.5	7.6		
150-135	遺構 1	差菌下駄	9.5	21.0	11.8	7.5	6.0		
151-136	遺構 1	差菌下駄	9.0	19.5	11.0	7.0	3.0	赤漆	
151-137	遺構 1	差菌下駄	9.0	19.5	10.7	7.5	(1.6)	赤漆	
151-138	遺構 1	差菌下駄	9.5	21.0	11.0	7.0	7.0	黒漆が残る。表面は光沢のある漆、裏面は塗りが甘く光沢が少ない。菌が薄い	
151-139	遺構 1	差菌下駄	9.8	21.0	11.3	8.0	(5.7)		
152-140	遺構 1	差菌下駄	8.6	16.6	8.7	6.5	(1.6)	表面黒漆、裏面一部赤色漆、刃物で「け」と掘られている。木地、裏面の一部に漆の下地のようなものが付着	略完形
152-141	遺構 1	差菌下駄	8.9	16.7	8.7	6.6	(1.6)	表面黒漆、裏面一部赤色漆、刃物で「け」と掘られている。木地、裏面の一部に漆の下地のようなものが付着	略完形
152-142	遺構 1	差菌下駄	(7.3)	(16.3)	11.5	-	3.0	表面 黒漆塗り (黄褐色に変色) 裏面 一部黒色漆付着	1/2程残存

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
152-143	遺構 1	差歯下駄	(7.8)	21.3	11.8	-	2.6		1/2 程残存
152-144	遺構 1	差歯下駄	(5.8)	(11.4)	-	-	1.6		1/4 程残存
153-145	遺構 1	連歯下駄 (右)	10.6	22.6	11.9	8.3	4.4	裏面 鉄錆の付着物。破損した歯に小石挟る。踵側の歯に釘を打ち込む	一部欠損
153-146	遺構 1	連歯下駄 (左)	10.7	22.5	11.9	8.4	3.7	表面 指痕有り	一部欠損
153-147	遺構 1	連歯下駄	(11.0)	(15.0)	-	-	(1.7)	表面 指痕有り	1/2 程残存
153-148	遺構 1	連歯下駄	(9.0)	18.0	9.7	7.5	2.3	表面 指痕有り	3/4 程残存
154-149	遺構 1	連歯下駄	10.5	(22.5)	-	8.3	2.8	裏面 歯の減りが激しい	3/4 程残存
154-150	遺構 1	連歯下駄	8.5	16.6	8.5	6.3	1.7	表面 指痕有り、裏面 歯の減りが激しい	ほぼ完形
154-151	遺構 1	連歯下駄	7.9	14.7	7.7	5.8	(2.0)		3/4 程残存
154-152	遺構 1	連歯下駄	(7.4)	(10.0)	-	5.5	3.2		2/3 残存
154-153	遺構 1	連歯下駄	(7.5)	(13.3)	(6.6)	(5.2)	2.3	表面 円状の圧痕	1/2 程残存
154-154	遺構 1	刎り下駄	(6.0)	(6.7)	-	-	1.3	表面に9箇所釘痕有り、内5ヶ所裏面まで貫通	不明
154-155	遺構 1	連歯下駄	(5.5)	(9.4)	-	-	2.8	裏面 浅い溝が彫り込まれている	不明
154-156	遺構 1	連歯下駄	(9.1)	(8.7)	-	7.9	1.7	表面 3ヶ所釘痕有り	1/4 程残存
155-157	遺構 1	草履下駄 (右)	10.3	21.2	11.7	7.4	2.3	裏面 鼻緒部分鉄錆、小石がめり込む	ほぼ完形
155-158	遺構 1	草履下駄 (左)	10.3	21.1	11.7	7.3	2.4	裏面 鼻緒部分鉄錆、小石がめり込む	ほぼ完形
155-159	遺構 1	草履下駄	10.0	20.7	11.8	8.2	3.0		ほぼ完形
155-160	遺構 1	草履下駄	10.0	20.9	11.7	7.5	2.6		ほぼ完形
156-161	遺構 1	草履下駄か	9.9	20.5	11.8	7.5	2.3	裏面 小石がめり込む	ほぼ完形
156-162	遺構 1	草履下駄か	(9.5)	(21.0)	12.3	7.2	2.1	裏面 黒漆か? 黒色残る、小石がめり込む	4/5 程残存
156-163	遺構 1	草履下駄か	(9.2)	21.0	12.0	(7.7)	2.8		3/4 程残存
156-164	遺構 1	草履下駄か	9.5	(21.0)	12.5	(8.0)	2.0	後鼻緒孔が挟れていたのか、もともとの大きさか不明、裏面 小石粒めり込む	4/5 程残存
156-165	遺構 1	草履下駄か	(3.8)	(16.2)	-	-	(1.5)		不明
157-166	遺構 1	草履下駄か	10.2	21.3	11.7	7.6	2.1	表面 2ヶ所釘有り、裏まで貫通。裏面 鼻緒 (前緒) の両側2ヶ所釘	ほぼ完形
157-167	遺構 1	草履下駄か	9.3	(21.6)	11.8	7.7	1.5	表面 14箇所釘又釘穴 裏面 鼻緒部分鉄錆、鼻緒部周辺に釘3ヶ所	ほぼ完形
157-168	遺構 1	草履下駄か	(8.5)	21.0	12.5	-	(2.6)	一部木地が腐蝕 裏面 鼻緒部分鉄錆、中央一部炭化	3/4 程残存
157-169	遺構 1	草履下駄か	(9.0)	(15.3)	(11.7)	-	(2.0)	表面指痕有り、裏面 歯の減りが激しい	1/2 程残存
158-170	遺構 1	草履下駄か(左)	(9.7)	20.6	11.7	(7.2)	(2.1)	裏面 1ヶ所丸釘残存、2ヶ所釘穴有り	2/3 程残存
158-171	遺構 1	中刎り下駄か	(9.5)	(17.8)	-	(7.4)	(2.2)	左右側面にも刎り込有り	2/3 程残存
158-172	遺構 1	草履下駄	(8.5)	(16.8)	(9.5)	-	(2.1)	木地やせの為薄くなっている、表面 赤色系の漆が残る、裏面 一部焦げたような痕あり	1/2 程残存
158-173	遺構 1	草履下駄	(8.5)	16.8	9.2	6.2	(1.4)	木地やせの為薄くなっている、表面 赤色系の漆が残る	2/3 程残存
158-174	遺構 1	草履下駄	(8.5)	(12.2)	-	-	(1.0)	裏面 鼻緒部分コルク片を含む繊維質付着物	1/2 程残存
159-175	遺構 1	草履下駄	8.9	16.3	9.8	6.8	1.8		ほぼ完形
159-176	遺構 1	草履下駄	(8.3)	14.5	7.9	(6.3)	1.5	表面 赤色漆残存、指痕有り	4/5 程残存
159-177	遺構 1	草履下駄	(7.8)	14.8	(7.9)	(5.7)	1.5	裏面 鼻緒部分鉄錆	2/3 程残存
159-178	遺構 1	草履下駄か	(10.0)	(10.4)	-	-	(2.0)	表面 指痕有り	1/3 程残存
159-179	遺構 1	下駄	(10.0)	(10.3)	-	-	(2.5)		1/3 程残存
159-180	遺構 1	草履下駄か	(9.9)	(10.7)	-	-	2.0		1/3 程残存
159-181	遺構 1	草履下駄か	(5.3)	(11.0)	-	-	2.3		1/5 程残存
159-182	遺構 1	下駄か	(7.7)	(7.2)	-	-	0.5		1/3 程残存
160-183	遺構 1	便所下駄か	(8.2)	(6.0)	-	-	(1.0)	表面 繊維状の物が若干残る、極細の鏝のようなものが数ヶ所打ち込まれている	1/5 程残存
160-183	遺構 1	便所下駄か	(8.2)	(14.0)	-	-	(0.9)	表面 釘と極細の鏝のようなものが数ヶ所打ち込まれている	3/5 程残存
160-184	遺構 1	便所下駄か	(7.2)	(4.1)	-	-	(0.65)	黒褐色で断面4層から成る。表面: 釘孔5ヶ所、釘16ヶ所、極細の鏝を1ヶ所打ち込む。裏面: 極細の鏝を8ヶ所打ち込む。	不明
160-185	遺構 1	便所下駄か	(6.1)	(3.4)	-	-	(0.45)	黒褐色 表面: 釘12ヶ所、極細の鏝孔のようなものが3ヶ所、裏面: 釘9ヶ所、極細の鏝が2ヶ所	不明
160-186	遺構 1	塗り箸	(19.6)	0.4	0.4			黒漆地の上に赤漆を配色し、磨いて模様を出している。	
160-187	遺構 1	塗り箸	(12.9)	0.6	0.6			黒漆地の上に赤漆を配色し、磨いて模様を出している。	
160-188	遺構 1	塗り箸	21.1	0.4	0.35			黄褐色 (ほぼ木地と同色)、丸形	
160-189	遺構 1	塗り箸	(18.5)	0.4	0.4			黄褐色 (ほぼ木地と同色)、丸形	
160-190	遺構 1	箸	15.3	0.45	0.3			黄褐色、角形、先端部に噛み痕のような痕有り	
160-191	遺構 1	箸	15	0.4	0.3			黄褐色、角形、先端部に噛み痕のような痕有り	
160-192	遺構 1	箸	22.3	0.6	0.5			黒褐色、角形	
160-193	遺構 1	箸	(18.2)	0.55	0.5			黒褐色、角形	
160-194	遺構 1	箸	17.3	0.5	0.5			暗黄褐色、角形	
160-195	遺構 1	箸	(16.3)	0.55	0.4			暗黄褐色、角形	
160-196	遺構 1	箸	21.2	0.5	0.5			黄褐色、楕円形	
160-197	遺構 1	箸	21.2	0.35	0.5			黄褐色、楕円形	
160-198	遺構 1	箸	21.4	0.6	0.4			暗黄褐色、角形	
160-199	遺構 1	箸	21.2	0.55	0.4			暗黄褐色、角形	
160-200	遺構 1	箸	21.15	0.5	0.3			黄褐色、角形	
160-201	遺構 1	箸	21.2	0.6	0.4			黄褐色、角形	
160-202	遺構 1	箸	21.4	0.5	0.4			暗黄褐色、角形	
160-203	遺構 1	箸	(10.4)	0.5	0.55			黄褐色、角形	
160-204	遺構 1	箸	21.0	0.6	0.65			黄褐色、丸形	
160-205	遺構 1	箸	21.3	0.6	0.55			暗黄褐色、丸形	
160-206	遺構 1	箸	21.0	0.65	0.6			暗黄褐色、丸形	
160-207	遺構 1	箸	21.1	0.6	0.5			黄褐色、楕円形、側面きれいな削り	
160-208	遺構 1	箸	22.1	0.6	0.4			黄褐色、楕円形	
160-209	遺構 1	箸	(20.7)	0.6	0.4			黄褐色、楕円形	

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
160-210	遺構 1	箸	21.0	0.65	0.55			黄褐色、丸形	
160-211	遺構 1	箸	(16.3)	0.6	0.4			黄褐色、楕円形	
160-212	遺構 1	箸	(13.1)	0.5	0.3			黄褐色、楕円形	
161-213	遺構 1	櫛	3.85	(6.5)	0.6			全体朱漆、蒔絵で萩のような植物が描かれている	2/3 残存
161-214	遺構 2	櫛	3.1	8.95	0.45			両面に松・帆船・岩などを描く。透漆摺漆仕上げか	
161-215	遺構 1	櫛	(3.45)	(2.2)	1.0				
161-216	遺構 1	櫛	(3.1)	(7.1)	0.8				
161-217	遺構 1	櫛	(3.0)	(4.0)	0.6				
161-218	遺構 1	櫛	(4.5)	(7.9)	0.6			朱漆	
161-219	遺構 1	櫛	(6.3)	(5.2)	0.4			歯部欠損	
161-220	遺構 1	櫛	6.7	8.1	0.1			被熱のため歪む	
161-221	遺構 1	櫛	4.5	8.1	0.1			全体的に赤黒い、被熱のため歪む	
161-222	遺構 1	櫛	3.0	10.6	0.4				
161-223	遺構 1	櫛	6.5	7.1	0.5			明黄褐色、被熱	
161-224	遺構 1	鉛筆	(8.8)	1.0	0.4			青赤2色。芯の溝の断面四角。表面金色で「Johann Faber.Bavaria. Manufacturer」の文字	
161-225	遺構 1	鉛筆	(14.9)	0.8				芯の溝の断面丸	
161-226	遺構 1	鉛筆	(15.7)	0.8				表面エンジ色、端部接着剤のような樹脂接着、芯の溝断面丸	
161-227	遺構 1	鉛筆	(12.8)	0.8	0.3			芯一部残存	
161-228	遺構 1	鉛筆	(13.0)	(0.6)				芯の溝の断面丸	
161-229	遺構 1	鉛筆	(5.7)	0.8	0.25			芯の溝の断面丸、端部に金属が巻き付けられている	
161-230	遺構 1	鉛筆	(4.6)	(0.8)				芯の溝の断面丸、炭化したような状態	
161-231	遺構 1	鉛筆	(2.5)	(0.7)				芯の溝の断面丸	
162-232	遺構 1	杓文字	(12.5)	(7.0)	(0.6)				
162-233	遺構 1	杓文字	19.3	6.5	0.8			柄の左右端部が挟られている	
162-234	遺構 1	刷毛か	(20.5)	3.1	0.5			裏面と上部は破損	
162-235	遺構 1	折敷	18.1	(18.2)	(0.1)			材木を薄くはいだ板	
162-236	遺構 1	折敷	18.1	(6.5)	0.1			材木を薄くはいだ板	
162-237	遺構 1	折敷か	21.2	(7.05)	0.2		3.3		
163-238	遺構 1	台	4.1	11.7				中央穴の側面螺旋（螺子式）。表面に3本、裏面1本沈線入る。差し込み式の足3本（内1本欠損）	
163-239	遺構 1	蓋か	1.0	8.3				歪んで曲がっている	
163-240	遺構 1	蓋か	1.0	11.8				表裏不明 一面に爪跡状の痕跡有り	
163-241	遺構 1	円形板	1.1	6.8				2箇所8mmのところに穿孔あり	
163-242	遺構 1	滑車の車か	3.0	5.0				中心に貫通孔。裏面に3箇所針の先のような孔	
163-243	遺構 1	不明品	19.2	4.7	2.9			裏面にのこぎり痕	
163-244	遺構 1	不明品	0.75	3.1					
163-245	遺構 1	栓	1.5	4.5					
163-246	遺構 1	用途不明	0.8	3.2					
163-247	遺構 1	栓	(18.8)	2.5	2.4			黒漆塗り 全面に削りが入る	
163-248	遺構 1	不明品	17.2	5.2	2.1			頭頂部に鉄の楔状 先端部は串状に削られる	
164-249	遺構 1	筒状品	9.9	4.05	1.1				
164-250	遺構 1	取手?	11.0	3.0	3.0			筒型 外面底部脇、口縁端部に削り 内側7.6cmほど彫り込まれ、内底に凹み	
164-251	遺構 1	栓	8.7	2.5	2.4			8角形に面取りされ、先端部はほぼ円形	
164-252	遺構 1	柄?	8.3	3.1	1.9			片面に「花山」と角銘	
164-253	遺構 1	コルク栓	6.3	2.3					
164-254	遺構 1	コルク栓	6.2	1.4					
164-255	遺構 1	コルク栓	4.1	2.1					
164-256	遺構 1	コルク栓	3.8	2.2					
164-257	遺構 1	コルク栓	3.75	2.2					
164-258	遺構 1	コルク栓	3.0	1.3					
164-259	遺構 1	コルク栓	2.6	2.5					
164-260	遺構 1	コルク栓	2.0	2.8					
164-261	遺構 1	コルク栓	2.3	2.0					
164-262	遺構 1	コルク栓	2.3	1.8					
164-263	遺構 1	コルク栓	2.1	1.8					
164-264	遺構 1	糸巻	10.9	5.8	0.6			直径0.2cmの木ねじが2ヶ所	
164-265	遺構 1	不明品	2.6	8.0	1.0			表裏それぞれ1箇所に貫通していない孔	
164-266	遺構 1	不明品	10.5	2.3	1			端材か?	
164-267	遺構 1	用途不明	28.7	2.8	0.75				
164-268	遺構 1	用途不明	9.5	3.1	0.6			穴2ヶ所 片面上部漆附着	
164-269	遺構 1	杭状	(13.0)	(3.9)	0.6				
164-270	遺構 1	直角△状	(13.5)	(4.0)	0.2			黒褐色 中央に円形の孔	
164-271	遺構 1	半円状	(9.7)	(4.8)	1.9			半円状で縦に溝あり 円形の縁にホゾあり	
164-272	遺構 1	竹筒							
165-273	遺構 1	舟形状	14.7	3.3	2.7			側面・裏・端部に計8釘、舟形後部にはフック状の金属が1本が打たれている。舟形の船室部くり抜き、中央に3mm程の孔	
165-274	遺構 1	用途不明	(4.5)	(11.4)	0.4				
165-275	遺構 1	蓋	2.2	4.4	(高) 2.2			本体中央に角製のつまみを嵌め込み。つまみは下方、横に穴が穿たれている	
165-276	遺構 1	用途不明	(12.4)	(1.8)	1.6			炭化	
165-277	遺構 1	鞘	31.5	2.7	1.8			内面刃物の形に彫り込まれている	

図版 番号	出土 遺構	器種	法量					備考	遺存度
			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		
166-278	遺構 1	箱?	31.6	26.3	0.8			上下端部に計4ヶ所釘、釘孔6ヶ所程。板の圧迫痕残る	
166-279	遺構 1	板	23.7	19.3	0.7				
166-280	遺構 1	板	22.4	18.8	0.8				
167-281	遺構 1	板	21.5	18.8	0.6			表面は丁寧な削り、裏面は荒削り	
167-282	遺構 1	板	34.8	18.2	1.0			表面は荒削り、裏面は丁寧な削り	
168-283	遺構 1	板	30.3	15.8	0.7			裏面丁寧な削り	
168-284	遺構 1	板	28.1	11.9	0.7			表面丁寧な削り	
168-285	遺構 1	板	25.6	17.0	1.2			鋸の切り込み痕	
169-286	遺構 1	板	29.7	10.2	0.7			3面端に釘孔、木釘1本残存	
169-287	遺構 1	板	23.5	9.6	0.7			刃物痕が斜めに残る。他の部分は丁寧に削られている	
169-288	遺構 1	板折敷?	26.5	14.1	0.9				
170-289	遺構 1	板	8.2	31.0	0.7			左側側面、削った痕跡	
170-290	遺構 1	板	37.3	29.8	1.2				
170-291	遺構 1	加工材	(6.4)	(6.8)	0.7				
170-292	遺構 1	用途不明	8.3	9.0	0.8			中央付近に穿孔、片面著しく煤ける	
170-293	遺構 1	板	25.2	7.3	0.7			上下端部を斜めに切り出している	
171-294	遺構 1	用途不明	41.7	12.7	1.2			1箇所孔が穿たれている	
171-295	遺構 1	板	20.7	6.5	1.0				
171-296	遺構 1	箱?	12.6	10.0	0.6			木釘1ヶ所、鉄釘3ヶ所、釘孔3ヶ所	
171-297	遺構 1	転用品	10.0	6.6	0.7			一部朱色に着色	
171-298	遺構 1	板	8.6	8.4	0.6				
171-299	遺構 1	不明品	10.2	6.3	0.8			端部一部斜めに削り、細い釘孔1ヶ所	
171-300	遺構 1	部材	13.6	13.4	12.9			所により著しく炭化	
172-301	遺構 1	加工材	(19.3)	(18.5)	(14.5)			側面に縦2.0、横1.7cmの矩形の穴。反対側にも同様の穴あり。表面の大半が炭化	
172-302	遺構 1	部材	18.7	13.8	4.8			上部に柄穴、下端は面取り、裏面の加工がやや粗い	
172-303	遺構 1	建具	4.2	10.3	3.2			敷居の端材か 溝が切つてある	
172-304	遺構 1	部材	15.5	5.0	4.4				
173-305	遺構 1	部材	9.4	14.0	7.6				
173-306	遺構 1	部材	8.3	9.2	3.0				
173-307	遺構 1	部材	8.5	11.5	4.2			節を残して崩れている	
173-308	遺構 1	三角形板	5.1	10.1	2.7				
173-309	遺構 1	部材	7.6	3.3	2.3			両端に釘を打ち、その釘に針金?を巻いている	
173-310	遺構 1	用途不明	29.9	12.0	4.3			金具付き、4ヶ所釘が打たれている	
174-311	遺構 1	部材	26.0	5.3	4.9			釘が貫通	
174-312	遺構 1	多角形状	12.1	5.3	2.2			切り込みあり	
174-313	遺構 1	板	10.7	9.5	2.2			体部分凹む	
174-314	遺構 1	板	9.1	9.8	1.4				
174-315	遺構 1	部材	18.0	5.5	2.3			丸鉄釘が打ち込まれている	
175-316	遺構 1	部材	16.0	5.6	0.5				
175-317	遺構 1	部材	8.2	3.6	3.0			釘痕が5箇所残る	
175-318	遺構 1	部材	10.8	3.8	2.3			木釘1ヶ所、釘3ヶ所	
175-319	遺構 1	端材	5.5	9.4	1.5				
175-320	遺構 1	端材	6.8	6.4	2.2				
175-321	遺構 1	端材	5.3	6.5	2.5				
175-322	遺構 1	部材	44.3	2.0	2.2			釘孔2ヶ所有り	
176-323	遺構 1	部材	(41.7)	3.5	2.9			細かく面取りをしている	
176-324	遺構 1	部材	47.1	1.3	0.7			木釘1ヶ所、孔1ヶ所	
176-325	遺構 1	部材	(16.3)	1.3	1.2			鉄釘1ヶ所	
176-326	遺構 1	部材	13.1	1.3	1.3			灰色の金属を白色に塗った金属板を釘で留めてある	
176-327	遺構 1	部材	26.2	1.3	1.4			一部炭化	
177-328	遺構 1	部材	(48.2)	(5.2)	(1.8)			4箇所釘有り	
177-329	遺構 1	不明品	(21.2)	1.4	0.9			1箇所に釘痕	
177-330	遺構 1	不明品	20.5	1.4	0.8			上端部にサビの残る釘穴、ほか1箇所に木ネジの残る貫通孔	
177-331	遺構 1	加工木材	(20.2)	(5.6)	(1.8)			上部左脇柄穴のように加工。一部炭化	
177-332	遺構 1	不明品	(10.0)	(3.5)	2.0			3面を機械的に切断	
177-333	遺構 1	加工木材	(8.4)	(9.5)				木の皮が剥がれたような状態	
177-334	遺構 1	銃床形	5.8	(18.8)	1.4			留め金具に釘が残る	

表15 近代遺構その他遺物 観察表 (単位: cm)

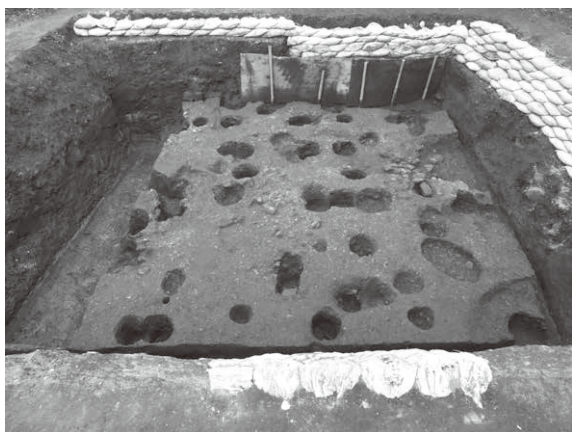
図番号	出土遺構	材質	器種	法量			備考	遺存度
				長さ	幅	厚さ		
178-1	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	最大 14.5	最大 1.1	最大 0.6	黄褐色、溝切り型(※汐留Ⅱによる)、ブラシ部破損、植毛穴3列×18、刻字「TRADE K MARK」	3/5
178-2	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	最大 14.7	最大 1.2	最大 0.5	黄褐色、側穴型3穴、ただし頂部側穴は埋められている、植毛穴3列、中央24、両端23	1/2
178-3	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	最大 14.8	最大 1.2	最大 0.6	黄褐色、側穴型3穴、植毛穴3列×21	1/2
178-4	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	最大 13.4	最大 1.2	最大 0.7	黄褐色、側穴型3穴、ただし埋めているか穴が不明瞭、詰め物残る、植毛穴3列、中央19、両端18、銅線の掛け具穴貫通	1/2
178-5	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	最大 12.9	最大 1.0	最大 0.6	黄褐色、側穴型3穴、植毛穴3列×15	1/2
178-6	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	(9.4)	最大 1.1	最大 0.7	黄褐色、側穴型?折れ口の断面に3穴、植毛穴3列、掛け具穴貫通、掛け具は紛失	3/5
178-7	遺構1	骨角製品	歯ブラシ	(8.0)	最大 1.2	最大 0.7	黒褐色、ブラシ部は欠損、掛け具穴貫通、掛け具は小釘の端をつぶして作成	3/5
178-8	遺構1	骨角製品	箸	(17.0)	(0.6)	(0.6)	四角形に成形され、端部へ向け細くなる、黄褐色、一部黒色に変色する	4/5
178-9	遺構1	骨角製品	箸	(14.0)	(0.6)	(0.5)	四角形に成形され、端部へ向け細くなる、黄褐色	2/3
178-10	遺構1	骨角製品	菜箸	(14.0)	(0.5)	(0.4)	四角形に成形され、端部へ向け細くなる、黄褐色、一部黒色に変色する、先端部に線刻有り	不明
178-11	遺構1	骨角製品	籠	12.7	最大 2.3	最大 0.6	表裏面共に面取り、穿孔あり	完形
178-12	遺構1	骨角製品	籠	8	最大 2.0	最大 0.5	表裏面共に面取り、穿孔あり、一部暗赤褐色の着色物付着	完形
178-13	遺構1	骨角製品	装飾品	(4.5)	(3.1)	(0.1~0.5)	文様が彫り込まれた装飾品	不明
178-14	遺構1	皮製品	用途不明	縦 4.6	横 4.2	0.1	薄い円盤状、フチ(円周)がわずかに内側へカーブする、表面に白い附着物残存	不明
178-15	遺構1	皮製品	ベルト	14.3	1.8	0.3	黒褐色、両端の左右サイドにミシン目が5個づつくっきりと認められる	不明
178-16	遺構1	皮製品	ボールか	縦(10.0)	横(4.0)	(2.0)	圧縮され且つ材質は硬化	不明
178-17	遺構1	棕櫚	ささらたわし				棕櫚の繊維?を束ね針金で3ヶ所縛っている、体部から持ち手用に撚られた部分が出ている	不明
178-18	遺構1	棕櫚	ささらたわし				棕櫚の繊維?を束ね、その上に竹を重ね、針金で縛っている、竹部分は持ち手か	不明
178-19	遺構1	棕櫚	ささらたわし				棕櫚の繊維?を束ね針金で4ヶ所縛っている	不明



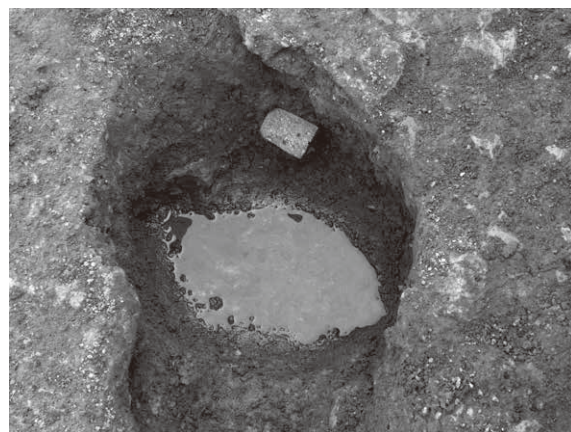
表16 鎌倉焼 観察表 (単位: cm)

図 番号	出土地	材質	器種	釉調など	胎土	技法/文様/その他	備考	推定 生産地	推定 年代	法量				遺存度
										口径	底径	器高		
179-1	長谷	陶器	小坏	淡黄白色釉	淡黄白色粘質土	外面指頭文、貼り付け高台、畳付露胎	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	8.0	4.4	4.3		完形
179-2	長谷	土製品	小坏	素焼き	白色粘質土	ロクロ 削り出し高台/外面スタンプ(花と文様不明)	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	7.6	3.2	4.2		完形
179-3	長谷	土製品	小坏	素焼き	淡黄色粘質土	ロクロ 削り出し高台/外面スタンプ(花と文様不明)	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	7.2	3.2	3.5		ほぼ完形
179-4	長谷	土製品	小坏	素焼き	淡黄色粘質土	内外面無文 高台見込みに陰刻 貼り付け高台	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	6.6	3.2	2.9		完形
179-5	長谷	土製品	小坏	素焼き	灰色粘質土	外面指頭痕/植物文線刻 貼り付け高台	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	6.7	2.9	3.3		完形
179-6	長谷	磁器	小坏	手書き酸化コバルト・透明釉	白色粘質土	内面無文 外面植物・鳥/口縁部下・高台圏線 蛇の目高台		瀬戸美濃	明治~大正	7.6	3.6	3.7		完形
179-7	長谷	磁器	小坏	クロム青磁飛びカンナ	白色粘質土	内外面施釉 高台内露胎			明治~大正	7.5	3.2	3.6		完形
179-8	長谷	土製品	小皿	素焼き	淡橙色粘質土	ロクロ成形/内底弓・矢の絵	見込み「弓術會」「鶴岡八幡宮鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	9.4	3.7	2.6		ほぼ完形
179-9	長谷	土製品	蛤形盃	素焼き	白色粘質土	貼り付け高台	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	最大長7.1	最大幅4.0	2.4		完形
179-10	長谷	土製品	筒形湯呑	素焼き	黄白色粘質土	外面指頭痕・線刻で文字(内容不明、和歌か?) 貼り付け高台	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	6.1	4.2	6.1		完形
179-11	長谷	土製品	筒形湯呑	灰釉	黄白色粘質土	外面指頭痕・線刻で文字(内容不明、和歌か?) / 貼り付け高台	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	6.6	4.6	6.2		完形
179-12	長谷	土製品	筒形湯呑	緑白色釉	淡黄橙色粘質土	ロクロ成形/内外面緑白色釉 削り出し高台/高台露胎		鎌倉焼	明治~大正	5.6	4.2	6.5		完形
180-13	長谷	陶器	水注	透明釉	灰白色粘質土	外面赤紫・灰緑色釉で施釉	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	4.4	最大5.3	13.0	最大幅12.0	ほぼ完形
180-14	長谷	土製品	皿	素焼き	白色粘質土	魚形	高台見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	全長16.9	最大12	2.6		完形
180-15	長谷	陶器	器蓋	透明釉・暗赤褐色	淡橙色粘質土	松笠形つまみ 内面暗赤褐色釉 外面露胎		鎌倉焼	明治~大正	6.5	-	1.7		完形
180-16	長谷	土製品	器蓋	素焼き	灰白色粘質土	松笠形つまみ		鎌倉焼	明治~大正	6.7	-	1.6		完形
180-17	長谷	土製品	徳利	素焼き	黄白色粘質土	外面指頭痕	底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	3.2	4.8	13.2	最大幅7.2	完形
180-18	長谷	土製品	蓮華	素焼き	黄白色粘質土	内底に線刻「大佛」	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	全長(10.0)	幅(6.8)	(2.8)		不明
180-19	長谷	土製品	蓮華	素焼き	黄白色粘質土		底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	全長10.5	幅4.6	4.8		完形
181-20	長谷	土製品	兎形皿	淡黄白色	黄白色粘質土			鎌倉焼	明治~大正	8.3	5.6	1.6		完形
181-21	長谷	土製品	鑄型	素焼き	淡橙色粘質土	外面指頭痕 内面に竹籠文様		鎌倉焼	明治~大正	-	-	7.0		不明
181-22	長谷	陶器	玩具	素焼き	灰白色粘質土	内面御多福 外面鬼(黒・茶色・茶褐色)		鎌倉焼	明治~大正	長径7.0	短径6.7	厚2.6		ほぼ完形
181-23	長谷	土製品	ミニチュア 両形香炉	素焼き	黄白色粘質土		底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	6.0	-	5.1		ほぼ完形
181-24	由比ヶ浜	土製品	ミニチュア 両形香炉	素焼き	灰白色粘質土		底部見込み陰刻「鎌倉」	鎌倉焼	明治~大正	5.0	-	(4.0)		ほぼ完形
181-25	長谷	陶器	ミニチュア 軒丸瓦	褐色・白色・青色・淡橙色	灰白色粘質土	相対する鳥で八の字 外面施釉、布目痕	底部見込み陰刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	径7.8	-	厚0.8		ほぼ完形
181-26	長谷	陶器	印	灰白緑色釉	淡橙色粘質土	狛犬の印鑑	底部陽刻(判読不能)	鎌倉焼	明治~大正	縦4.2	横4.2	3.3		完形
181-27	長谷	磁器	ミニチュア		黄白色粘質土	器種不明 外底部露胎 内面文様陰刻		鎌倉焼	明治~大正	全長4.8	横4.0	厚0.9		完形
181-28	由比ヶ浜	陶器	ミニチュア 急須	白色釉	灰白色粘質土	外面緑・茶・黄色釉 外底部露胎		鎌倉焼	明治~大正	1.5	2.0	1.3		完形
181-29	長谷	陶器	ミニチュア	透明釉	白色粘質土	器種不明 外底部露胎		鎌倉焼	明治~大正	1.8	3.2	3.3		完形
181-30	長谷	陶器	鳩形箸置	透明釉	黄白色粘質土	型作り 外面鳩の羽暗褐色釉		鎌倉焼	明治~大正	全長3.6	幅2.3	2.7		完形

図 番号	出土地	材質	器種	釉調など	胎土	技法／文様／その他	備考	推定 生産地	推定 年代	法量				遺存度
										口径	底径	器高		
181-31	長谷	石製品	勾玉			紐を通した痕跡有り		鎌倉焼	明治～大正	全長3.4	最大幅 5.8	厚17		完形
181-32	長谷	磁器	豆形箸置	青緑色釉		底部茶色	底部見込み陰刻 (判読不能)	鎌倉焼	明治～大正	全長5.0	幅1.4	1.7		完形



1.1区1面全景（北から）



2.1区1面遺構16 滑石製品出土状況



3.1区2面全景（南から）



4.2区2面遺構（南から）



5.1区2面全景（西から）



6.1区2面 遺構79（南西から）



7.1区2面 遺構80（西から）



7.1区2面 遺構78（西から）

写真図版2



1.1区3面全景(北から)



2.2区3面全景(南から)



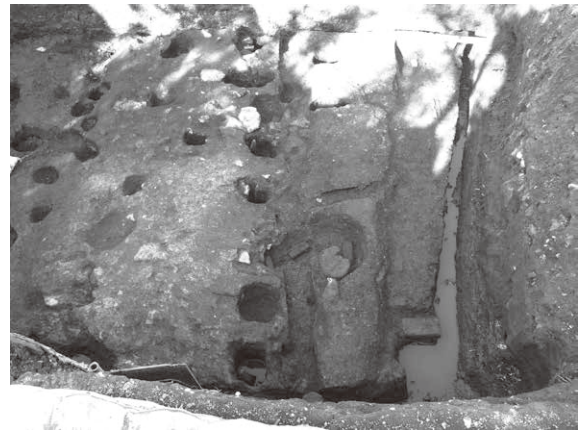
3.1区3面遺構81~83



4.1区3面遺構108



5.1区3面遺物集中1(南から)



6.1区3面遺構207溝全景(南から)



7.1区3面遺構207南部(西から)



7.1区3面遺構207南部(東から)



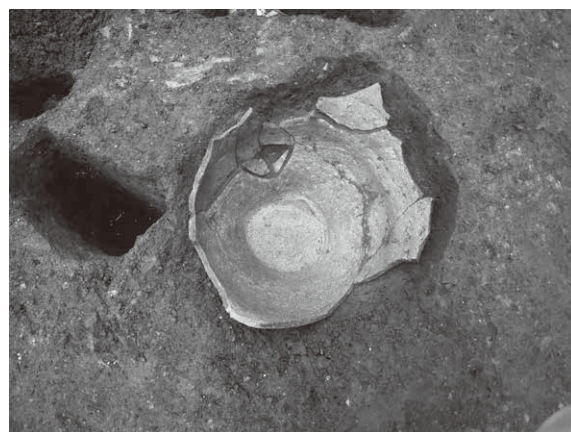
1.2区3面遺構 167、168



2.2区3面遺構 163



3.2区3面遺構 206 かわらけ出土状況



4.2区3面遺構 170



5.1区4面全景 (北から)



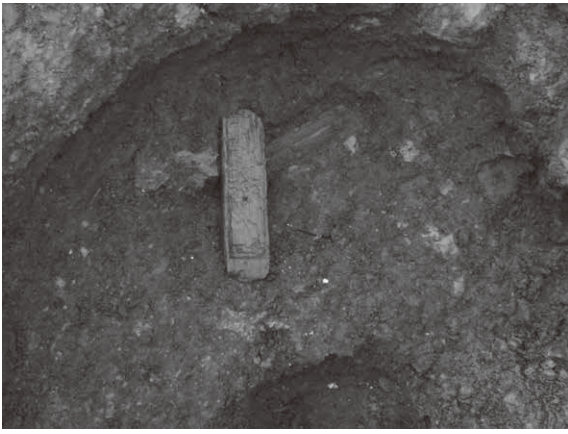
6.2区4面全景 (西から)



7.1区4面遺構 287、290



7.1区4面東南部 (南から)



1.1区4面遺構277 舟形出土状況



2.2区4面遺構298



3.2区4面遺構297 遺物出土状況



4.2区4面遺構297 刀子出土状況



5.2区近代遺構全景(北から)



6.近代遺構1北壁(南から)



7.近代遺構3



8.近代遺構1 荷札出土状況



1. 近代遺構 1 傘出土状況



2. 近代遺構 1 西側下駄集中



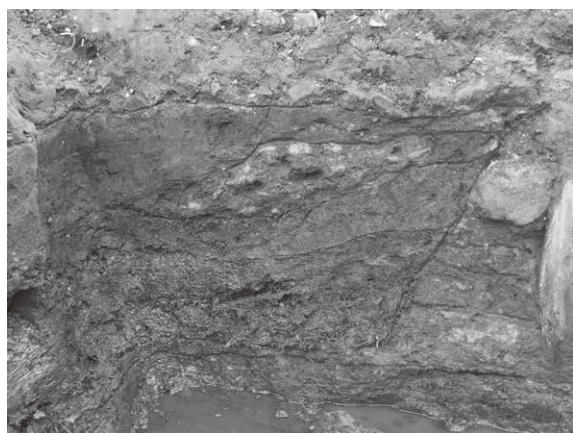
3. 近代遺構 1 西側遺物集中



4. 近代遺構 1 西側遺物集中



5. 近代遺構 1 東南遺物集中



6. 近代遺構 1 西端土層堆積状況

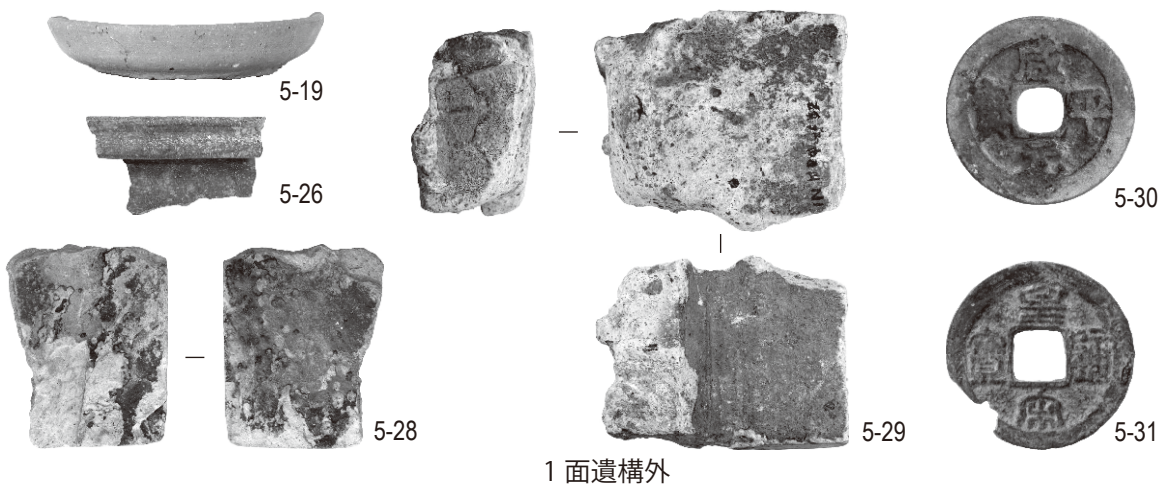
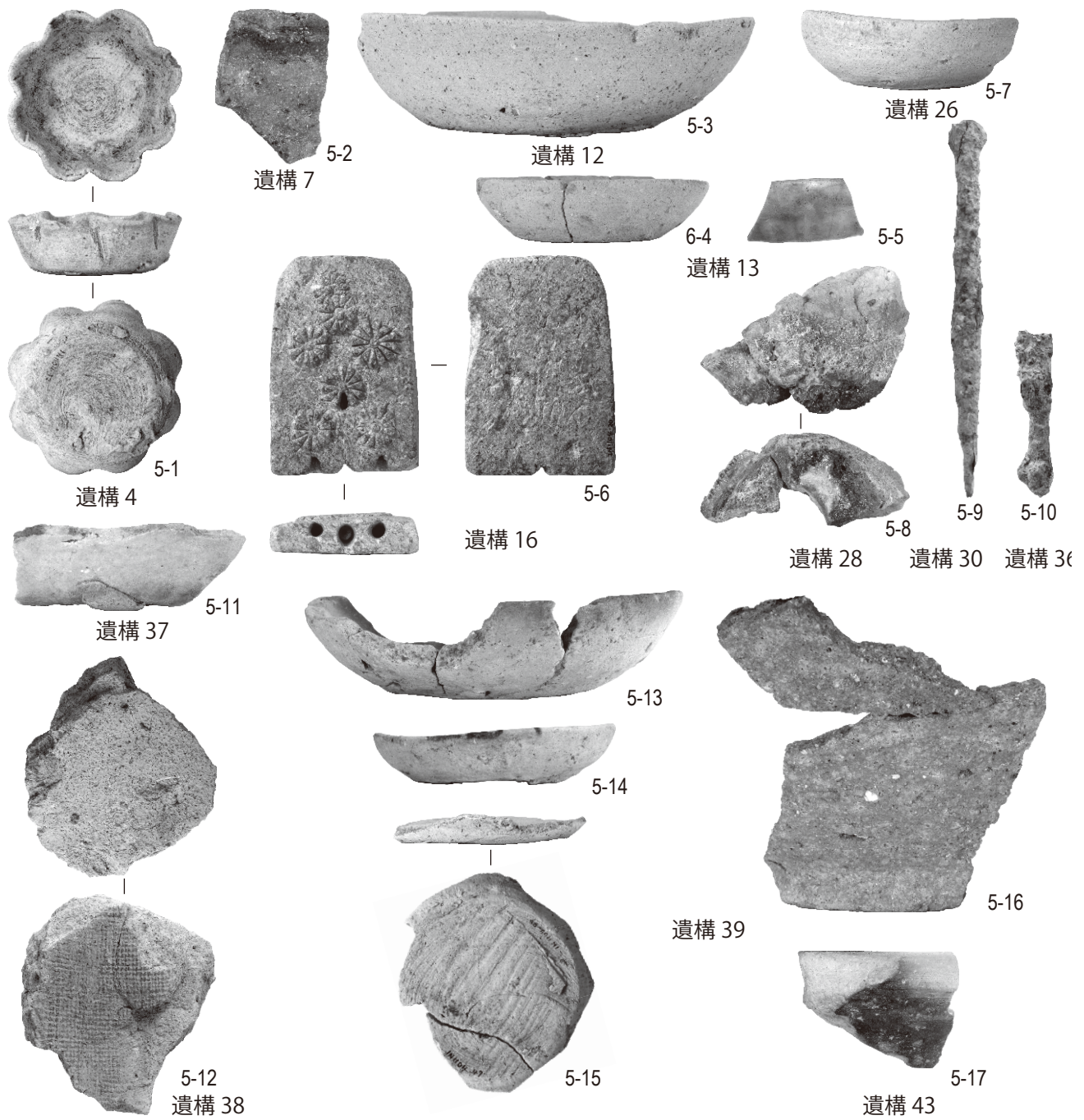


7. 調査区周辺 (観音山を臨む)

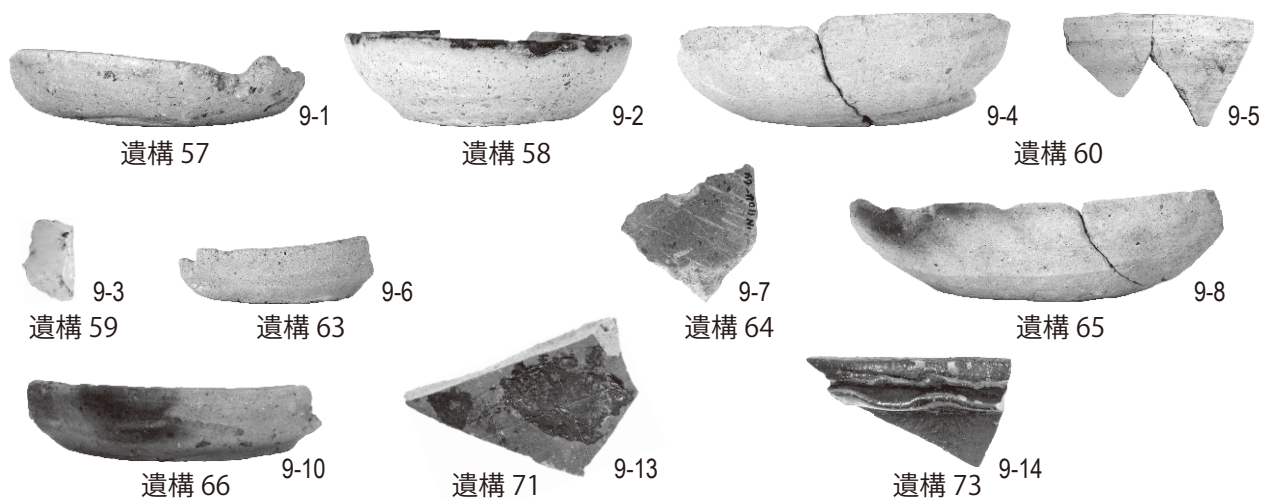
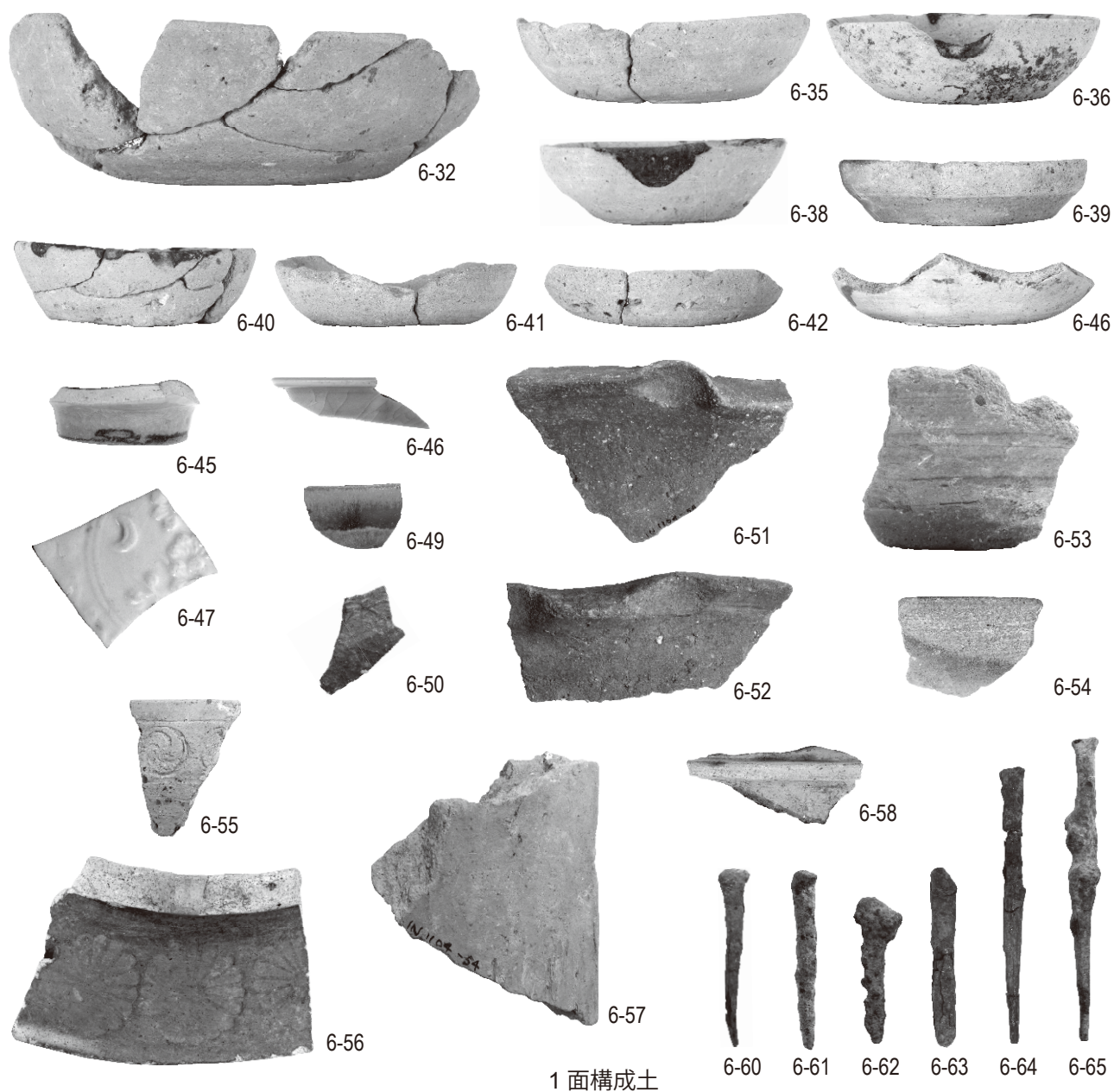


8. 調査区周辺 (現古我邸)

写真図版6



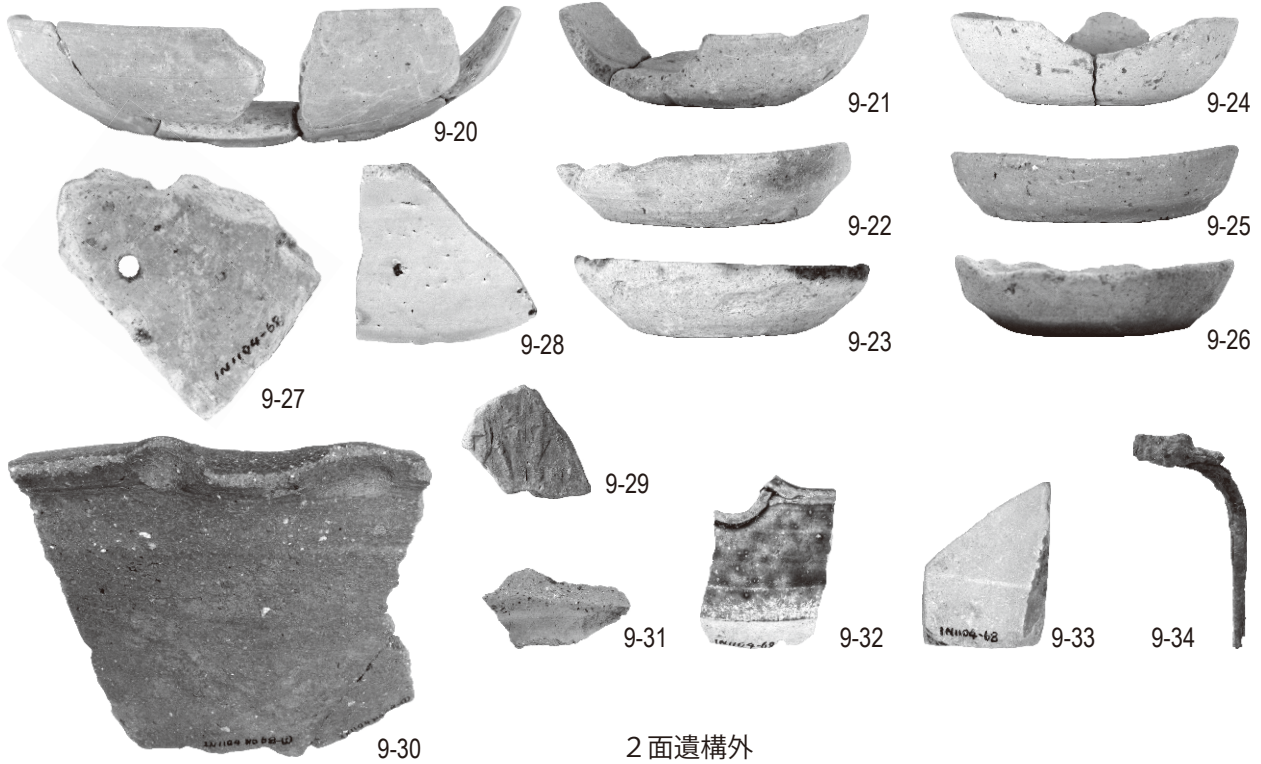




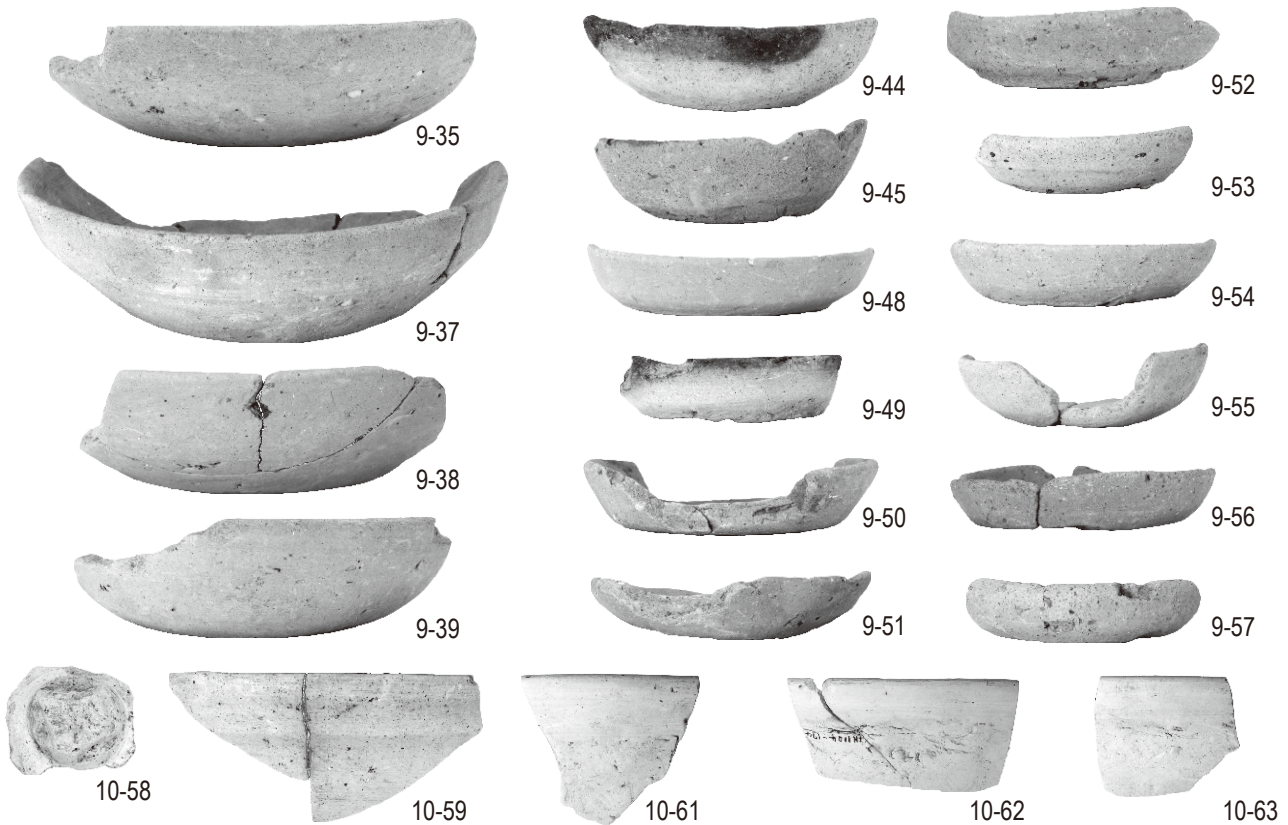
2面遺構



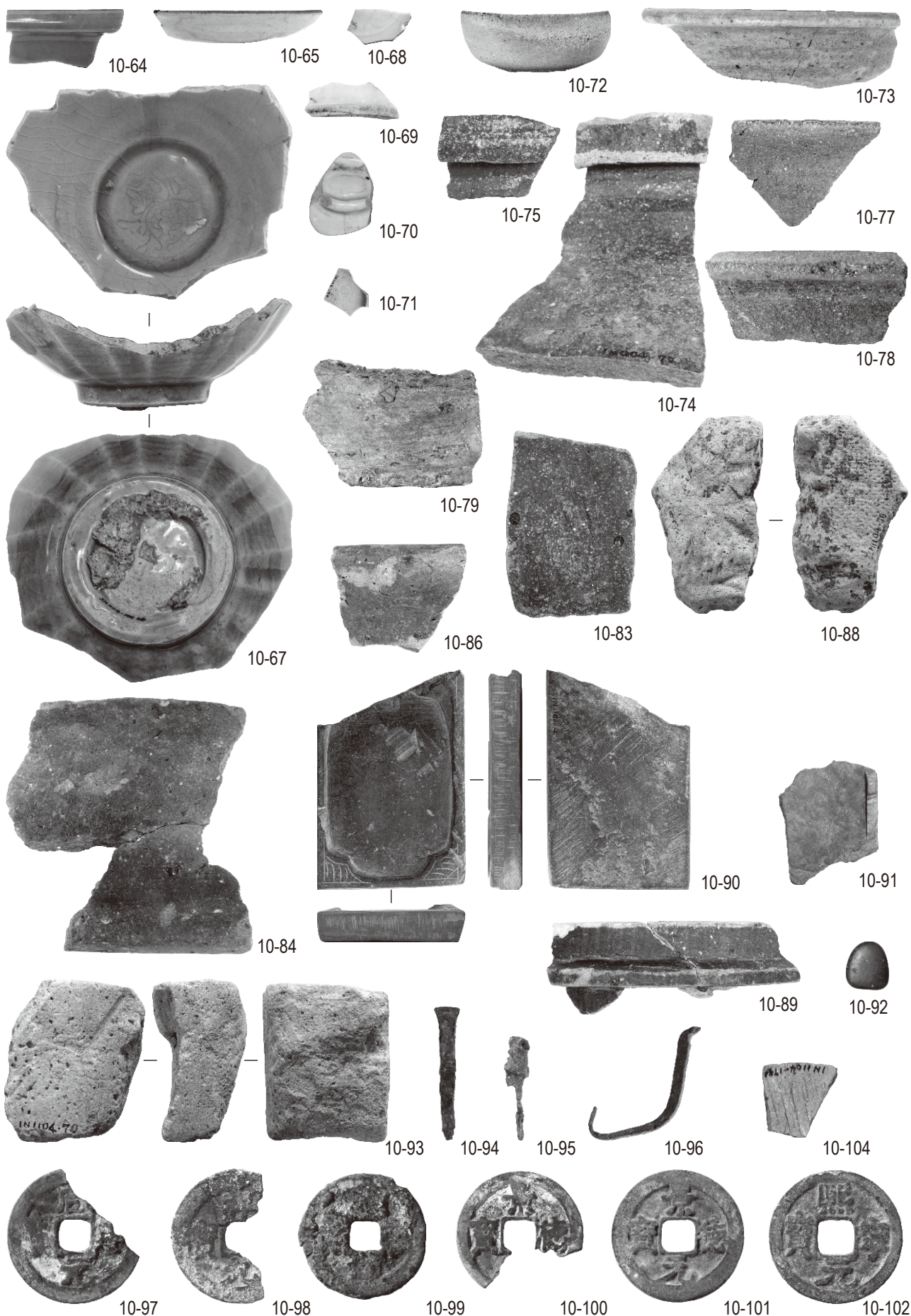
遺構 75



2面遺構外

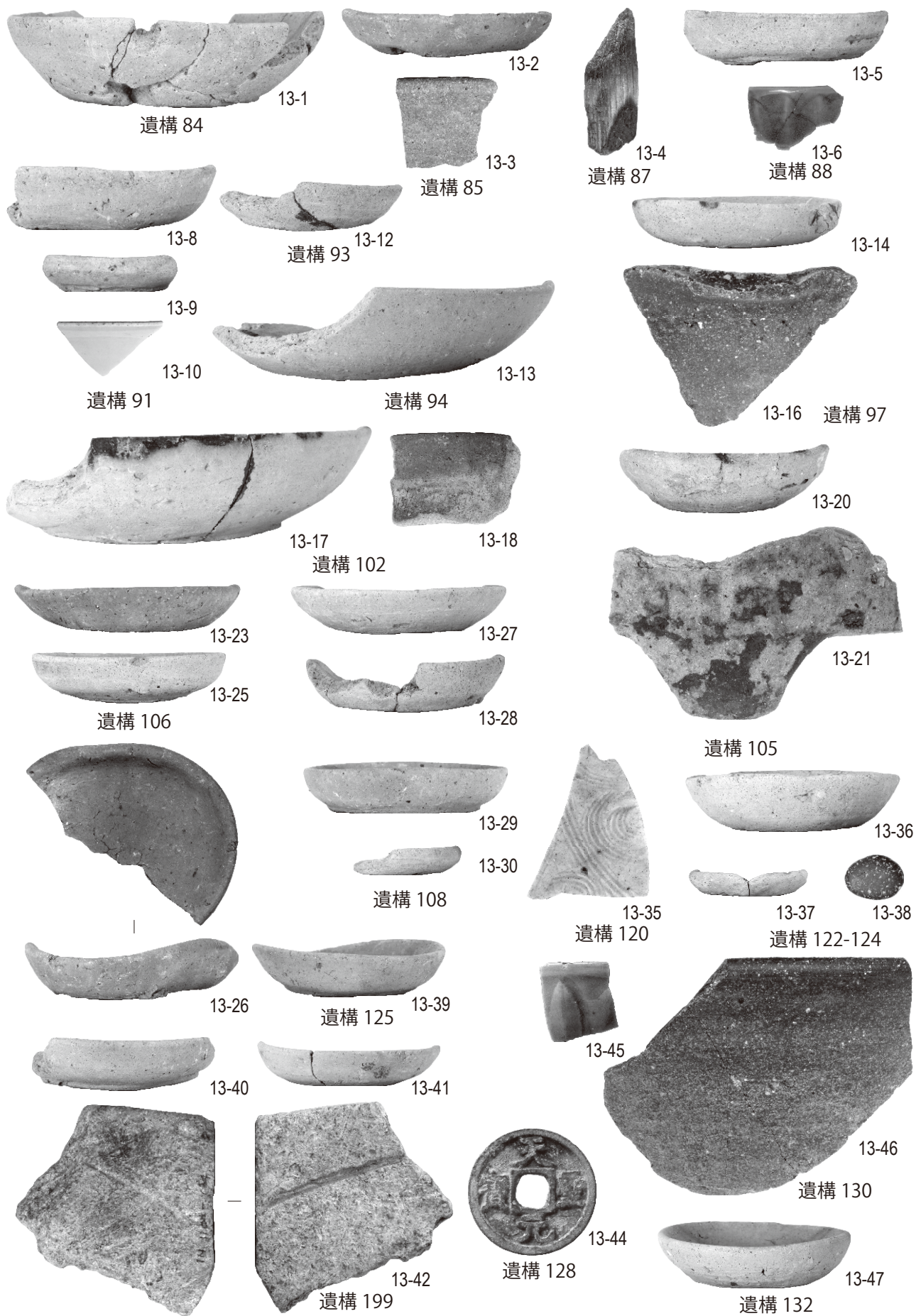


2面構成土(1)



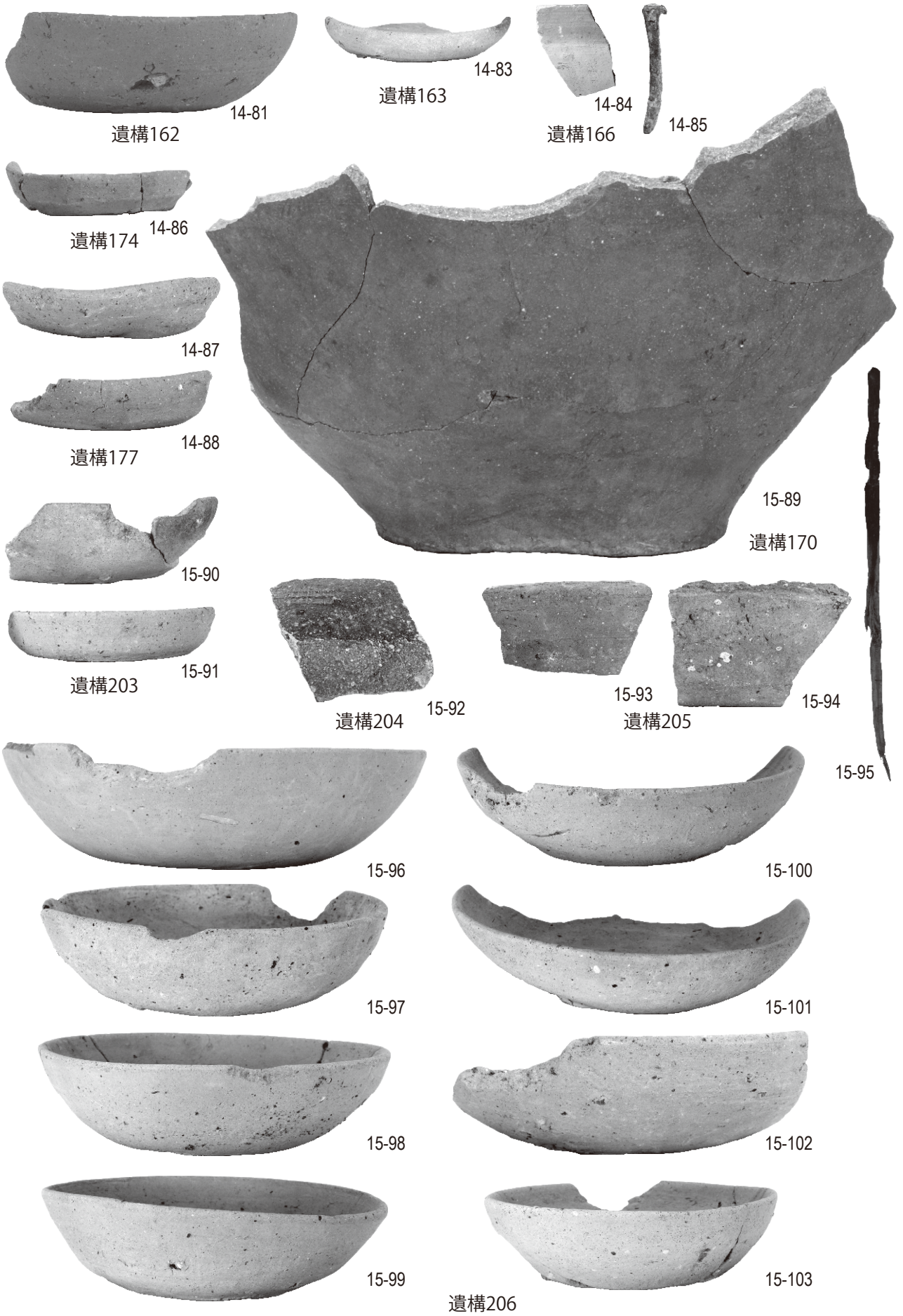
2面構成土(2)

写真図版 10

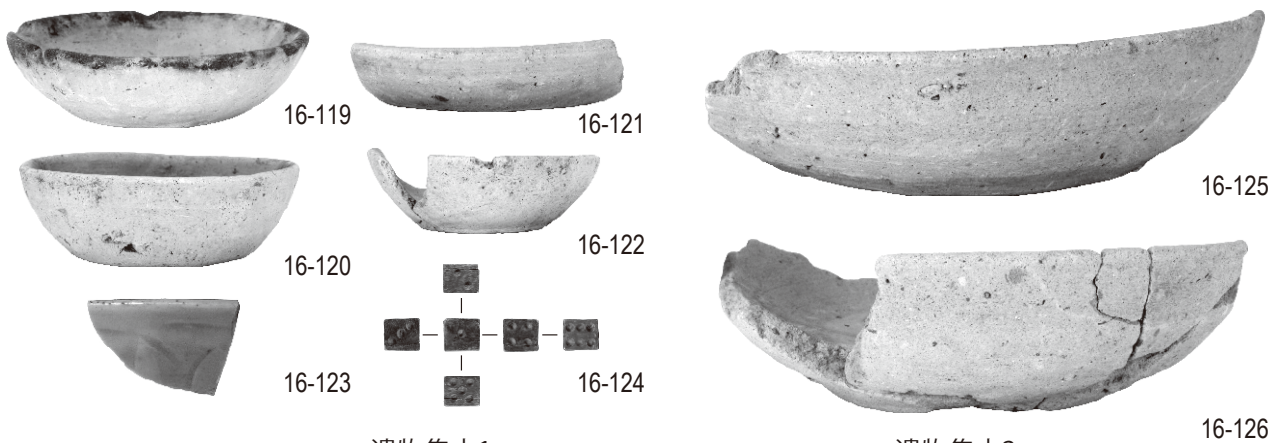
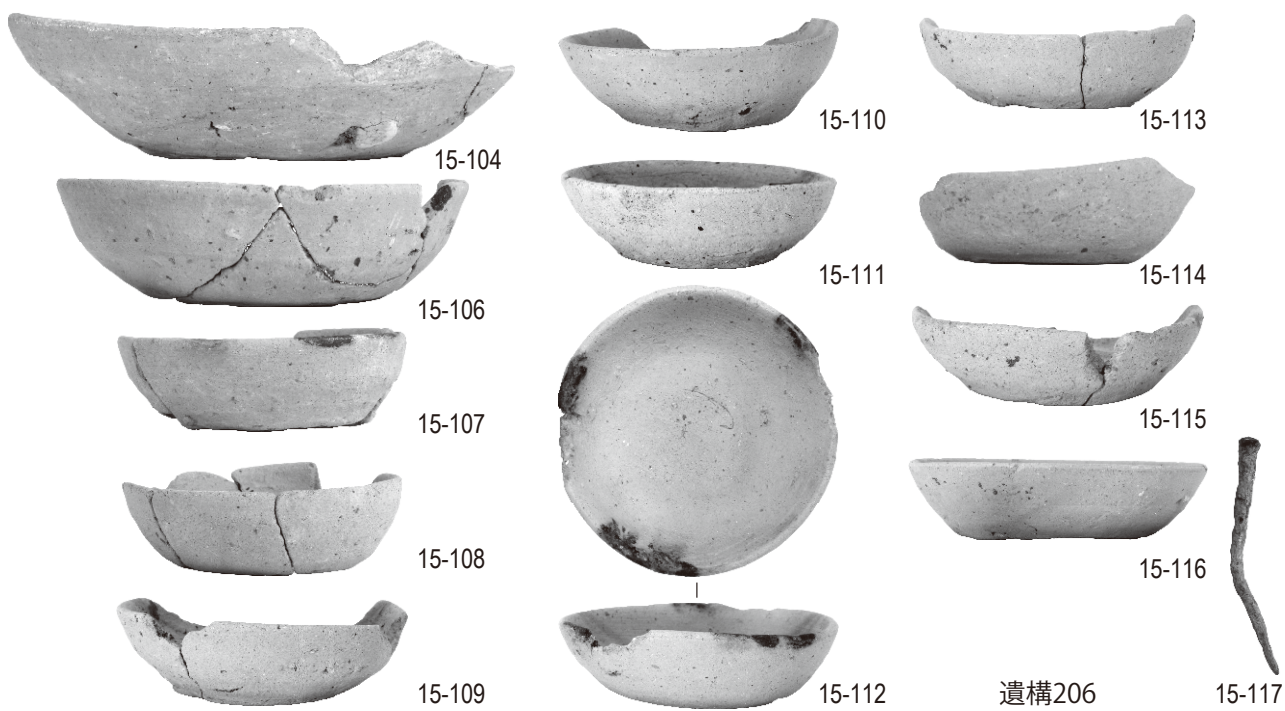


3面遺構 (1)



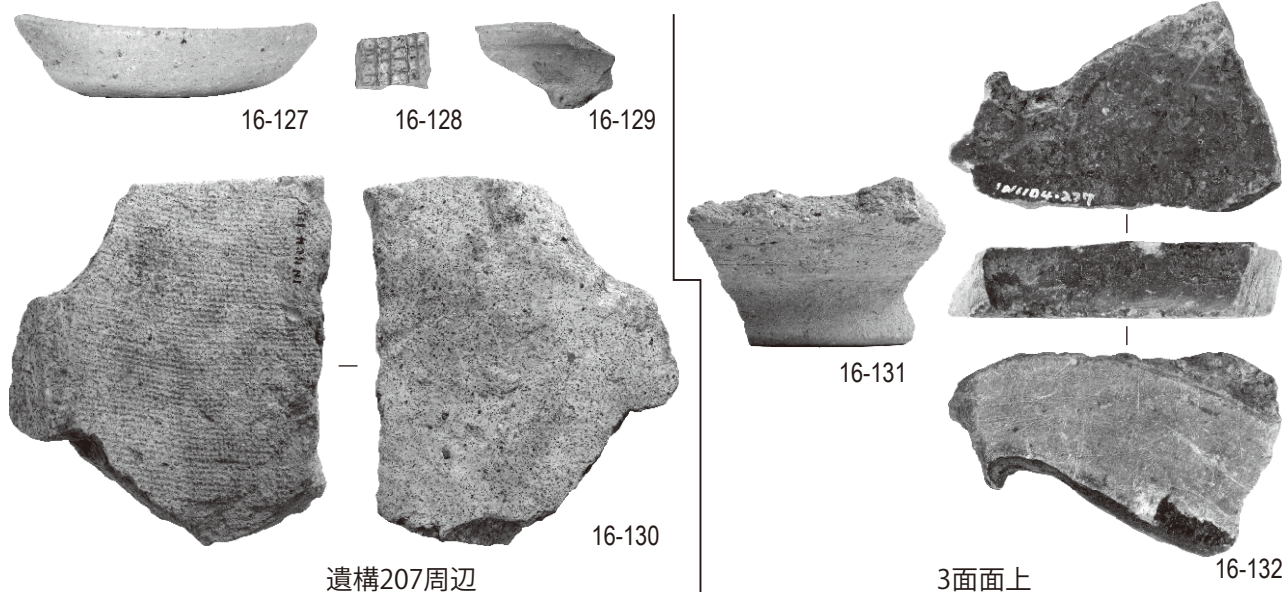


3面遺構 (3)



遺物集中1

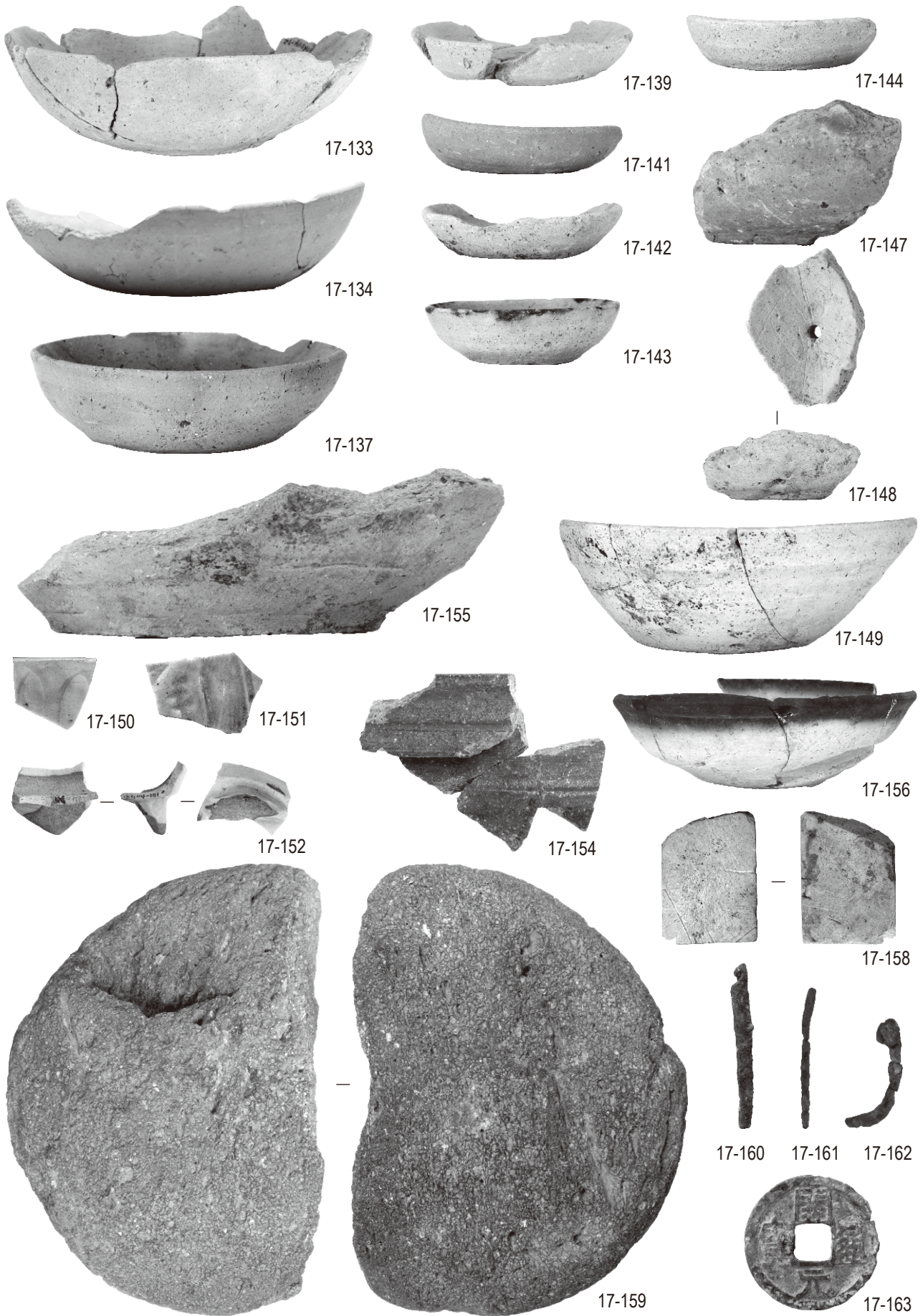
遺物集中2



遺構207周辺

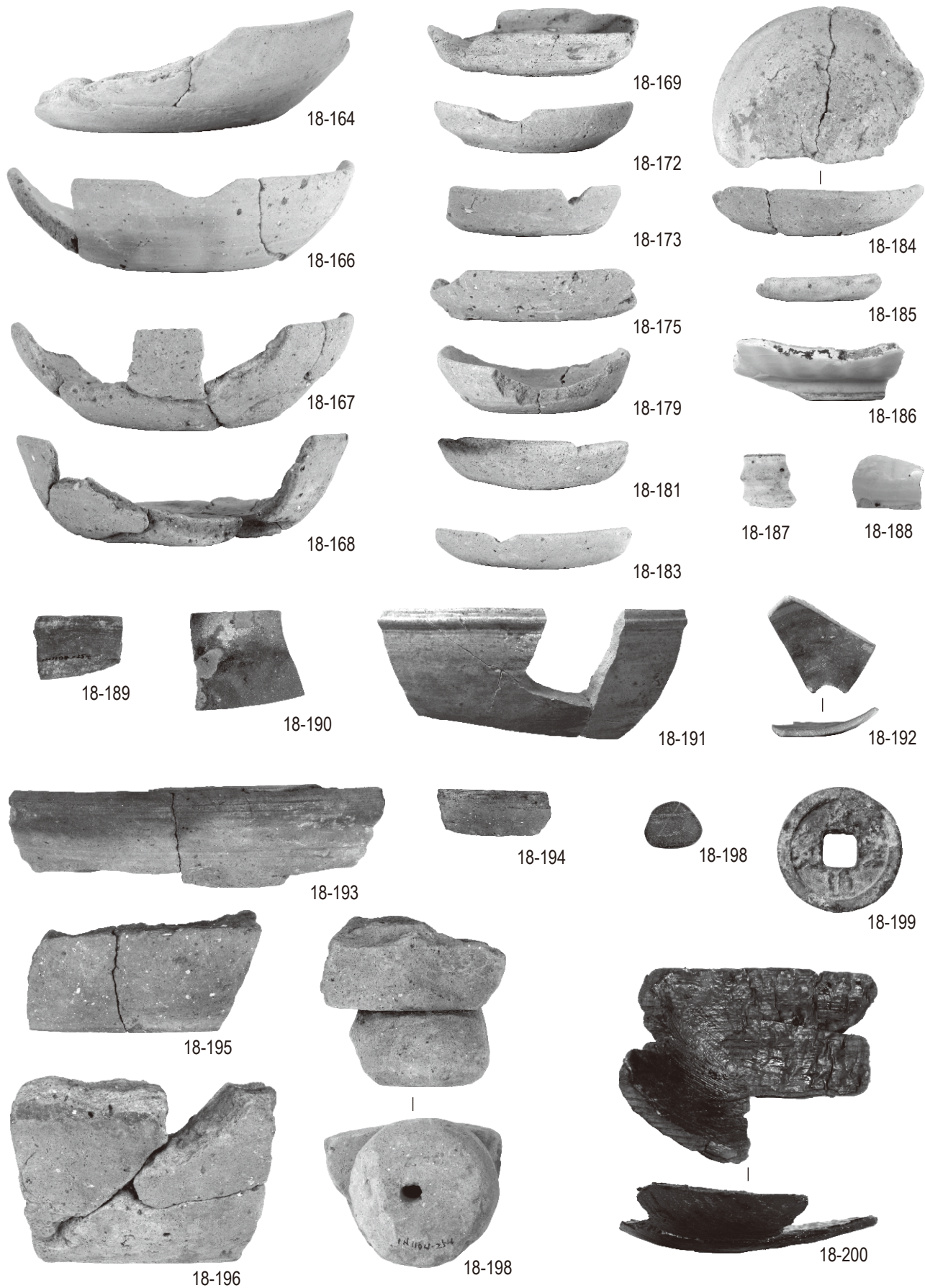
3面面上

3面遺構 (4)



3 面遺構外





3面構成土(1)



3面構成土(2)



遺構 216



遺構 211



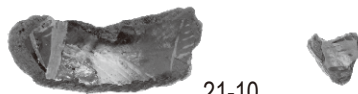
遺構 214



遺構 220



遺構 224

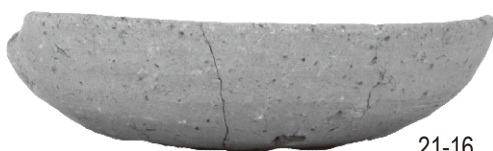


遺構 226

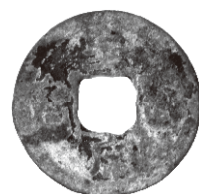
4面遺構(1)



21-12



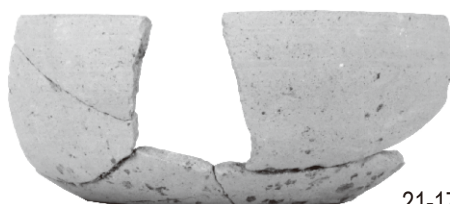
21-16



21-19

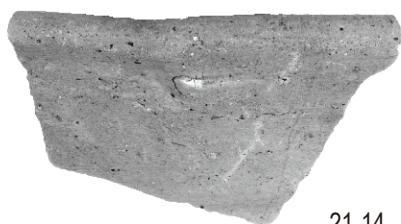


21-13



21-17

遺構 229



21-14

遺構 227



21-20

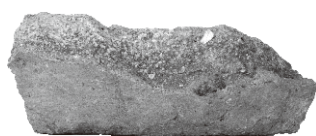


21-22



21-15

遺構 228



21-23



21-24

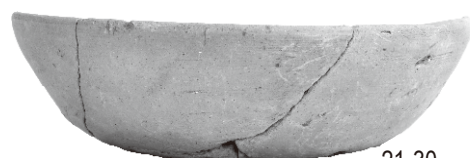
遺構 230



21-25



21-29



21-30



21-26



21-31



21-27



21-32



21-28

遺構 233

遺構 232



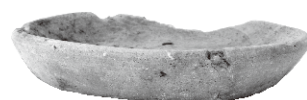
21-36

遺構 235

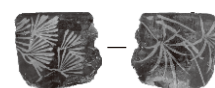


21-38

遺構 239



21-39

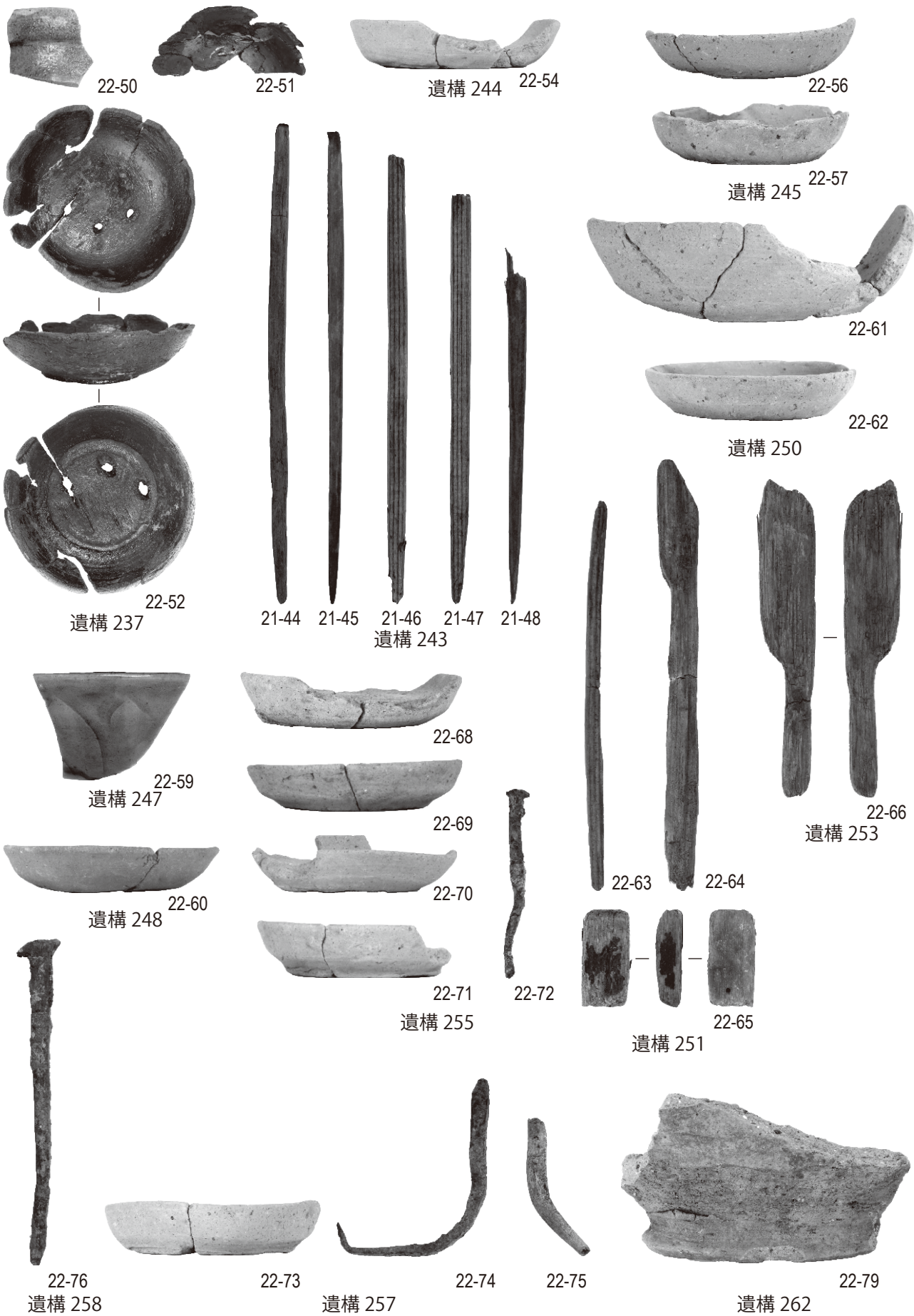


21-40

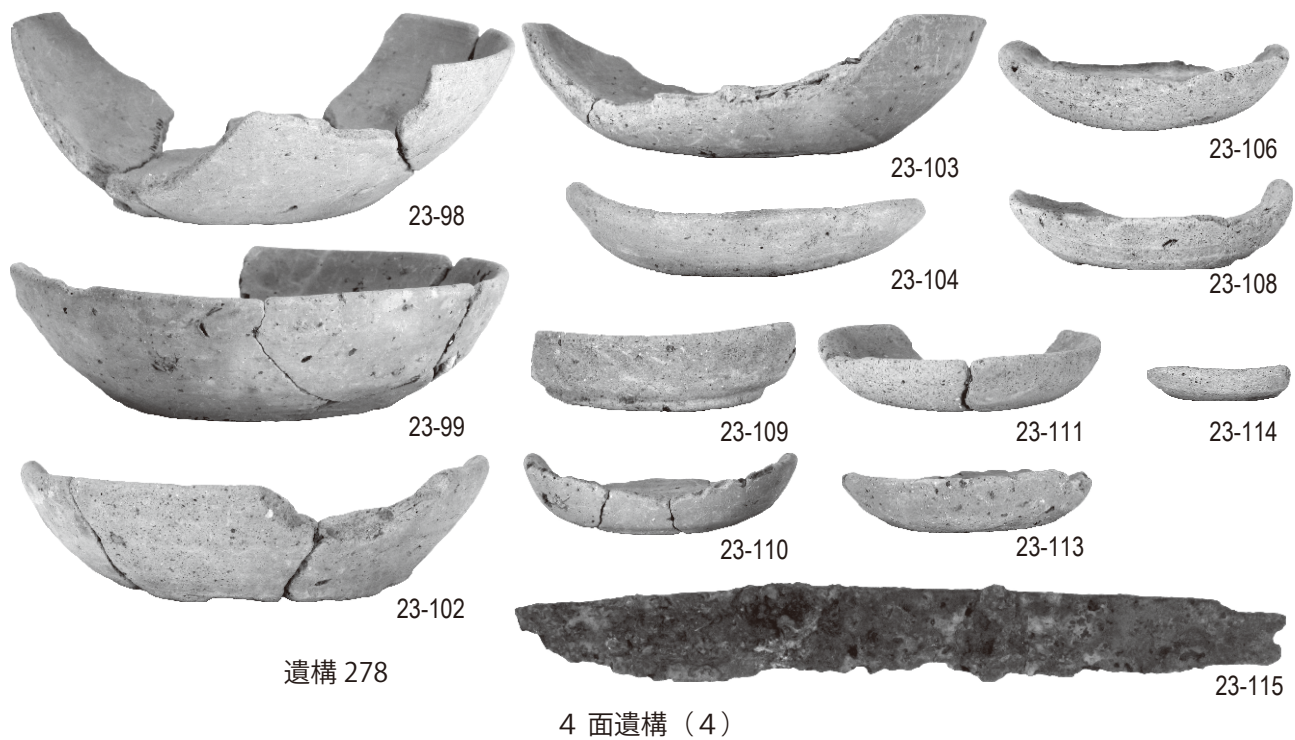
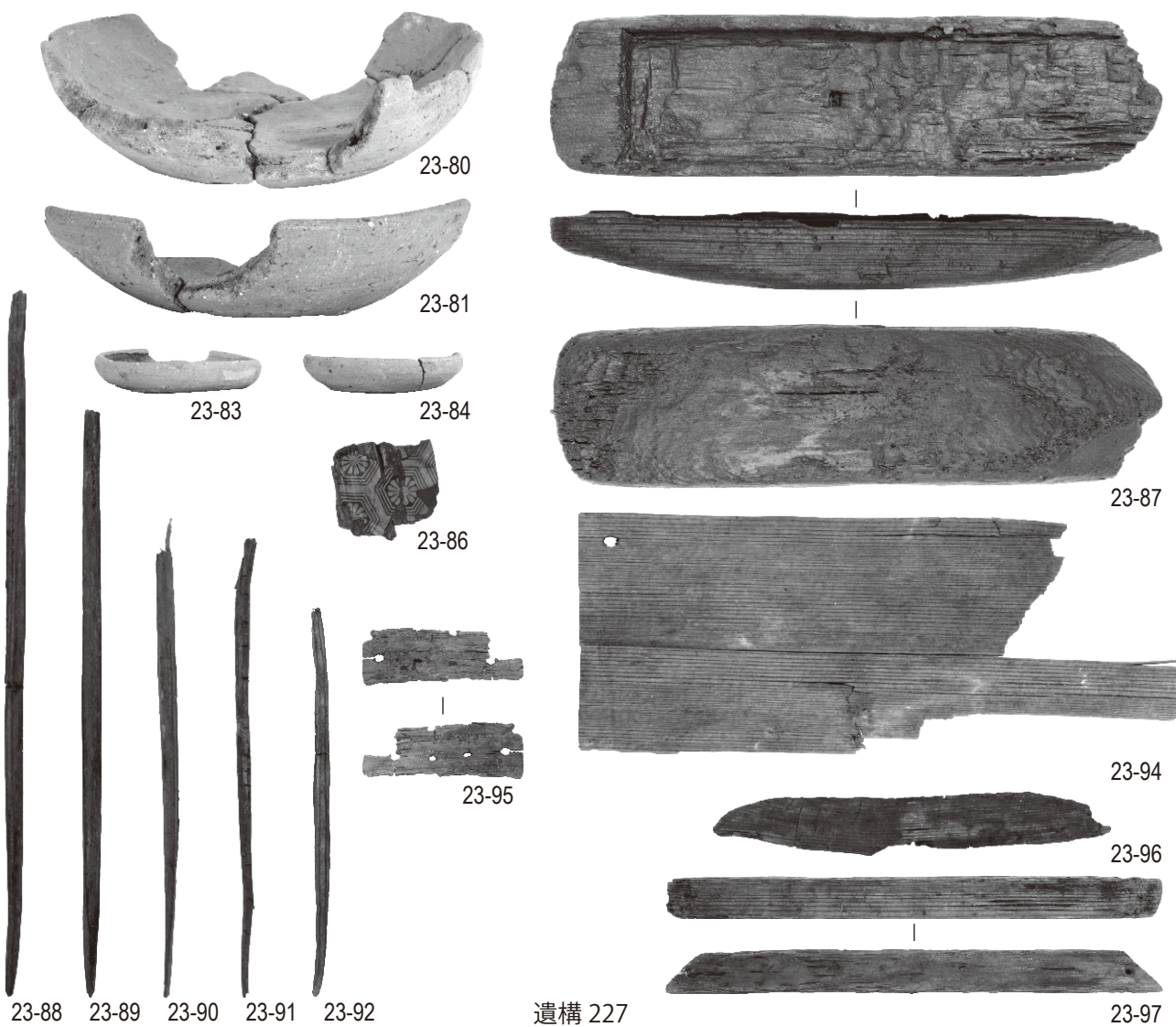
遺構 240

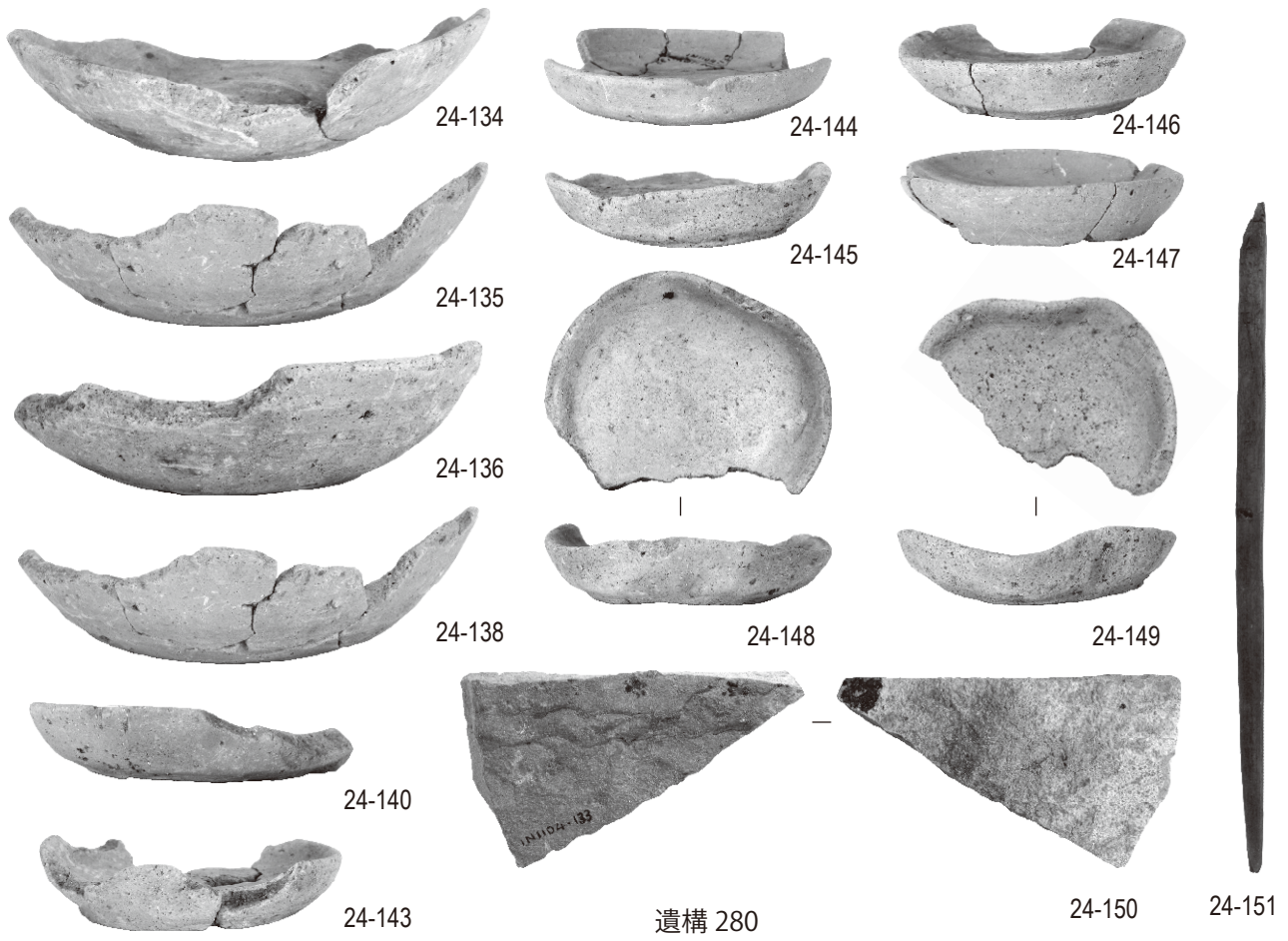
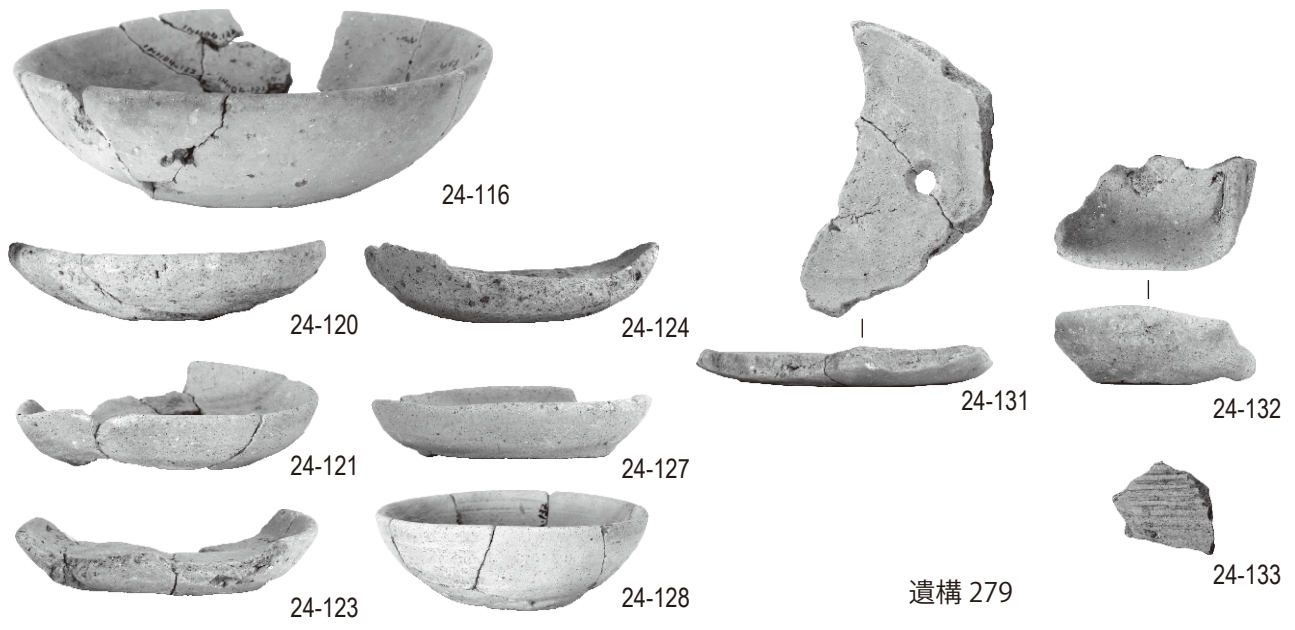
4 面遺構 (2)

写真図版 18

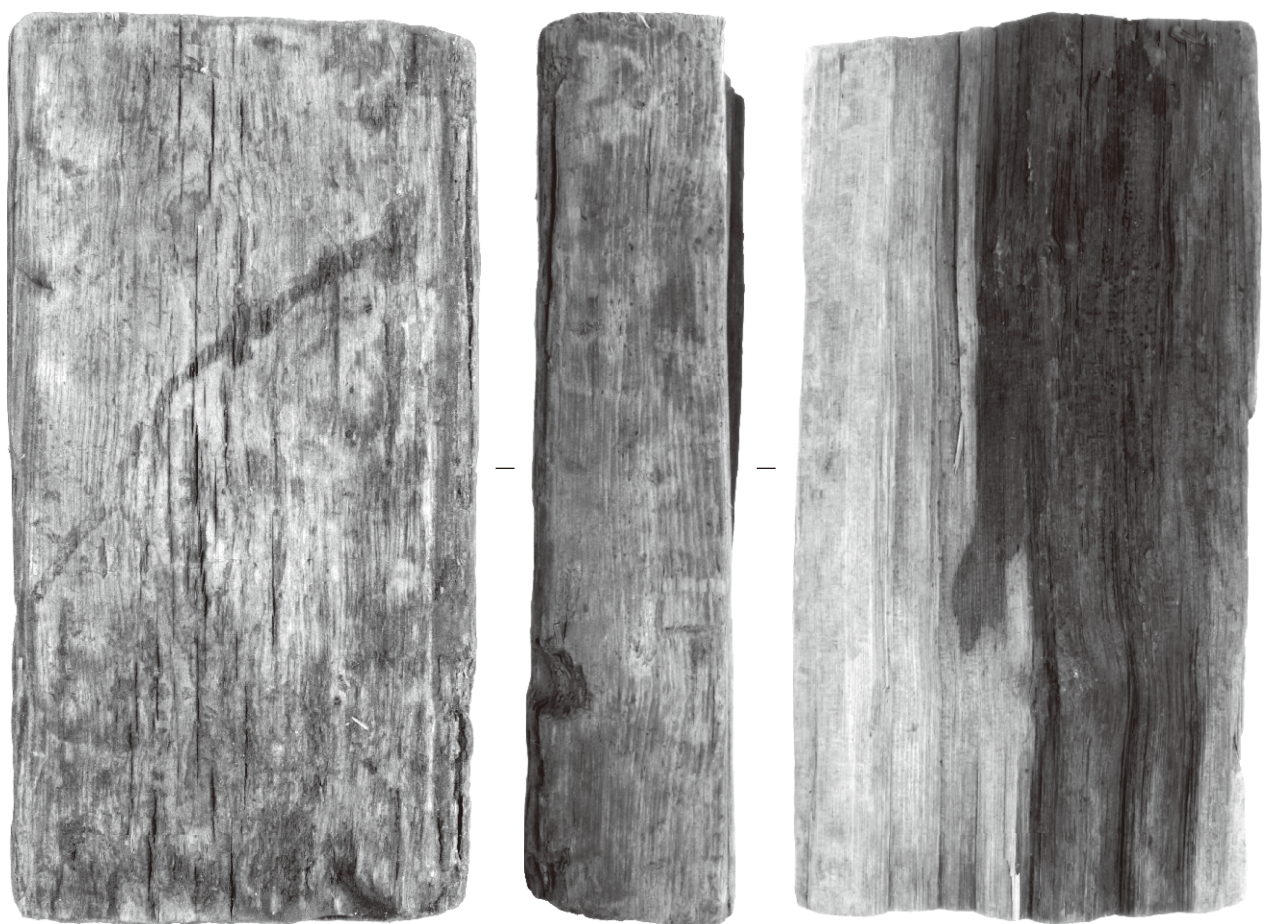


4 面遺構 (3)

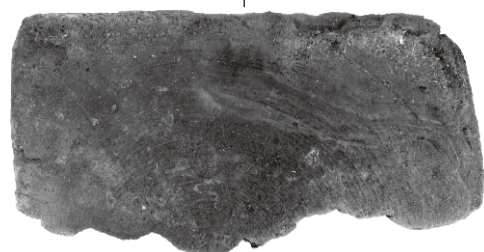




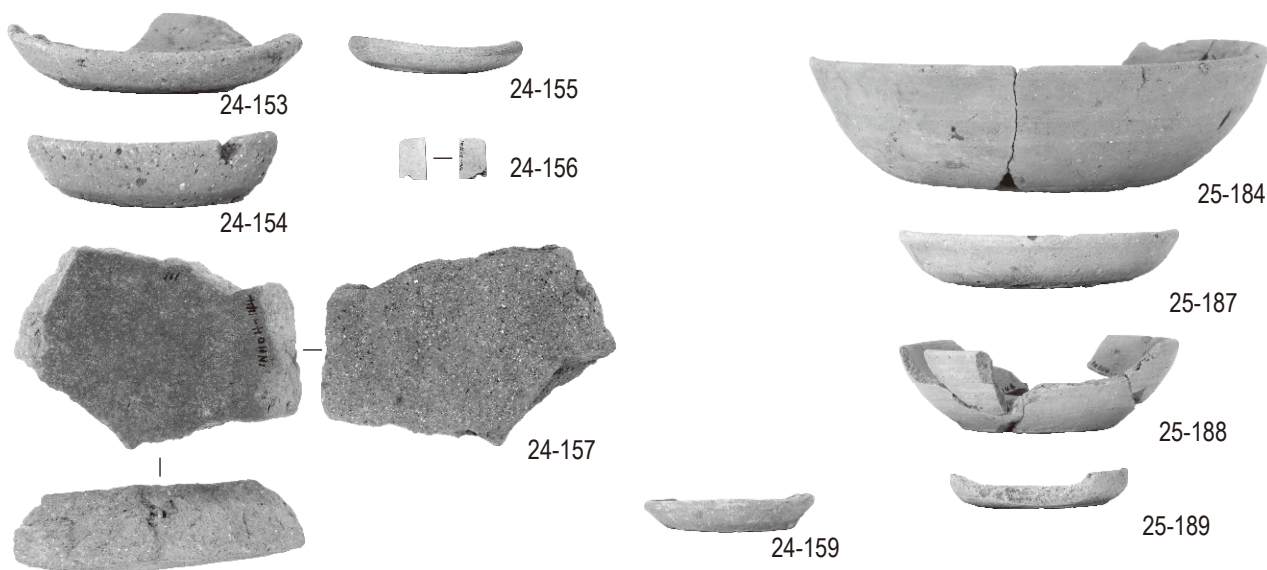
4 面遺構 (5)



24-152



遺構 280



24-153

24-155

24-154

24-156

25-184

24-157

25-187

24-159

25-188

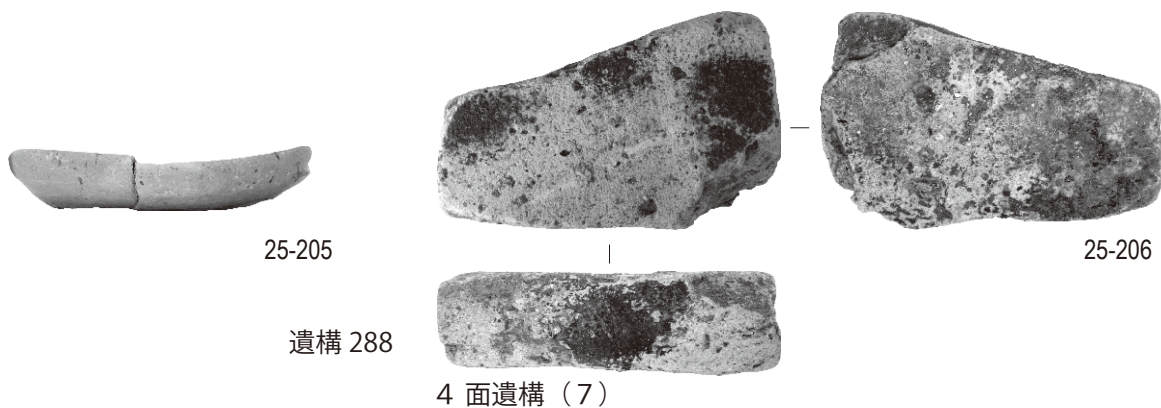
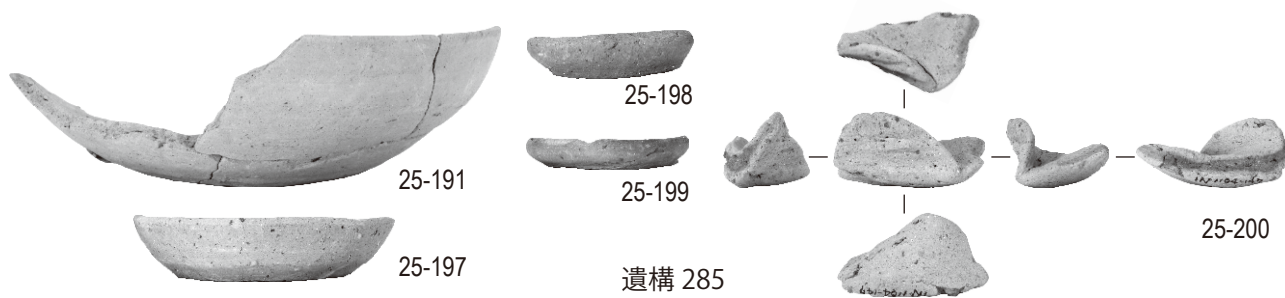
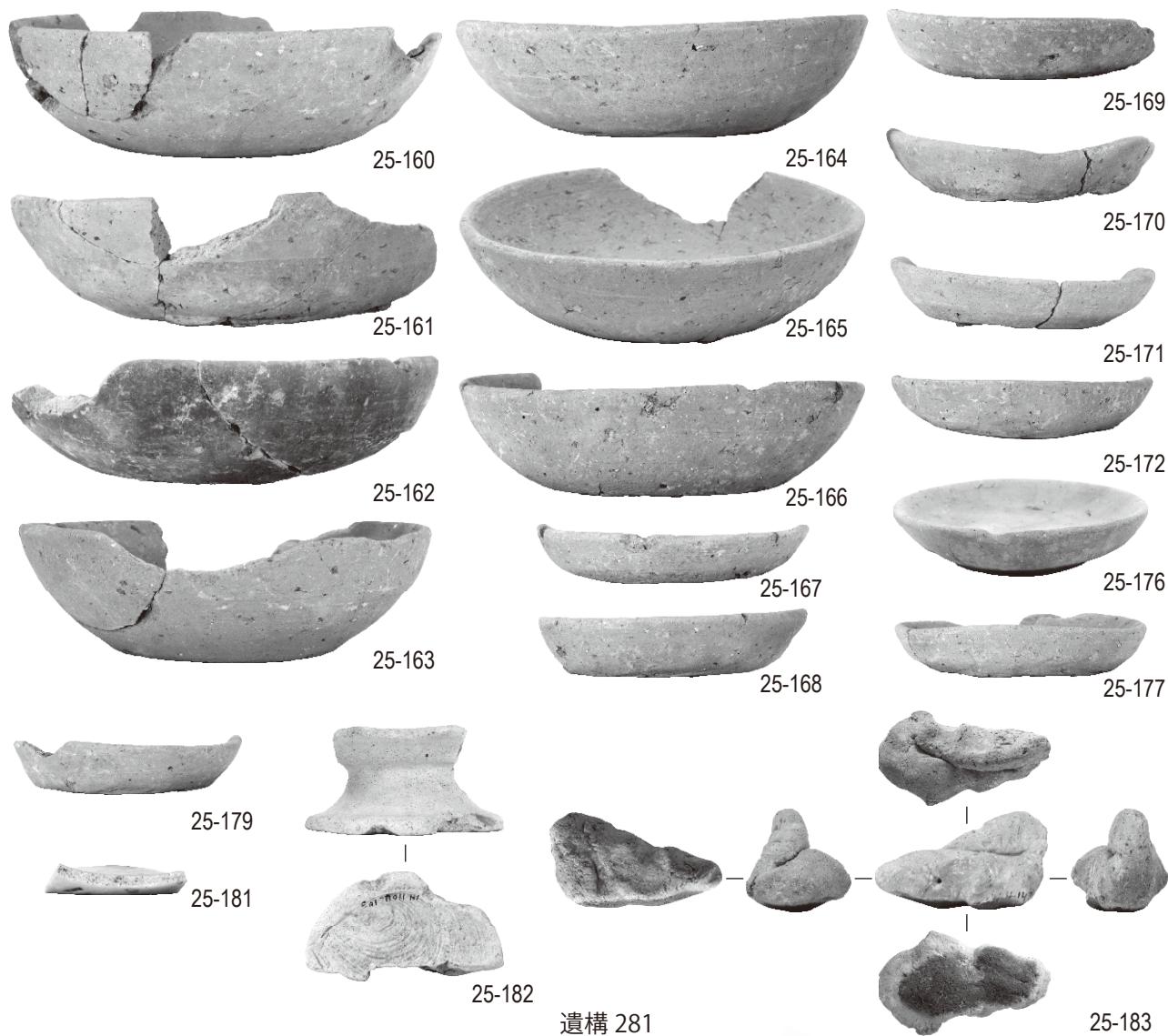
25-189

遺構 282

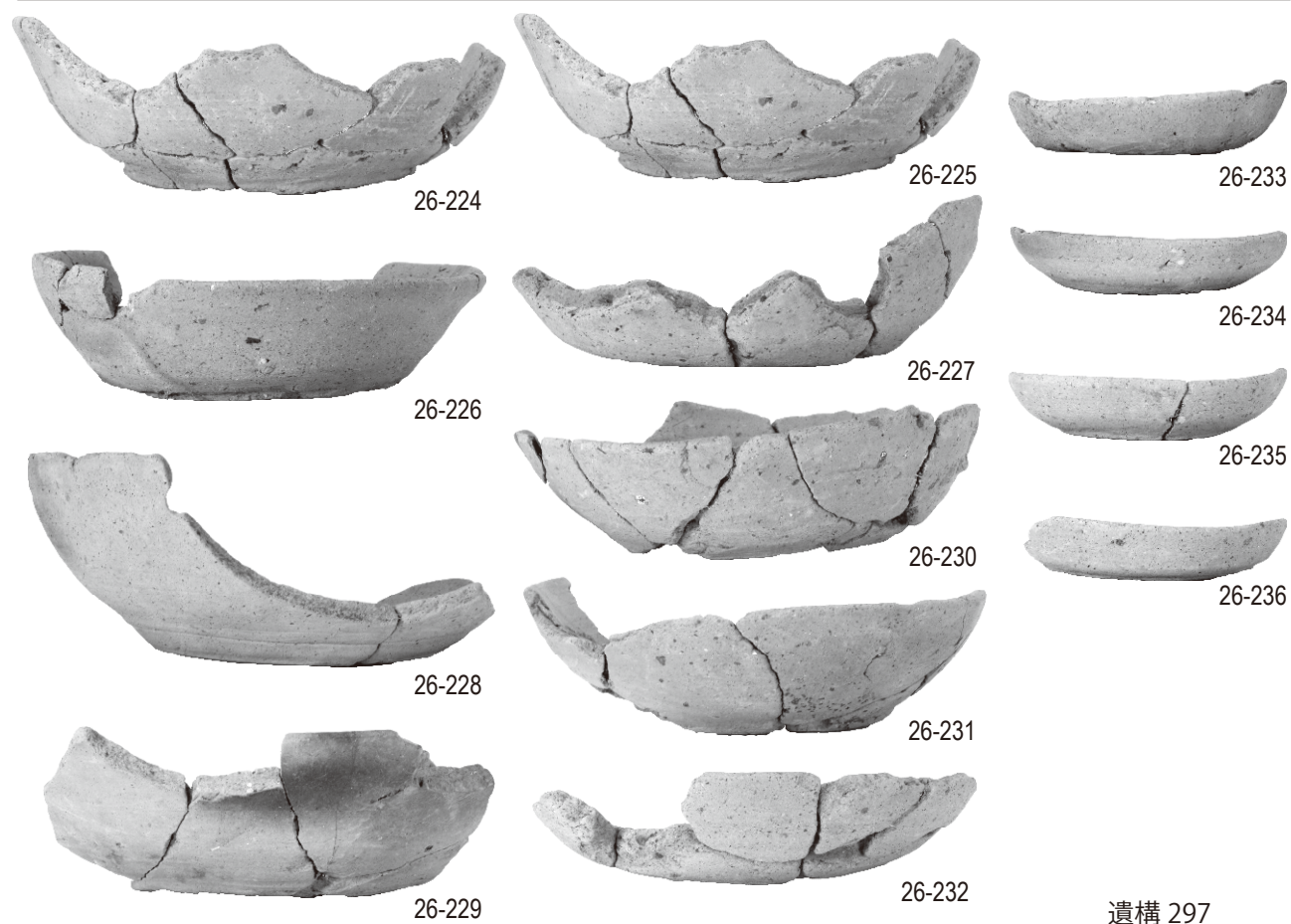
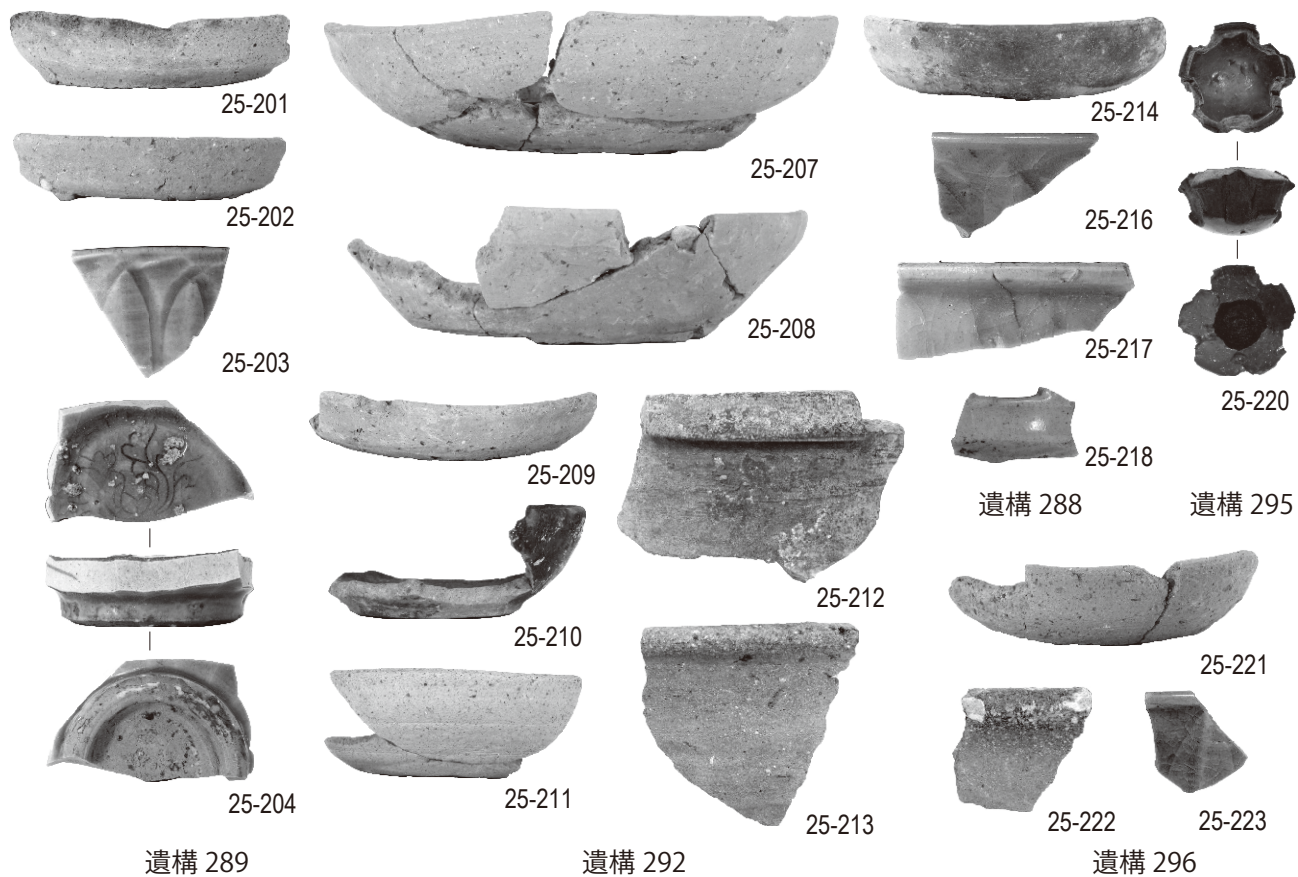
遺構 283

遺構 284

4 面遺構 (6)





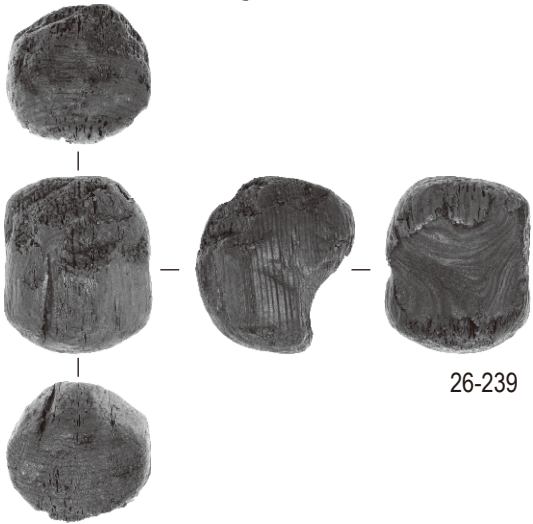


4 面遺構 (8)



26-237

26-238



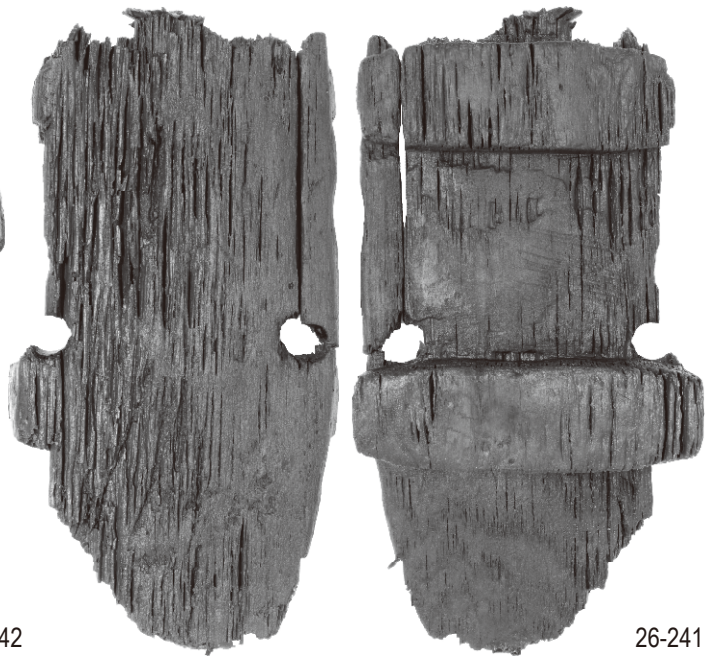
26-239



26-240

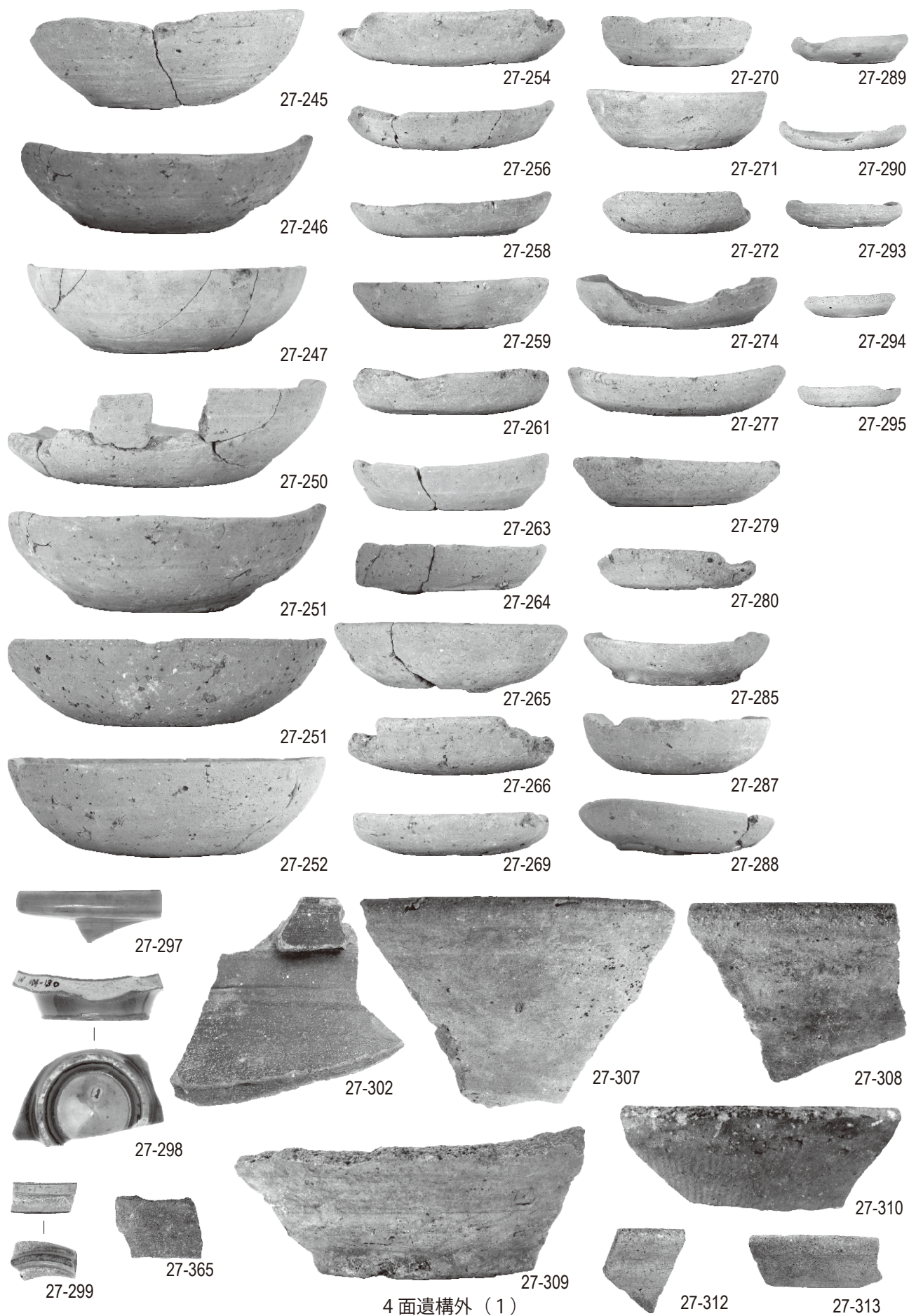


26-242



26-241

遺構 297  
4面遺構 (9)





28-316



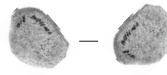
28-317



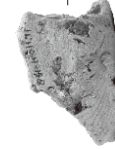
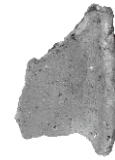
28-321



28-324



28-325



28-322



28-326



28-327



28-329



28-331



28-332



28-333

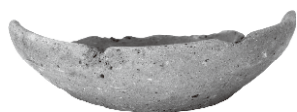
4面遺構外(2)



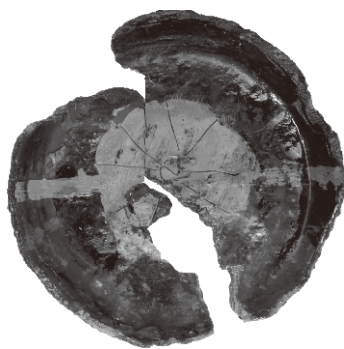
29-334



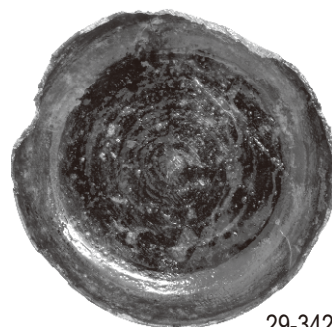
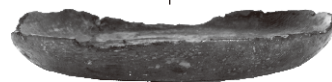
29-335



29-339



29-341

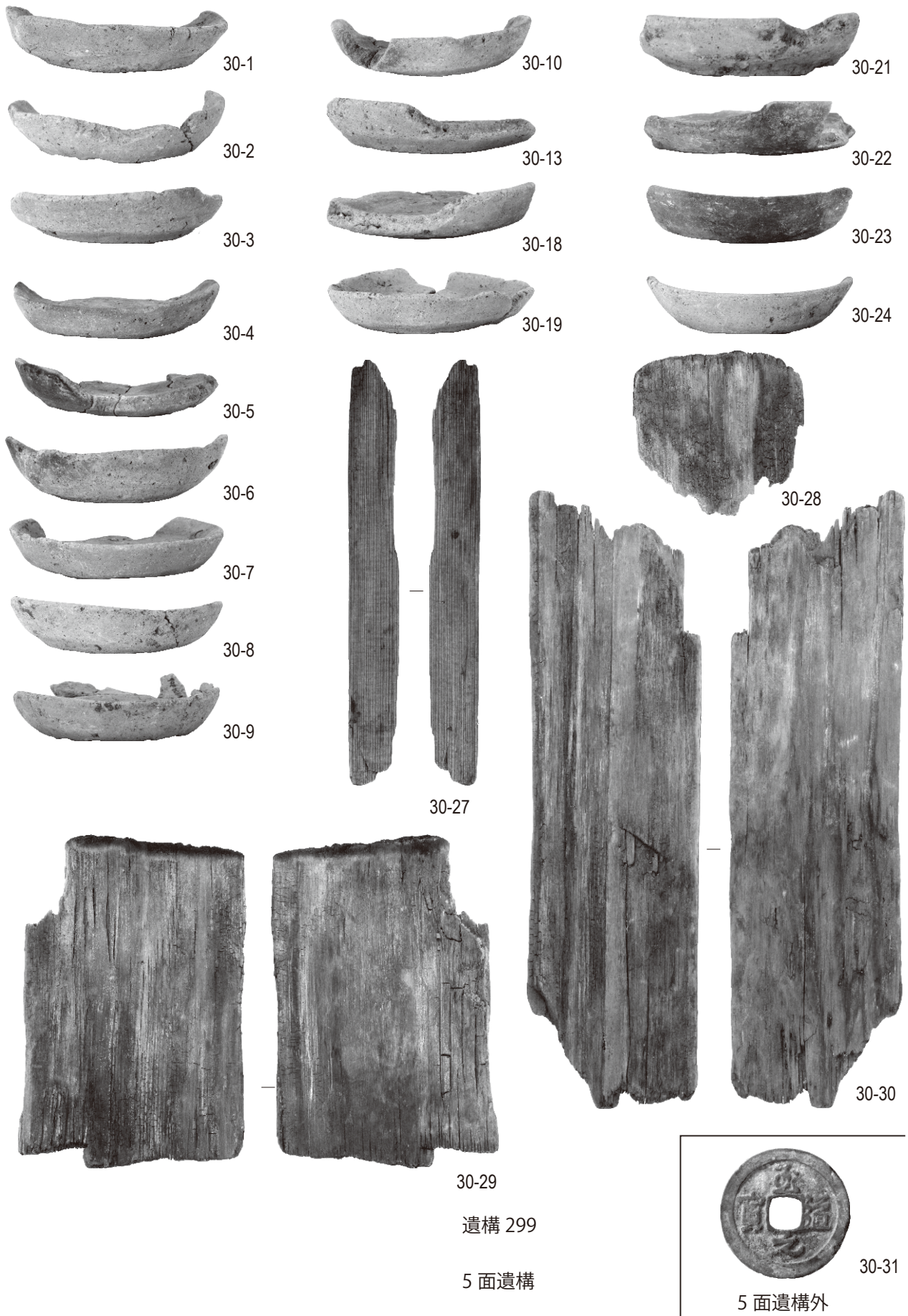


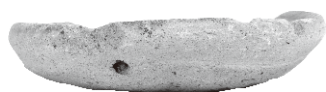
29-342

4面構成土

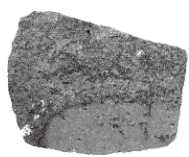


31-1





31-2



31-3



31-4

4面北壁深掘トレンチ



31-5



31-11



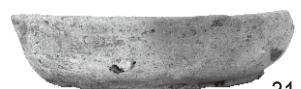
31-12



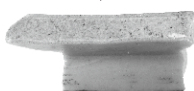
31-15



31-20



31-6



31-14



31-19



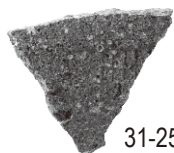
31-21



31-22



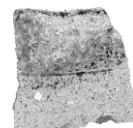
31-23



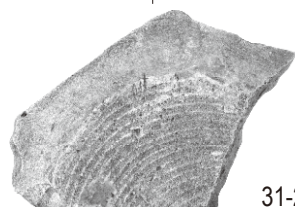
31-25



31-26



31-27



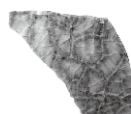
31-24



31-28



31-29



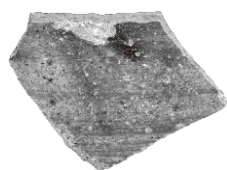
31-30



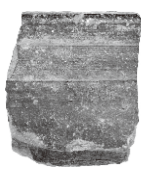
31-31



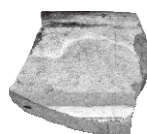
31-32



31-35



31-36



31-37

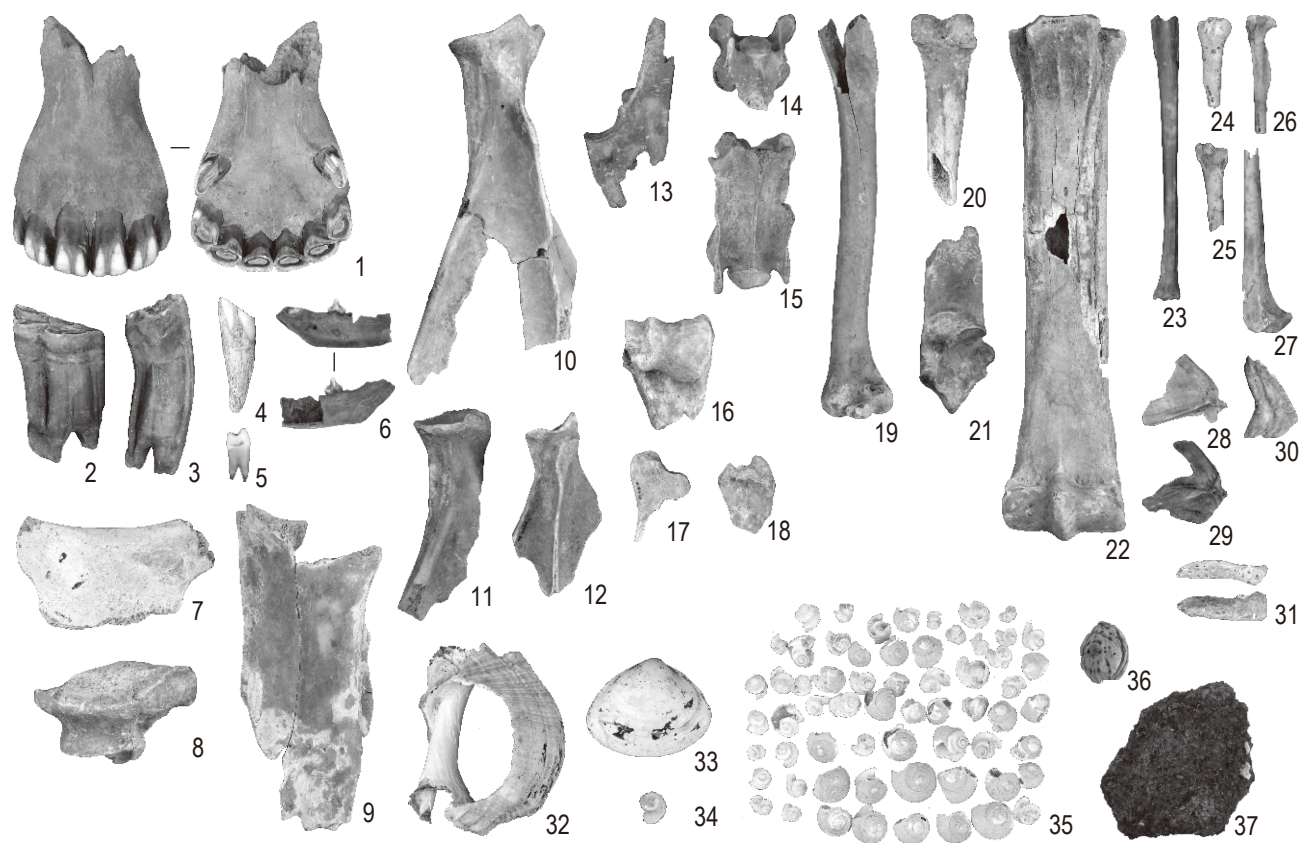


31-38

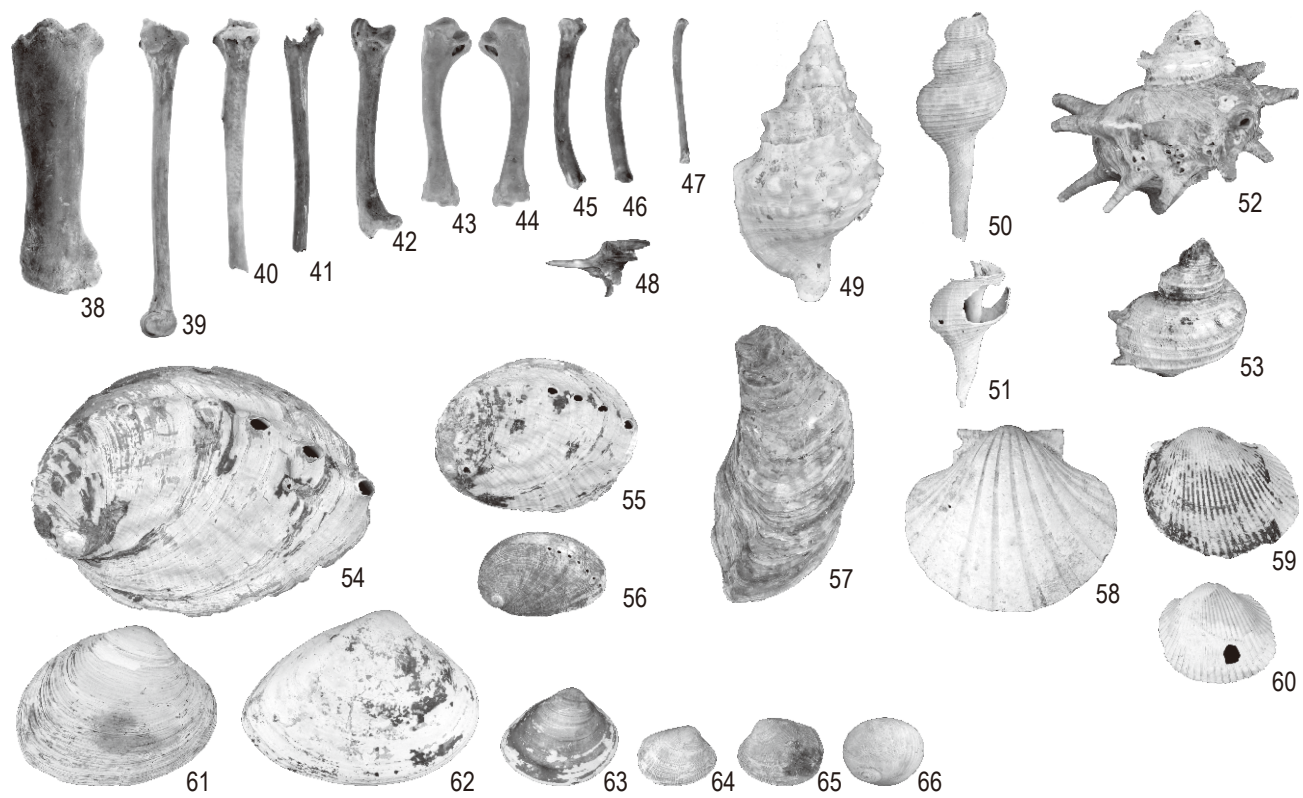


31-33

近代遺構出土中世遺物



中世遺構出土自然遺物



近代遺構出土自然遺物



報告書抄録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちようさほうこくしよ							
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書							
副書名	平成29年度調査報告							
巻次	34 (第2分冊)							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	伊丹まどか/後藤 健							
編集機関	鎌倉市教育委員会							
所在地	〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号							
発行年月日	西暦2018年3月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
ほうせんじあと 法泉寺跡	神奈川県鎌倉市 扇ガ谷四丁目 518番8	14204	182	35° 19' 50"	139° 32' 41"	20100326 ～ 20100528	38.00	個人専用住宅 (鋼管杭工事)
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	神奈川県鎌倉市 扇ガ谷一丁目 145番3、146番2	14204	201	35° 19' 15"	139° 32' 56"	20110926 ～ 20111222	120.00	店舗併用 個人専用住宅 (鋼管杭工事)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ほうせんじあと 法泉寺跡	社寺跡	中世	溝、土坑、ピット	土師器、かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、木製品、金属製品、石製	13世紀中頃～15世紀中葉の石積み遺構と柱穴、土坑、泥岩による地業を確認。
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	城館跡 都市遺跡	中世	石列、溝、土坑、ピット	かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、木製品、金属製品、石製品、瓦、等	中世遺構は13世紀後半～14世紀前半で、凝灰質砂岩石列などを確認。大規模な近代遺構を検出。



鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 34

平成 29 年度発掘調査報告

( 第 2 分 冊 )

発行日 平成 30 年 3 月 30 日

編集・発行 鎌倉市教育委員会

印 刷 芝浦エンジニアリング株式会社







